

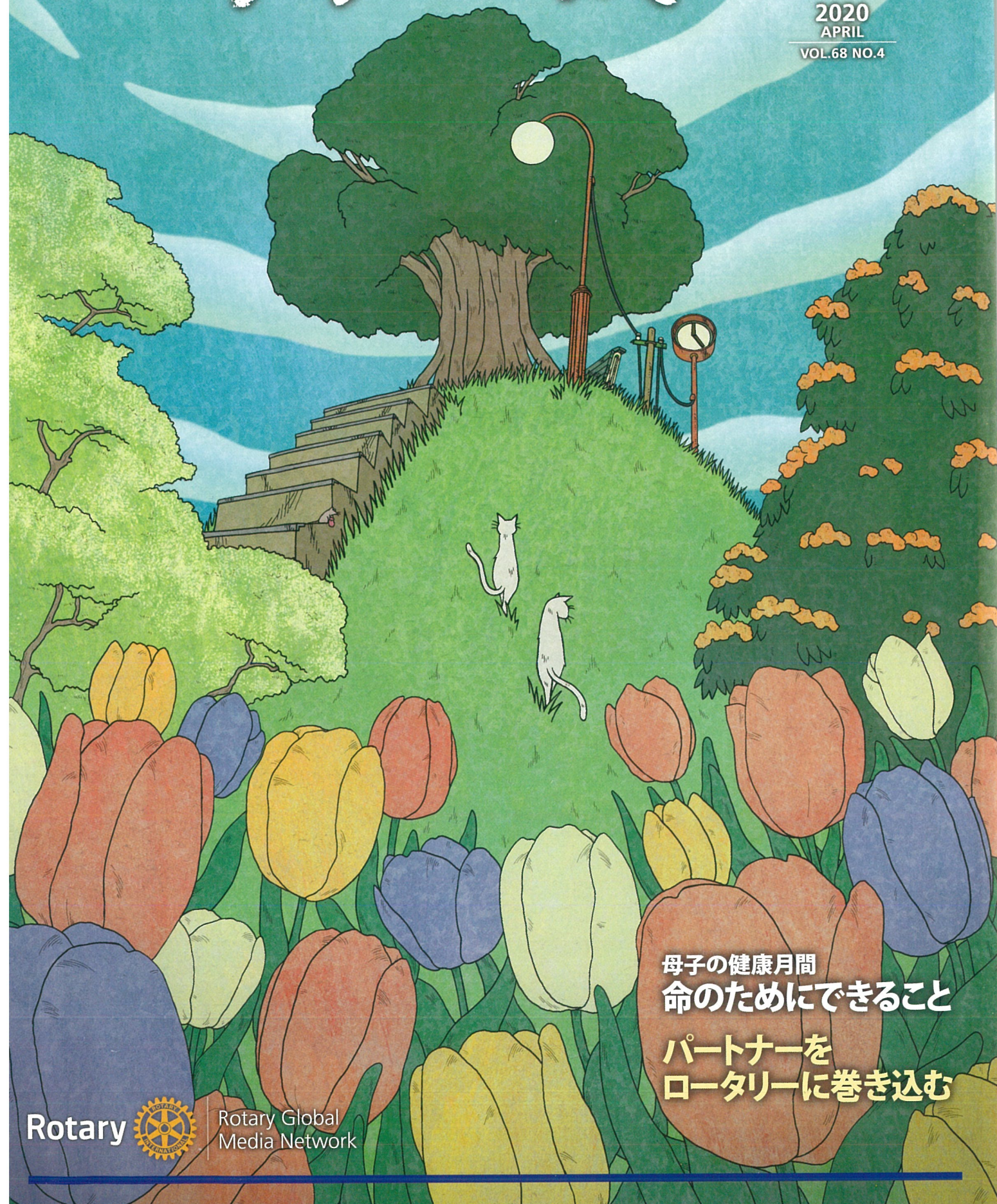
Rotary Global Media Network

ロータリーの友4月号 第68巻 第4号
令和2年4月1日発行 (毎月1回1日発行) 通巻808号
昭和28年1月創刊 昭和43年4月23日第3種郵便物認可
発行所 一般社団法人ロータリーの友事務所

ロータリーの友

4

2020
APRIL
VOL.68 NO.4



母子の健康月間
命のためにできること
パートナーを
ロータリーに巻き込む

Rotary



Rotary Global
Media Network



ロータリーと共に

命を守るう

© Tadej Znidarcic

健全な地域社会は健康な人びとによって築かれます。ロータリークラブは、献血、健康な生活習慣づくり、新生児や高齢者への医療支援などを通じて、健康な暮らしを応援しています。
詳しくはRotary.org/jaをご覧ください。

Rotary



世界を変える行動人

President's message

RI 会長メッセージ

ロータリアンとロータリー家族の皆さん

私は家族についてよく考えます。自分の家族やロータリー家族だけではなく、私たちが奉仕する地域に暮らす家族のことにも、思いをめぐらすのです。世界各地で母子が生き残るために直面している難題は、私たちの大半が一生涯理解することができないでしょう。世界保健機関（WHO）によると、低所得国の女性が妊娠・出産、またはそれらに関連した原因で死亡するリスクは、高所得国の女性の120倍にもなります。乳児（生後1年未満）死亡率が世界的に減少しているのは良い知らせですが、それでも、この世に生を受けて1年以内に400万人が毎年命を落としているのです。

4月は、ロータリーでは母子の健康に関心を向ける時です。私たちにできることを考えると、ナイジェリアのカラバルサウスCB・ローターアクトクラブ（RAC）の活動がインスピレーションを与えてくれます。近隣のカナンシティRACと提携して、乳児の死亡を防ぎ、母子の産後の健康を促進させる、最も効果的な方法を母親に教えるためのプログラムを実施しました。バングラデシュでは、ダッカノース・ロータリークラブ（RC）が出産費用を支払えない妊婦に無料で診療と医薬品を提供しています。他にも ideas.rotary.org には母子を救うためのプロジェクトが掲載されていますので、ぜひ参考にしてください。

私たちはまた、この10年間に何百人もの人々——家族、地域全体——が紛争、貧困、災害で、住居を失う姿を目の当たりにしてきました。ただし、世界的な難民危機にひんして、ロータリーは手をこまねいていたわけではありません。

昨年11月の国連ロータリーデーでは、難民コミュニティを援助するために行動を起こした1人のロータリー平和フェローと5人のロータリアンを表彰しました。アメリカ・カリフォルニア州のモンテレー・キャナリイロウRCのイルガ・カランカク・スプレーンさんは、そのうちの一人です。トルコの難民キャンプを訪ねた彼女は、難民キャンプでテント暮らしをする人々のために1,000組の靴下（子ども用を含む）を集めるロータリーのプロジェクトを率いた後、グローバル補助金で難民の子どもたちへの教育支援を行いました。3月には、私は妻のゲイと共にその難民キャンプを訪れ、トルコとカリフォルニア州のロータリアンたちがシリア難民のために行っている素晴らしい活動の成果を目の当たりにする機会を得ました。

世界のあちこちで見られる母子、そして難民コミュニティが直面する困難には目を覆いたくなります。しかし、ロータリーの一番の強み——ロータリーは世界をつなぐということ——を忘れなければ、解決策を探し出すことができます。創造力、リソース、熱意、そしてこのネットワークをもってすれば、ロータリーはこういった問題にも対処する機会の扉を開くことができるのです。



MARK DANIEL MALONEY

2019-20年度 国際ロータリー（RI）会長



**4月は母子の健康月間です。
ideas.rotary.org には母子を救う
ためのプロジェクトが
掲載されています。
ぜひ参考にしてください。**

ロータリーの友 
Home Page www.rotary-no-tomo.jp

原文（英語）はこちらから

RI RI 会長メッセージ	3
RI 会長 マーク・ダニエル・マローニー	

特集 母子の健康月間	7
-------------------------	---

命のためにできること

横浜金沢RC 山本詩子／東京豊島東RC 井戸垣陽子

特集	12
-----------------	----

パートナーを ロータリーに巻き込む

横浜あざみRC 小出弘子／浜松ハーモニーRC 竹内恵子
／浜松ハーモニーRC 竹内宏幸／
坂戸さつきRC 岡部みゆき／川越小江戸RC 岡部逸雄
／八戸北RC 源新育子

- 6 ● ロータリーとは
- 36 ● 写真でつづる 100 年 日本のロータリー ㉔
- 38 ● パズル de ロータリー／詰め碁
- 41 ● エバンストン便り
- 42 ● 国際大会へのカウントダウン **RI**
● 財団管理委員長からのメッセージ **RI**
- 43 ● お知らせ 新RAC／2020－21 年度版ロータリー手帳の
ご案内／地区別クラブ数・会員数一覧表／『友』5月号主要記事
予定
- 44 ● 日本ロータリー分布図／奥付
- 45 ● パズルの答え／内外よろず案内／編集部のおとあ
がき／詰め碁の答え／表紙について
- 47 ● 投稿規定／「侃侃諤諤」原稿募集

ガバナーエレクト in 国際協議会	16
ロータリーは機会の扉を開く	

ローターアクター in 国際協議会	21
ローターアクターへの期待を実感	

視点 ガバナーのロータリー・モメント	24
--------------------------	----

第2760地区 伊藤靖祐／第2770地区 小林 操／
第2780地区 杉岡芳樹／第2790地区 諸岡靖彦／
第2820地区 中村澄夫／第2840地区 森田高史／
第2630地区 辻 正敏／第2640地区 中野 均

侃侃諤諤③	28
家族はロータリー活動に積極的に参加？ それとも……	

People of action around the globe	32
世界中で活躍「世界を変える行動人」THE ROTARIAN 4月号から	

よねやまだより	34
CLOSE UP! 学友会⑬ ネパール米山学友会	

NEW GENERATION	37
インターアクター 古田 要／ローテックス 玉川音葉	

CLUB INNOVATION	39
アメリカ リーウッドRC THE ROTARIAN 4月号から	

一般社団法人 ロータリーの友事務所
〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 4 階
Tel. 03-3436-6651 Fax. 03-3436-5956
編集部メール hensyu@rotary-no-tomo.jp (本誌の内容・投稿)
管理部メール keiri@rotary-no-tomo.jp (購読・注文)

ロータリーの友 
Home Page 
www.rotary-no-tomo.jp



4月は母子の健康月間です



4月は母子の健康月間です。神奈川県横浜金沢RCは、沖縄県の宜野湾RC、モンゴルのトゥールRCと共に、幼い命を救うため、モンゴルで助産師の研修を行い、そのための機材を寄贈しました(関連記事 P8～9)。

ロータリーの友
委員会

委員長 片山 主水 (名古屋東南)
副委員長 鈴木 宏 (宇都宮北)
RI理事 三木 明 (姫路)
RI選エレクト 辰野 克彦 (東京西)

特別顧問 上野 孝 (横浜)
安平 和彦 (姫路)
片岡 信彦 (土浦南)
橋本 長平 (京都東)
清水 良夫 (横浜)
顧問 田中 義史 (盛岡)
村井總一郎 (豊橋)
檉畑 直尚 (和歌山)
野生司義光 (東京小石川)
福原 有一 (東京銀座)
相談役 神崎 正陳 (茅ヶ崎湘南)

地区
代表委員

2500 伊貝 正志 (釧路)	2600 望月 新一 (松本西南)	2650 山下 尚治 (京都)
2510 尾野 教仁 (千歳)	2610 大友 哲 (金沢)	2660 葉田いつの (大阪西南)
2520 渡邊 宏 (仙台北)	2620 望月 隆明 (浜松ハーモニー)	2670 佐野美佐子 (徳島プリンス)
2530 箭内 一典 (福島中央)	2750 松村 信幸 (東京府中)	2680 中野 正徳 (神戸)
2540 村越 正道 (能代)	2760 尾本 和弘 (名古屋東南)	2690 高橋 章 (出雲中央)
2550 佐山 知也 (栃木)	2770 中里 静博 (越谷)	2700 平川 猛展 (福岡平成)
2560 堀井 靖功 (高田)	2780 小川 忠久 (相模原グリーン)	2710 佐藤 卓己 (福山)
2800 谷口 義洋 (山形南)	2790 長原 正夫 (成田)	2720 赤川 治之 (大分中央)
2830 石川佳共子 (青森)	2820 中井英一郎 (東海那珂)	2730 深尾 兼好 (鹿児島西)
2570 岡部みゆき (坂戸さつき)	2840 廣瀬 雅美 (高崎)	2740 白倉 一男 (諫早北)
2580 豊村 良春 (那覇西)	2630 神田 浩伸 (津)	
2590 今村 嘉男 (横浜中)	2640 初田 隆生 (和歌山北)	編集長 野崎 恭子

ロータリーとは

ロータリーの誕生とその成長

20世紀初頭のシカゴの街は、著しい社会経済の発展の陰で、商業道德の欠如が目につくようになっていました。

ちょうどそのころ、ここに事務所を構えていた青年弁護士ポール・ハリスはこの風潮に堪えかね、友人3人と語って、お互いに信頼のできる公正な取引をし、仕事上の付き合いがそのまま親友関係にまで発展するような仲間を増やしたい、という趣旨でロータリークラブという会合を考えました。ロータリーとは集会を各自の事務所持ち回りで順番に開くことから名付けられたものです。

こうして1905年2月23日にシカゴロータリークラブが誕生しました。

それからは、志を同じくするクラブが、つぎつぎ各地に生まれて、国境を超え、今では200以上の国と地域に広がり、クラブ数35,989、会員総数1,211,107人（2020年2月14日RI公式発表）に達しています。

そして、これら世界中のクラブの連合体を国際ロータリーと称します。

このように、歴史的に見ても、ロータリーとは職業倫理を重んずる実業人、専門職業人の集まりなのです。その組織が地球の隅々にまで拡大するにつれて、ロータリーは世界に眼を開いて、幅広い奉仕活動を求められるようになり、現在は多方面にわたって多大の貢献をしています。

日本のロータリー

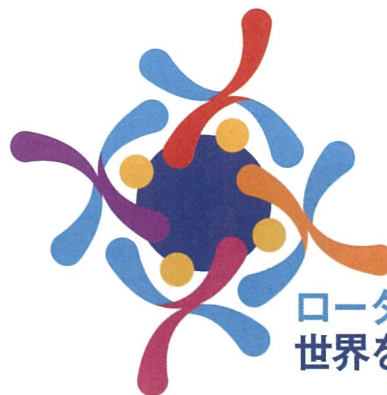
わが国最初のロータリークラブは、1920（大正9）年10月20日に創立された東京ロータリークラブで、翌1921年4月1日に、世界で855番目のクラブとして、国際ロータリーに加盟が承認されました。

日本でのロータリークラブ設立については、ポール・ハリスの片腕としてロータリーの組織をつくり、海外拡大に情熱的に取り組んだ初代事務総長チェスリー・ペリーと、創立の準備に奔走した米山梅吉、福島喜三次などの先達の功を忘れることができません。

その後、日本のロータリーは、第2次世界大戦の波に洗われて、1940年に国際ロータリーから脱退します。戦後1949年3月になって、再び復帰加盟しますが、この時、復帰に尽力してくれたのが国際ロータリーの第3代事務総長ジョージ・ミーンズでした。

その後の日本におけるロータリーの拡大発展は目覚ましいものがあります。ロータリー財団への貢献も抜群で、今や国際ロータリーにおける日本の地位は不動のものになりました。現在、日本全体でのクラブ数は2,250、会員数89,097人（2020年1月末現在）となっています。

2019 - 20年度 RIテーマ



**ROTARY
CONNECTS THE WORLD**

ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある：

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること；
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること；
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか



特集 母子の健康月間

命のために できること

ユニセフなどによると、日本では生後4週間以内に亡くなる新生児が1,000人当たり0.9人で、「赤ちゃんが最も安全に生まれる国」の一つとされています。一方、5歳未満で亡くなる世界の子どもの数は、2018年の1年間で約530万人、うち新生児が約半数に上ります。その原因となる医療・衛生設備の欠如や栄養不足を改善するため、ロータリーではさまざまな支援を行っています。子どもと母親の命を守るため、日本の会員たちも海外で、また国内で、自分たちにできる活動を行っています。

生まれた命を失わないために

—— モンゴルで“母子の健康”事業実施

横浜金沢RC国際委員長 山本 詩子

モンゴル助産師のスキルアップを目指して

横浜金沢ロータリークラブ（RC）は今年度、クラブ創立 50 周年の記念事業として、宜野湾RC（第 2580 地区・沖縄県）とトゥールRC（第 3450 地区・モンゴル）と協同で、モンゴルの母子保健向上のためのプロジェクト「Happy Birth & Happy Baby Project」を実施。ロータリー財団のグローバル補助金を活用し、17 万 6,000 ドル（約 1,900 万円）を費やした事業です。

きっかけは 2015～18 年にかけて、助産師である私（公社）日本助産師会と九州大学大学院がモンゴルで行った共同研究に携わったこと。調査を含む 4 年間の研究成果から、これはロータリー財団のグローバル補助金事業にふさわしい案件ではないかとの結論に至りました。

モンゴルの新生児死亡率は 1,000 人当たり約 10 人で、日本の約 10 倍に相当します。これを減少させるためには、分娩時に新生児のすぐそばにいる助産師の技能、特

に新生児の蘇生技法を習得させる必要があると考えました。蘇生ができる助産師をモンゴル全 21 県で養成することで、新生児や乳幼児の死亡率を減少させ、モンゴルの助産師全体のスキルアップを目指すことにしました。

プロジェクト後も、研修を受けた助産師が新生児蘇生法のインストラクターとなり、各県で指導に携わることによって新生児蘇生法が普及していくので、死亡率を減少させることが可能です。地域社会のニーズを自力で満たす力を向上させることができ、国連の持続可能な目標達成（SDGs）の 17 の目標の 1 つ「すべての人に健康と福祉を」にも貢献できると考えました。

着手に至るまでには

当クラブは伝統あるクラブですが、会員数が 15 人と少なく、資金の面からも共同実施してくれるクラブを得ることが必要でした。クラブ内でなかなか同意を得られませんでした。日本助産師会の大先輩が、所属する宜野湾RCへ働きかけてくれたおかげで、賛同が得られました。

さらに地元モンゴルでも協力クラブを見つける必要がありましたが、知人の紹介でトゥールRCに巡り合うことができました。両クラブの素晴らしい会員を抜きにしておける実施は考えられず、人のつながりの重要性を再認識する機会ともなりました。

その後、文章作成を含めロータリー財団の承認を得るまでに 1 年以上を費やしましたが、既に共同研究



トレーニング機材を寄贈



右から 2 人目が筆者



4月

母子の健康月間



取材を受ける
露木団長

を通じて信頼関係が築かれ、モンゴル助産師会の協力が得られていました。また、驚いたことに、トゥールRC会長のラドナシムベレ

ーリイン氏はモンゴル民主化革命を無血で行った英雄の一人とたたえられ、初代国家議長として国会議事堂に肖像画が掲げられているほど。その他にも多くの会員が国会議員や大臣など国の要職にあることから、国家的プロジェクトに反映されていくとの確信がありました。

プロジェクトの特徴

着手してみると、実際に国を挙げての協力を得られ、全21県の保健省が、研修の受講者に公式な認定証を渡してくれることになりました。また、受講者がインストラクターとなり、各県の国立病院で繰り返し研修を実施するよう保健省が通達したことで、持続可能性も高まりました。研修に使う機材などは現地調達の基本ですが、新生児蘇生トレーニングに使う人形が現地で入手できず、メンテナンスを考慮し、アナログ式でデジタル操作のないものを確保して日本から送ることにしました。

贈呈セレモニーは昨年9月14日、モンゴル保健省をはじめ各機関首長の出席を得て、盛大に開かれました。日本からは第2590地区財団委員長の露木雄二バスターを団長に総勢18人、関係地区以外の日本の地区からも参加がありました。マスコミの関心は高く、露木団長はモンゴル国営放送の取材を受け、その様子はニュースで放映されました。

プロジェクトは全県の保健省が関わり、研修も国立病院で行うため、ユニセフや世界保健機関（WHO）の統計の対象となり、効果と評価が可視化できる特徴があります。また共同研究の際、助産師業務拡大の法改正が行われ、今後、助産師の技能拡大は必至であり、大きな期待を寄せています。

助産師たちの決意に触れて

セレモニーの翌日、研修の様子を見学しました。96人の助産師たちは熱心に講義を聴き、昼食時間さえ惜しむかのように新生児蘇生法のトレーニングを

重ねていました。日本から派遣された医師に質問を投げ掛け、真剣なまなざしで取り組む様子に、見学したロータリアンたちから称賛の声が漏れました。モンゴルの未来は、彼女らが担っているといっても過言ではありません。実施に至る経緯を思い起こせば感慨深く、感動を味わう時間となりました。

受講生たちからは感謝とともに「研修を受けた自分たちが、各地で待っている助産師たちに技術を伝え、さらに技術を向上させなければならない」との決意が聞かれました。研修継続への要望もありました。悪路をバスで乗り継ぎ、30時間以上かけて参加した人もいます。並々ならぬ決意で参加してくれたことが分かりました。各県から派遣され、交通費や宿泊費なども支給され、政府発行の研修認定証まで受けられることは名誉であり、研修後の彼女たちの自信に満ちた表情が忘れられません。

また、研修見学の後にはトゥールRCの招待で、モンゴルらしい風景が広がる草原も眺めてきました。言葉の壁はありましたが、ロータリーの精神で心は通じ合い、楽しい夕食のひとつときを共にしました。

現在、持続可能なプロジェクトとして展開していますが、今後はさらに一歩進め、揺るぎない継続と効果を期待し、グローバル補助金を活用した職業訓練チーム（VTT）の実施も視野に入れていきたいと思っています。また、国際協力機構（JICA）などと協力することで、活動を強化できるとも考えています。

（第2590地区 神奈川県）

新生児蘇生法の
トレーニングに
励むモンゴルの
助産師たち



女性の心に、寄り添いながら

—— 児童養護施設で思春期セミナー ——

東京豊島東RC 井戸垣陽子



講師を務めた佐藤会員

児童虐待を憂えて始めた支援

今から10年近く前、全国で児童虐待防止対策が進まない現状を知った当時のクラブ社会奉仕委員会所属の会員が、ロータリーの奉仕活動としてこの問題に取り組むことはできないかと提案。検討の結果、子ども虐待防止を目指してオレンジリボン運動を展開するNPO法人・児童虐待防止全国ネットワークに協力し、厚生労働省が定める11月の児童虐待防止推進月間に合わせ、2012年11月2日にJR大塚駅前でオレンジリボンマスクを配布しました。しかしながら、高齢の会員が多いクラブの実情もあり、朝の寒い時間に長時間街頭に立つ活動は継続が難しく、他の取り組みを模索することになりました。

児童虐待防止全国ネットワークの理事長を例会に招き、児童虐待の現状や防止活動の課題について話を聞きました。これにより会員間の情報共有と意識改革を図った結果、まずは虐待被害児が保護されている施設を支援していくことが最適であると考えようになりました。そして、例会場から車で10分程度のところに児童養護施設の（社福）錦華学院があることから、連絡を取り、趣旨を伝え、2013年以降、支援活動を行っています。

交流から見てきた新たな活動

錦華学院では家庭生活が困難な子どもたちが50人以上暮らしています。クラブではこれまで、学用品や日用品、入学・進学時の自転車寄贈といった物品の寄贈と、学院イベントへの参加、施設の整備などを手伝ってきました。しかし昨年3月13日、物品を携えて学院を訪問し、院長と懇談する中で、入所児の現在と将来の生活につながる教育、アドバイスといった支援に手を広げる必要があると認識するに至ったのです。

というのも、児童養護施設にいる子どもたちは、原則として高校卒業後に施設を離れ、自立した生活を余儀なくされます。退所後に何かあると、施設職員が緊急的に支援しているのが現状だそうです。特に女性には、思春期からの月経トラブル、異性問題、メンタルの悩みや望まない妊娠・出産といったケースが起こり得ます。しかし、入所者の6割以上が虐待を理由に保護されており、本来なら相談相手となる母親などが身近なところにはいません。トラブルへの対処や予防法については、自らの知識をもとに、自分自身で判断するしかないという状況に陥ってしまうのです。

そこで、クラブでは11月9日、「錦華学院中高生思春期セミナー」と銘打って、レディースクリニック医師の佐藤美枝子会員が講師となり、女性の抱える体の悩みや病気を正しく理解する場を提供しました。性の知識を得ることで、自らの体と生活を守ってもらおうという活動です。

お菓子とお茶で和やかに

当日午後、施設で暮らす中高生を対象に、およそ2時間の予定で開催しました。「生理との向き合い方」「生理トラブルの解決方法」「男女間の付き合い方と性病の予防」「男性に求める生理への理解」「避妊方法と将来設計」などをセミナーの





4月

母子の健康月間

お茶とお菓子で
ほっと一息。雰
囲気も一層和み
ました

内容に組み入れました。

施設からは5人の子どもが参加してくれました。当クラブからは女性会員3人と会場外の手伝いに男性会員が3人、施設職員も1人が参加しました。セミナーは分かりやすいように画像を使い、途中、質問の受け答えをしながら進めました。少し疲れが見えたところで、お菓子とお茶のブレイクを挟んだところ、好きな話題で盛り上がり、とても和やかな雰囲気になりました。

おしゃべりに終止符を打つと、セミナーは後半へ。少し難しい内容でしたが、高校生の一人が自分の経験談を語り、みんなでじっと聞き入る場面もありました。参加者からは「学校の授業で習うよりずっと分かりやすかった」。施設職員からは「とても勉強になりました」という声が聞かれました。参加人数が少なかったため、質問を受けながら話を進められた点も良かったと思います。

身近な大人として、良き相談相手として

初回の好評を得て、今年1月18日に第2回セミナーを開きました。今回は7人の入所者と2人の施設職員、クラブから女性会員3人が参加しました。第1回セミナーの内容をおさらいした後、さらに内容を掘り下げていきました。途中、男女交際の話となり、「男の子を好きになるのは当たり前。みんな、好きな人はいる？」との問い掛けに、約半数の参加者がそろそろと手を挙げていました。

問い掛けながら、説明を加えながらの進行は、彼女たちの興味を引いたと思います。セミナーに使うプリントは回収してしまうため、事前にかわいいノートをプレゼントしていたからでしょうか。話を聞きながら、熱心にノートを取る姿が印象的でした。

今後の開催に向けて

施設内で遊んでいる子どもたちはとても活発に見えます。虐待を受け、悩みを抱えていたようには見えません。



しかし、いつか施設を出る日を思えば、不安もあることでしょう。彼、彼女らが自分の体を大切に思い、健康で過ごすための知識が必要です。そのためにも、今後はセミナーの内容を広げる必要があると考えています。

施設職員からは、セミナーの継続とともに、「男の子への思春期セミナー」や「低学年の入所児に対し、自分が生まれてきた理由（妊娠の経過と出産の喜び）」といった内容で、ぜひ開催してほしいという期待が寄せられました。クラブではこれに応えたいと思っています。ところが、会員内だけでは対処し切れない内容もあります。

そこで、まずは思春期の男の子と生命誕生の尊さに関する講師としてご協力くださるロータリアンがいましたら、ぜひ、ご連絡をいただきたいと思います。

連絡先・東京豊島東RC事務局

電話：03 - 3985 - 7577

メール：info@toshimah-rc.jp

こうした活動が事前準備を経て安定して開催できるようになれば、さらに有益な活動になると思います。皆さんの協力を得て投じた一石が、波紋となり、大きな波へと広がっていくことを期待しています。

(第2580地区 東京都)

家族ロータリー巻き込む パートナー(を)に

会員家族のロータリー活動への参加が推奨されています。日本のロータリーでも、これまで、配偶者をはじめとした会員の家族をロータリー活動に呼び込んできました。今回は、女性会員とそのパートナーにスポットを当てて、会員家族をロータリーに巻き込むことについて意見を伺いました。家族参加への取り組みだけでなく、会員増強・維持の上での新たなアイデアが見いだせるかもしれません。

男性パートナーの参加でロータリーを地域に広める

横浜あざみRC 小出 弘子

横浜あざみロータリークラブ(RC)は横浜郊外の住宅地にある少人数のクラブで、次年度で創立30周年を迎えます。創立当初から女性会員が多かったため、女性会員の配偶者である男性のパートナーも家族例会やクリスマス会、奉仕活動にも参加します。

クラブ恒例の社会奉仕事業「チャリティーコンサート～忘れない東北」には、会員ではない私の夫も、近隣のお年寄りや友人を誘って一緒に観客として参加しています。



右上：家族例会に参加する小出夫妻

左上：中学校で職業を語る男性パートナー

夫が進んで寄付をすることで、他の参加者の寄付を促すことにもつながれば、と思います。今年度は孫娘が青少年交換学生としてブラジルに派遣され、孫の家にはブラジルから明るい活発な高校生が来日、夫もロータリーに感謝しながらそうした交流を楽しんでいます。

男性パートナーの中には、地区のチャリティーマラソンに参加する人や、当クラブが20年以上継続している事業「職業を語る会」での講師をする人もいます。職業を語る会では、年に1度、近隣の中学校へ出向き、職業人としての経験を伝えているのですが、男性パートナーにも講師をしてもらうことで、紹介できる職種が増えました。

こうして家族(男性パートナー)が参加することが、会員同士の親睦だけではなく、ロータリーの活動を地域社会の人々に広め、理解を深めてもらうことにつながっています。ロータリークラブが世界的にも素晴らしい活動をしていること、いろいろな職業の人がいるすてきな人々の集まり、いろいろな経験ができ楽しいところ、と夫にはもちろん、友人にも近隣にも知ってもらい、さらには会員増強につながれば、と思っています。

(第2590地区 神奈川県)



他のクラブにも聞きました— 家族・男性パートナーの 厳しいロータリー参加状況

- ・創立当初から女性会員のいる当クラブは、地域的にも珍しい存在。現在、男性パートナーの参加は難しい課題です。クリスマス会やスポーツ観戦などの親睦事業に会員の女性パートナーは参加しても、男性パー

トナーが参加したことは一度もありません。

- ・家族例会には男性会員はパートナーと参加しますが、女性会員がパートナーと参加しているのを見たことがありません。今まで一度も……。
- ・そもそも当クラブには男性パートナーがいません。
- ・女性会員の男性パートナーの出席者は少数ではありますが、参加されています。会員家族の参加を得ながら清掃活動など、実施しています。

共通認識が二人をロータリーへ導く

浜松ハーモニーRC 竹内 恵子

私は、浜松ハーモニーRCに在籍して今年で18年目になります。この間、クラブの会員との交流を持つ機会を得ました。お酒を飲みながらの「放課後例会」でも、最終的にはわがクラブの在り方や、クラブの将来に対する展望といった話題。皆が共感し合い、笑いあり涙あり、時には意見交換でヒートアップすることもありました。

その中で、「浜松ハーモニーRCの青年部を立ち上げて、会員は全面的にバックアップをしようじゃないか」ということになりました。そこで浮かんだのがわが夫。私ども夫婦は、「人を育てていこう」という共通認識を常々持っていたためです。ロータリー活動においても、青年の活躍の場を拡げていきたいと思い、夫に「一緒にやってほしい」と声を掛けました。夫は、以前他のクラブの会員でしたが、体調を崩しやむなく退会せざるを得



ませんでした。「体調もよくなったことだし、協力してほしい」と説得、私が2018 - 19年度クラブ会長の重責を担うこともあり、夫は私と同じクラブへの入会を承諾してくれました。

タイで現地の若者を採用し、日本で教育、研修を実施するという経験を、次代を担う青年の力が最大限に発揮できる浜松ハーモニーRCの活動でも活かし、クラブの活性化を目指すため、家族である夫の協力は私にとっては大変心強いものでした。力及ばずながら、夫婦共々協力してまいりたいと思っています。

(第2620地区 静岡県)



クラブで奨学金を支援している、浜松市内にある南米系外国人学校、ムンド・デ・アレグリア校の生徒たちを激励

同じ目標に挑んでいたら ロータリーに

浜松ハーモニーRC 竹内 宏幸

ロータリー歴18年目の妻に対し、私は現在のクラブでの会員歴は3年。今私は70代ですが、昔は同じクラブに夫婦で入会することは考えられず、会員家族として関わることもありませんでした。

しかし、ロータリーに再入会し、多くの人々との交流の機会を再び与えられました。入会の機会がなければ、得られなかったことは計り知れないほどあります。会員にならずとも、家族を巻き込むことはロータリーを一人でも多くの人に理解してもらい、広めるために

も必要だと思います。

私たち夫婦は、事業の上でも同じ人生の目標があります。それは「世界に通用する人材の育成」です。今日まで二人で歩んできたことができたのも、この共通の目標があったからです。この目標に向かって人生を歩んできたがゆえに、夫婦それぞれにロータリーへの道が開かれ、縁あって同じクラブの会員となりました。私たちのような夫婦も会員の多様なあり方の一つでしょうし、今後増えていくと思います。

クラブが抱える問題も、会員全員でロータリーの行く末を思い、ロータリーのアイデンティティ、ロータリアンの生きる道を未来に向けて考え抜いていかなければならないでしょう。今後も若者を支援し、がんばりたいと思っています。

ロータリアンの私と結婚した夫

坂戸さつきRC 岡部みゆき

私の結婚はロータリアンになってからでした。結婚することを、私をクラブに推薦してくれた会員に報告したところ、『『ブライダル例会』にしてみてもは?』と提案されました。当時の国際ロータリー(RI)会長テーマは「手を貸そう(Lend a Hand)」。家族委員会が推奨されていた頃でもあり、話は順調に進み、クラブ会長や親睦委員長が仲人、会員が立会人を務めることに。そして、例会で結婚式を挙げたのです。これが、夫のロータリーへの参加の始まりでした。

その後、夫はクラブの「配偶者の会」の会長という役目をもらい、これによりクラブに配偶者を巻き込むという空気を醸成することができました。坂戸よさこい、坂戸産業まつりへの出店は、会員のパートナーの力なくして成功を収めることはできませんでした。

夫が警察官を退官した年、私は地区の公共イメージ委員長を務めていました。坂本元彦ガバナー(当時)が「配偶者を入会させよう」と発信していたことから、夫は同じグループの川越小江戸RCに入会。入会3年目にしてRLI(ロータリー・リーダーシップ研究会)セミ



写真上：例会で結婚式を挙げた岡部夫妻、左：夫婦でDLに挑戦



ナーにも出席。今年度から夫婦でDL(ディスカッション・リーダー)に挑戦しています。

当地区には、地区内のクラブで植樹したロータリーの森があり、全クラブが1年に1度集まり清掃をしますが、夫が坂戸さつきRCのエリアまで除草をしてくれたこともあり、夫の思いやりの心を感じました。こうしたことがクラブ間の交流のきっかけになればと思っています。

これからは夫婦で次世代の育成をしていくことが「夢」です。

(第2570地区 埼玉県)

ロータリアンの妻を応援!

川越小江戸RC 岡部逸雄

ロータリーというと、裕福な職業人というイメージが強かったのですが、結婚前に初めて参加したのは、妻のクラブの「田植え例会」。秋田の農家出身である私は黙々と苗を植えることしかできませんでした。その後、徐々にロータリークラブが「一つの家族」のようで、「あったかいな、ありがたいな」とクラブ会員の魅力に引かれていきました。

私は埼玉県警察で刑事部捜



配偶者の会会長としてエールを送る逸雄さん

査一課などに所属し、事件解決のために捜査の日々を送ってきました。ロータリーのネットワークで協力をしてもらうこともあり、100年以上続く奉仕団体の強さを実感することができました。警察官という職業

は「私」を捨て「公」のために尽くす精神が求められています。退官後に川越小江戸RCに入会しましたが、この精神を生かした活動ができることは、この上ない喜びでもあります。人生の白秋から玄冬、新たに友人をつくることは難しい年代かもしれませんが、ロータリーに在籍していれば可能です。

ロータリアンがパートナーとして国際協議会に参加

戸北 R C 源新 育子

私はロータリアンとして 27 年間、無欠席で楽しく活動してきましたが、今回、ガバナーエレクトパートナーとして、2 度のガバナーエレクト研修セミナーを終え、今年 1 月国際協議会に参加してきました。

国際協議会が開催されるサンディエゴのホテルに到着すると、荷物の確認をする間もなく着替えを済ませて歓迎レセプションへ。会場のプールデッキでは、にぎやかな音楽と異国の言葉が行き交う中、多くのロータリアンやパートナーがグラスを傾けているのを見て、「いよいよ始まるんだ」と心が躍りました。

翌日から本会議がスタート。ホルガー・クナーク R I 会長エレクトが次年度のテーマ「ロータリーは機会の扉を開く」を発表しました。テーマが発表されればエレクトたちの頭はフル回転。ポリオ根絶、ローターアクターや若い世代、そして女性を巻き込むための革新的なプログラムをどのように構築していくのかなど、エレクトたちは国際協議会での研修をベースに、自分の地区の目標や運営をイメージしながら徐々に方向性を定め、帰国後すぐに行動に移さなければならないからです。ならば私たちパートナーの役割とはいったい何なのでしょう。

世界中のガバナーエレクトのパートナーが参加するパートナーの本会議の中で、1 年間ガバナーをサポートするパートナーの役割として、経験者が「異なる意見や考え方はあるが、お互いの役割を理解し尊重する」、「仕事・私生活・ロータリーなどのバランスをうまく取る」



パートナー向けの円卓討論に参加する育子さん（一番左）

ことなどの大切さを語りました。中には 150 以上ある行事の約半分も出席したというパートナーもいて驚きましたが、私がもっと驚いたのはパートナーとして積極的に参加、発言している男性パートナーの多さでした。

そして、パートナーのプログラムの中には日本人だけの円卓討論のセッションもありました。大なり小なりさまざまなコミュニティーに関わり、いろいろなネットワークを持ち中心的な役割を担っているパートナーたちの話を聞き、彼女たちはロータリーとは違う視点から、地域社会の福祉のあり方、ニーズに目を向けていることに気づきました。私はこれまでとは違う、新しいロータリーを見たような気持ちになりました。

この国際協議会でパートナーはロータリーの偉大さや素晴らしさ、無限の可能性を理解したことでしょう。そしてガバナー年度を悔いなく成功に導くために、可能な限りロータリーに関わり、地区のために有益な役割を果たすことを一つの任務として活躍されることと思います。

これからの時代はもっと世界の中の日本、そして世界の中の地区やクラブという視点から、日本のロータリーのあり方に固執することなく、一つ一つのクラブが柔軟性や独自性を持ち、発信していくべきだと感じました。さらには一人のロータリアンとしての誇りを持って、「ロータリーの素晴らしさ」を一人でも多くの人々にしっかり伝えることだと思います。そのための「Together」であり、そのために「ロータリーは機会の扉を開く」のです。国際協議会を共に体感した同期の 2020 - 21 年度ガバナー、そして愛すべきパートナーたちよ、悔いなき挑戦はもうすでに始まっているのです。喜びの再会の日までがんばり抜きましょう。（第 2830 地区 青森県）



国際協議会に参加する源新ガバナーエレクト夫妻



ポール・ハリスの言葉を引用する
ホルガー・クナーク R I 会長エレクト

ガバナーエレクト in 国際協議会

2020 年 1 月 19 ～ 25 日、アメリカ・カリフォルニア州サンディエゴで国際協議会が開催され、518 人のガバナーエレクトと、そのパートナー 392 人が参加。初のドイツ出身 R I 会長となるホルガー・クナーク氏が 2020 - 21 年度国際ロータリー (R I) 会長テーマ「Rotary Opens Opportunities ロータリーは機会の扉を開く」を発表すると、会場は大歓声に包まれました。新しいロゴの色は、ロータリーのアズール (青) とゴールド (黄) に加え、ローターアクトのクランベリー色の 3 色。ロータリーとローターアクトのつながりがさらに強まったことを表しています。国際協議会に参加したガバナーエレクトから、一言感想をいただきました。

第 2500 地区 松田 英郎

国内の研修会とは違った緊張感のもと会場入りしましたが、三木 R I 理事をはじめ、研修リーダーの出迎えを受けました。さらに同期のエレクトの中にはよく知った方がいたため、徐々に緊張もほぐれて充実した 5 日間の研修を受けることができました。参加して勉強になりました。

第 2510 地区 福井 敬悟

素晴らしい充実した国際協議会でした。本当に多くのエレクト仲間と出会い、日本の他の 33 地区のエレクトとの強い絆ができました。ホルガー・クナーク R I 会長エレクトが打ち出した「Rotary Opens Opportunities (ロータリーは機会の扉を開く)」は、心に響くテーマです。100 周年を迎えた日本のロータリーとしてこれからの 100 年に向け、恐れることなく扉を開いていこうと思います。

第 2520 地区 伊藤 智仁

R I 会長エレクトの話は、「インパクトと多様性ある取り組みによって、会員数・出席率・寄付額などに必ず改善の兆しが見えてくる」でした。次年度はクラブ活動のストーリー化を図り、ロータリーを魅力的に語る地区を目指します。

第 2530 地区 石黒 秀司

多くの皆さまに支えられた国際協議会に感謝。不安が覚悟に変わり、性根が据わった。「さあ楽しみましょう！」と、7 月 1 日を迎えるためにコツコツ準備したい。

第 2540 地区 工藤 智教

世界のロータリアンに囲まれての日々。3 日目頃からみんなが友達のような不思議な感覚になりました。この感覚はその場にいないと分からないことかな？ロータリーの心らしきものを肌で吸収したような気分になりました。

※コメント中、ガバナーエレクトは「エレクト」と表記しています。

第2550地区 森本 敬三

1月19日から始まったアメリカ・サンディエゴでの国際協議会。522の地区から集まったエレクトとパートナー、そして60人のローターアクトの皆さん。同じ目的とビジョンを共有する世界の仲間！感動しました。

第2560地区 佐藤 真

部屋から見えるリゾート感あふれる景色からは想像できないくらい、真剣に研修に挑みました。初日からアメリカ人エレクトたちに英語でまくしたてられ、洗礼を受けましたが、何とか同期エレクトと研修リーダーのおかげで頑張れました。皆さんに感謝です。

第2800地区 齋藤 榮助

自分が考えていた以上に世界の変革・改革の波が速く、強いことに驚いた。ローターアクトと力を合わせ、さらに多様性をもって、前に進まなければならない。しかし、地区に戻って正確に伝え切れるか、自分にとっては難問の一つだ。

第2830地区 源新 和彦

大変感動した1週間でした。ホルガー・クナークRI会長エレクトの、温かな語り口に反してあふれる熱意、世界中のエレクトたちの情熱も受け止めました。そして何よりも、日本の同期の皆さんとの出会いは素晴らしいものでした。

第2570地区 相原 茂吉

それぞれの地区の期待と不安を共有している同期との出会い、そして絆。祭りの夕べで、東京五輪音頭2020を踊り終えた時に訪れた達成感と喜び。「サンディエゴは一生の宝物になるよ」。先輩ガバナーから言われた一言は本当にその通りでした。

第2580地区 野生司義光

百聞は一見に如かず。世界中のエレクトが一堂に会するとはこういうことなのかと、圧倒される出来事でした。セミナーも中身が濃く、いささか疲れましたが、楽しかったです。

第2590地区 吉田 隆男

次年度RI会長テーマを理解するための本会議や分科会など、充実した日々でした。特に用意周到に準備をされた研修リーダーに感謝です。「ロータリーは機会の扉を開く」、同期エレクトとの出会いも、その一つでしょう。人生は学び続けることが大切です。まず、自分を変えなければと思いました。





第2600地区 成田 守夫

国際協議会の参加者の姿は、「周囲を成長させてくれる人々の笑顔」と同じです。また、各職種のリーダーでもある世界のロータリアンの姿が一層輝きを増して見えました。この縁に感謝し、扉を開くため行動をしてまいります。

第2610地区 八塚 昌俊

R I は変化を求めています。クラブには「良い変化を！」と呼び掛けていこうと思います。各クラブはクラブ定款をよく理解し対応しなければなりません。会員の皆さん、地区内やクラブ内で話し合いを持ってください。私も協力します。そして、より良い関係をつくっていいのではないですか。

第2620地区 荻原 英生

国際協議会に参加して、ロータリーの多様性、柔軟性、寛容な心、仲間とのつながりの大切さを改めて実感いたしました。世界のロータリーリーダーが一堂に会し、ロータリーについて熱く語り合う姿はとても頼もしく、また楽しいものでありました。

世界中から続々とロータリーの旗の下に集まった仲間たち。言葉も肌の色も年齢も性別も違うのに、私たちは「Rotary Opens Opportunities」の下、一つになりました。各国のエレクトたちとの交流は私の心のドアを開けました。この感動を日本の皆さまに伝えたい。

第2760地区 岡部 勢

「百聞は一見に如かず」といいますが、まさにその通りです。世界の同期や、先輩ロータリアン、ローターアクトの若者たちと、ASSEMBLE（集合する）でき、大変興奮しました。また、同期と知り合えたことは、かけがえのない一生の宝です。

第2770地区 中里 公造

「ホテルの食事はおいしくないよ」「エレベーターがなかなか来ないよ」。出発前パストガバナーの皆さんからもらったアドバイスの一部ですが、それらもいい思い出です。多くの素晴らしい出会いがあり、新たな感動があり、「世界のロータリー」を実感した1週間でした。

第2780地区 久保田英男

各セッション、そして休憩や食事の時間を惜しみ、同期の仲間と熱く語り、違った見解や意見を聞いて、今までボンヤリとしていた、さまざまな疑問の霧は晴れ、鮮やかな景色が見えてきたような気がします。新たな不安もその場で解消、地区のために得た知識と経験、どのように生かすべきか……。サンディエゴの爽やかな風、青い空とは無縁だった1週間。でも気持ちは晴れやかに。献身的に支えてくれたR I の役員、研修リーダー、スタッフに感謝。お礼は立派な地区運営でしょうね。

クナークRI会長エレクトを囲んで

激甘スイーツを食べて
協議会を乗り切る祭りのタペで、東京五輪音頭2020を披露。
息もひたたり合った踊りで、会場を魅了しました

文化交流では、日本の着物の試着
コーナーが大人気



第 2790 地区 漆原 摂子

海辺の一都市を舞台に開催された国際協議会では、R
Iの方向性に集中して向き合うことができました。次
年度はクラブの皆さんが主役となり、ご自身や周囲の
人々へ多くのチャンスの扉を開くことができるよう尽
力します。

第 2820 地区 池田 正純

世界各国のエレクトとの素晴らしい出会いと交流が感
動的でした。特に友好地区（マニラ、バンコク、ネパ
ール）の3人のエレクトとの心の触れ合いが、より深い
絆で結ばれた数日間となりました。ホルガー・クナ
ークRI会長エレクトが提唱した会長テーマ「ロータリー
は機会の扉を開く」の神髄を、地区内の会員に上手に
伝えることを心掛けます。

第 2840 地区 山田 邦子

世界各国のリーダーによる本会議に、3人の研修リー
ダーによる準備万端な分科会と、充実した協議会とな
りました。ガバナーとしての資格・自覚・自信が得られ、
素晴らしい機会の扉を開くことができた1週間に感謝
します。

第 2630 地区 釧田 廣喜

初めて参加した4年前の国際協議会と比べて日程が1
日短くなったため、タイトな研修スケジュールとなり
ましたが、その分、充実した中身の濃い研修だったと
思います。ローターアクトの地区代表が参加した分科
会は大変新鮮で、その発想や視点には驚かされました。
自分の頭の固さ、柔軟性のなさを思い知らされました。
大変なこともありましたが、何より同期のガバナーの
人柄に触れ、絆が深まったのが一番の収穫でした。

ガバナーエレクトの分科会



パートナーの円卓討論

第 2640 地区 藤井 秀香

3人の女性を含むエレクト34人と学ばせていただきま
した。2021 - 22年度は女性ガバナー予定者がいない
そうで寂しいです。就任に向けて準備を整え、次年度
のロータリーの優先事項について学ぶことができました。
世界中のエレクト、それに選ばれた60人のローター
アクターと共に学び、ネットワークを築くことができ
ました。素晴らしい感動と機会を与えてくれた皆さま
に心から感謝します。

第 2650 地区 松原 六郎

本当は厳しい研修も、研修リーダーを担当した山崎、
鈴木、水野氏と、RI日本事務局の中井、尾畑氏の力
添えで充実した日々。仲間との協働もあり、特に野生
司夫人、久保田エレクト、簡エレクトにも感謝。東京
五輪音頭2020は大成功。服部SAAはいつもそばに
いてくださいました。

第 2660 地区 簡 仁一

本会議、分科会での出会いと交流を通して、同期エ
レクトの絆の強さ、一体感を改めて実感しました。日本、
そして世界各地で同じように模索しながら、リーダ
ーシップのあり方を探り、行動する同期の存在を励みに
前進していこうと、決意を新たにしています。

第2670地区 篠原 徹

日本にいと、R Iや世界のロータリークラブの情報は雑誌、書籍でしか分らなかったが、国際協議会に出席してみても世界のロータリアンの熱意、行動力に驚かされた。当地区のクラブも高齢化に立ち向かいつつ、会員たちを一層鼓舞しなければならぬと感じた次第。

第2680地区 高瀬 英夫

伊丹空港での壮行会で励まされ、一路サンディエゴへ。本会議、分科会、文化交流、祭りの夕べ、また同期会での意見交換、懇親会などを通して、多くを学び充実した1週間でした。その中から実感した2点は、

- ①最良の情報源は同期の仲間
- ②R Iは変わった、間違った方向に導いている、との見方はあるが、目的、中核的価値観など根底は何も変わっていない。要は自分たちがしっかりすることだ。

第2690地区 菊池 捷男

自由な発想と多様性、そこから生まれる新しい価値の創造。この実現は、既存のロータリークラブの会員を増やすだけでは十分ではない。かくて当地区に、せめて一つくらい、Eクラブを創設したいと思うに至った。

第2700地区 古賀 英次

改めてガバナーとしての認識を深めた1週間でした。世界のロータリアンと交流する中で、世界の平和というものがそこにあり、この小さな地球上で暮らす人々が仲良く、毎日安心して暮らせることが、人類一人一人の平和であり、当たり前前の姿であるということを感じるとともに、自分自身の中に平和の思いをさらに深めることができました。そして、同期のガバナーと一生の絆ができたことも成果です。次年度ガバナーを務めますが、その先の自らの生きる道も定まるかのような1週間でした。ロータリーに感謝！

第2710地区 脇 正典

サンディエゴでの最後の国際協議会、無事終わって一安心です。同期の皆さんと熱心に取り組み、研修リーダーの皆さんのおかげであつという間の1週間でした。ホルガー・クナークR I会長エレクトの明るい性格にも魅了されました。ただ、変革と維持のバランスを今後工夫しなければと強く思いました。

第2720地区 硯川 昭一

想像を絶する密度の高い体験。1週間一つのことに没頭するのは人生初めての経験でした。外国のエレクトとの交流、それに世界は一つであることを改めて心から感じ、この場の感動を地区のみんなと分かち合いたいと実感しました。

第2730地区 風呂井 敬

ロータリーの国際性を肌で感じると共に、R Iが新しいビジョン声明と戦略計画の実行に積極的に関わり姿勢と熱意に、圧倒された本会議と分科会でした。充実したこの1週間、次年度R I会長のテーマを実感しました。ありがたい機会を与えていただいたことに感謝。

第2740地区 花島 光喜

ガバナーエレクトの仲間意識は素晴らしい。同期の皆さんに支えられ、感謝感激しています。同期の皆さんのおかげで、帰国してから、少しずつ情熱を燃やし、何とか地区チーム研修セミナーを開催することができそうです。



※国際協議会は2021年からアメリカ・フロリダ州オーランドで開催されます。



ローターアクトへの期待を実感

今年も世界から選ばれた 60 人のローターアクトが国際協議会に参加し、ガバナーエレクトとともにロータリーについて語り合いました。日本から参加した 4 人のローターアクトに、国際協議会参加ビフォーアフターを聞きました。

Rotaractors in International Assembly 2020

感じた、ローターアクトへの期待

2019 - 20 年度第 2620 地区 R A 代表
富永 里紗 (静岡 R A C)

参加が決まってから、国際ロータリー (R I) の公式アプリなどの S N S (社会的ネットワーク構築サービス) を活用して、参加者同士のやり取りが始まりました。フェイスブックではローターアクト (以下、アクト) 60 人のグループページが作られ、自己紹介や写真の投稿が協議会当日まで続きました。ロータリークラブとの二重会員、国連との活動経験など話題は多岐にわたりました。

私はこれまでもローターアクトの海外のイベントに参加してきましたが、英語が母国語ではない国同士での交流が多く、そこまで英語ができなくてもなんとかなっていました。しかし、今回は協議会。話し合いが行われることから、参加が決まった時から危機感を抱いていました。

国際協議会は私にはとてもレベルが高く、正直他の人が出席の方が良かったのではないかと、思ったこともあり、「私に何ができるのか」。行く前から考えていましたが、英語ができないことを不安に思い、なかなか前向きになれませんでした。ローターアクトの知識は割とある方だと自負していましたが、世界の地区ローターアクト (R A) 代表であればそれは普通だということ、また、この知識や思いをもってしても、それを伝える手段がなければならぬことも同然、ということも思い知りました。せめて今は、次に参加する人のために、必死に記録を残し人に伝えるようにしています。

アクトだけのセッションでは発表は皆、母国語で行いました。事前調査で浮かび上がった問題にどう取り組

んでいくかを 2 人 1 組になって話し合い、雑誌の切り抜きを使ってその問題が効果的に伝わる宣伝記事を作りました。日本勢はあまり切り抜きにデコレーションをしていなかったのですが、他のテーブルはいろんな切り抜きを組み合わせたり、枠の外や裏面に貼ったりと、柔軟な考え方をしていることが分かりました。

期間中、どこにいてもローターアクトに対する期待を感じました。一番決定的だったのは、次年度の R I 会長テーマのロゴに使われる 3 色のうち 1 色が、ローターアクトのロゴのクランベリー色であることでした。

国際協議会は、ロータリー家族としてロータリアンとアクトが同じ目標に向かって活動していることを認識でき、互いに高め合う良い機会になると思いました。私たちアクトがロータリアンから学べるのはもちろんのこと、今回ロータリアンからも「アクトから学ぶことがある」との声を聞きました。そして「自分たちもロータリーの一部」とであると実感できる機会になりました。日本でも国際協議会のように、ロータリアンとアクトが話し合い、目標を確かめ合う機会を設けられたら、ロータリー、ローターアクト共に盛り上がっていくのではないかと感じました。

日本にいと忘れがちですが、ロータリーは「国際」ロータリーであって、「日本」ロータリーではありません。そのことを実感しました。終了後も S N S を通じたやり取りは続いており、活動報告や活発な議論も行われています。時差などでついていけず、私が発言することはなかなかありませんが、世界のアクトの考えを知ることができる良い場所だと思い、翻訳機能を使ってがんばって全て読んでいます。

(静岡県・山梨県)

ロータリーは「Fun」

2020 - 21 年度第 2800 地区 R A 代表
板垣 沙織 (鶴岡 R A C)

私はこれまで国際組織の一員でありながら、海外で活動したことがありませんでした。今まで、「ロータリーはこうでなくてはならない」という固定観念がありましたが、今回、国際協議会に参加して、時代に合った多様なクラブのあり方や海外のローターアクトの柔軟な考えを聞き、捉え方が変わりました。どの地区もどのクラブも長年にわたって積み重ねてきた歴史があります。

私の在籍する鶴岡ローターアクトクラブ (R A C) も 47 年の歴史あるクラブです。ガバナーエレクトとの分科会の中でもさまざまな意見や考えが出ていましたが、今までの歴史や伝統を大切にしつつも、時代や人々に合わせて柔軟に変化していくことが、これから必要になってくると思います。

アクトの分科会の中では、ホルガー・クナーク R I 会長エレクトへの質疑応答の時間がありました。私は「ロータリーを一言で表すと？」という質問をしました。人によっては、奉仕や親睦などいろいろな捉え方がありますが、会長エレクトにとってのロータリーへの思いを知りたいと思ったからです。会長エレクトからの答えは「Fun (楽しみ)」でした。そして、「今、ロータリーが恐れていることの一つに、年齢層がどんどん上がっていることがある。若い人たちが魅力を感じないと停滞していく。若い人たちにとって魅力的であることが大切だ」と話してくださいました。ローターアクトクラブも 2020 年 7 月から年齢の上限がなくなりますが、既存の会員ばかりでは、年齢層がどんどん上がり、停滞していく可能性も考えられます。地区 R A 代表やローターアクトクラブ会長は、ロータリーの目的を踏まえつつ、会員

や会員候補者に魅力を感じてもらい、楽しいと思えるような例会やクラブ、地区を築いていくことが求められます。今回学んだことをいかに行動に移し、実行するかが大切です。

サンディエゴで、ガバナーエレクトや世界中のアクターとつながりができました。「世界を変える行動人」として、これまで以上にロータリーとローターアクト相互の関わりを強くし、7 月に迎える代表年度に備えて準備を進めていきたいです。

(山形県)

良いことをする行動人を増やす

2019 - 20 年度第 2790 地区 R A 代表
本宮 秀斗 (習志野中央 R A C)

今回、世界中の次世代を担うリーダーたちと友達になることができました。現在も、彼らとは SNS を通してつながっており、アクターが世界中で行っている活動を報告し合っています。私も今回得たつながりを基に、将来、世界を変えるきっかけの一つをつくれるよう、日々自らの職業、そしてローターアクトの活動に精進する所存です。

分科会では、R I 会長エレクトとの質疑応答のセッションがありました。ロータリーを「Fun (楽しみ)」という一言で表した会長エレクトが、「ロータリーの活動を通して楽しみを共有できる仲間を見つけることができれば、より新しい奉仕やより深い親睦が得られる」と話されていたのが印象的でした。

国際協議会に参加して、世界のローターアクトが未来のために今を必死で生きていることにとても触発されました。将来、もし私がロータリアンになる機会があれば、アクターには世界中のアクターに会いに行くように



会場で地区の横断幕を掲げる富永さん



ローターアクト分科会で発表する本宮さん(左)と同テーブルの板垣さん





世界中からローターアクトが集結



フォトブースで記念撮影

伝えると思います。自分が今回そうしてもらったように。世代は違えど、世の中に良いことをする行動人を増やせるような大人に、私はなりたいです。(千葉県)

協力して良い組織をつくりたい

2019 - 20 年度第 2820 地区 R A 代表
但野実穂子 (水戸 RAC)

ガバナーエレクトと同じ空間で、R I が今どのようなことを課題として捉え、どのようなことに取り組もうとしているのかを知り、「情報の収集と発信の重要性」を強く感じました。今後は、それを認識した上で活動できるかどうかがとても重要だと思います。

正直なところ、今回学んだことを今すぐ地区やクラブにやってもらうことは簡単ではないと思います。その中で、私は今何ができるのか。まずは R I の考え、併せて地区の考えをしっかりと地区 R A 代表として伝えていくことが重要だと思います。この状況の中で私たちはどうしていくのか、地区内の会員に問い掛け、より良いクラ

ブをつくり上げていきたいと思います。

ローターアクトの分科会では、さまざまな国のアクターの意見を聞き、「柔軟な発想とそれを受け入れることの重要性」を改めて感じました。技術の発達に伴い、世の中の流れは大きく変化し、ロータリーやローターアクトの在り方も少しずつ変化しているように感じます。しかし、日本のロータリアンやアクターからはまだまだ変化への抵抗を感じます。もちろんこれまでクラブや地区をここまで持続させ成長させてくれた過去の方法や伝統は尊重すべきですが、慣習に基づいた運営だけでなく、今の若者は何を求めているのか、どんな組織であれば魅力的に感じるのかを考え、変化を恐れず、改新していくことが大切であると感じています。

国際協議会へのアクターの参加は今年で 2 年目になりますが、アクターの意見を積極的に受け入れようと、気に掛けてくれるロータリアンがたくさんいることにとてもうれしくなりました。ロータリアンの会員減少や高齢化という課題を抱える中で、少しでもローターアクトという若者の意見も取り入れてもらえれば、と思います。協力しながらより良い組織を形成することができれば幸いです。(茨城県)



ガバナーエレクトと一緒に分科会に出席する本宮さんと富永さん (中央)



但野さん (左から 2 番目) と板垣さん (右から 2 番目)



富永さん (左)



会長エレクトとホースを取る但野さん

琴線に触れた モメントを2つ

第2760地区 愛知

伊藤 靖祐ガバナー (江南RC)

地区内会員に感動を与え、ロータリー活動のモチベーションを上げていくのがガバナーの使命の一つでしょう。ところが、私が感動をもらうことがしばしば。あるクラブの女性会長は、会員増強にも積極的で「女性会員を7人増やします。既に10人の入会が決まっています」



大きなモメントの一つ、女性の集い(2019年11月)

と、力強く語ってくれましたが、当地区のアキレス腱の一つは、地区会員数が4,900人超と国内最多でありながら、女性会員の割合が5%台であることです。

そこで、女性会員と女性の入会候補者を対象に「女性の集い」を企画開催。あっという間に88人が集まりました。大きなモメントです。女性会員の増強ができれば、地区内会員数5,000人も可能だと考えています。

青少年交換事業でも大きなモメントがありました。一人の女子高校生から手紙をもらいました。大学進学にも自分の将来にも夢や希望を持てず、自分を信じることもできず、人生のどん底にいたが、自分を変えたいとずっと思い続け、交換学生の選考試験に合格できたことを機に、変わったそうです。手紙には「報われなかった時間があつたとしても、その苦しさは必ず未来につながっていて、人生には本当に無駄がないのだ、と実感しています。私自身を変えるきっかけとなったこのプログラムと、ロータリーの皆さまに感謝しています。輝かしい自分になれるように頑張ります」とありました。

この女子高校生をはじめ、多くの女性から琴線に触れたモメントをいただきましたが、ここでは書ききれないほどのモメントをさらに、感じています。その全ての方々に、感謝します。
(幼稚園)

感動と感謝

第2770地区 埼玉南東

小林 操ガバナー (越谷北RC)

「ポリオ根絶活動から、クラブ活性化へ」を地区運営方針とし、2019-20年度がスタートしました。まさか自分がポリオ根絶活動で地区をリードするとは、3年前までは思いもよらなかったことです。

ロータリー歴の約3分の1を、地区役員としてロータリー財団関係に携わってきたこともあり、ポリオ根絶への思いは誰よりもあつたと自負しています。ロンド・バートン直前ロータリー財団管理委員長は、ポリオ根絶の約束は必ず守ると講演しましたが、私も、クラブ会長を務めた2003年、市民祭りで「ロータリーのポリオ根絶の約束は必ず守る」と訴えたことを思い出しました。時間はかかっていますが、ポリオという言葉は全てのロータリアンに浸透してきていると思います。

今年度、再確認として、当地区74クラブの全ロータリアンに、ロータリーはポリオ根絶を優先事項としてい

ること、10月24日の世界ポリオデーを中心に、世界中でロータリークラブが根絶活動をしていること、募金と寄付を集めていることをアピールし、インパクトを与えることを画策。「そうだ、そろいのTシャツを着てもらおう」。各クラブで「END POLIO NOW」のロゴ入りTシャツを購入してもらい、活動時は常にこれを着て、ポリオ根絶活動を表現していただきたい、と。

公式訪問の時、多くのロータリアンが、ポリオ根絶Tシャツを着て迎えてくれました。朱色のTシャツがこんなにもまぶしく感じたのは初めてでした。そして、世界ポリオデー、11月の地区大会でもこのポリオTシャツの姿が。感動と感謝を覚えました。
(税理士)



まぶしい朱色のTシャツに囲まれて(2019年9月川口RCにて。前列ブレザー着用の右側が小林ガバナー)

ロータリーライフを変えたGSE

第2780地区 神奈川

杉岡 芳樹ガバナー（相模原RC）

2009－10年度地区米山学友会事業、バーベキューでのこと。研究グループ交換（GSE）委員経験のある米山委員会メンバーに、何げなくGSEプログラムについて尋ね、内容を聞いてだけで終わるはずでした。

ところがその2日ほど後に、時の奥津光弘ガバナーか



ノーサンプトンRC例会に女性メンバーは和服で参加
（後列右から3人がガバナー 2010年4月）

ら、思いがけず電話が。「ありがとう！ GSE団長として行っていただけると聞いた。よろしくお願いします」。一方的に電話は切られました。

結果、GSE団長が既定路線になってしまいました。クラブ会長を終えて2年目の自分がまさかと思いました。が、まあどうにかなるだろうと、覚悟を決めました。その後に、4人のチームメンバーの決定、10回以上のオリエンテーションを経て、メンバーとしての意識、結束も確立されました。その年度は、アメリカ・コネティカット州北部とマサチューセッツ州西部の第7890地区への派遣。4月に日本を立ち、ほぼ1週間ずつ4つのホストファミリーに滞在しました。例会でのプレゼンテーション、職業体験、ホームパーティー、観光、サラトガでの地区大会などなど、あっという間の1カ月でした。メンバーは1カ月間の経験で、職業意識、文化交流の大切さを学んだと思います。チームメンバーとは10年を経た現在でも、同窓会を開き、往時を懐かしく語らう機会を持っています。また、うれしいことに2人がロータリアンになりました。

GSEは今はありませんが、その後のロータリーへの強い思いが醸成され、ガバナーへのチャレンジもこの体験から始まった、と今では感じています。（LPガス供給）

私をロータリーの「とりこ」にしたRLI！

第2790地区 千葉

諸岡 靖彦ガバナー（成田RC）

東日本大震災の年、2011年12月。クラブの研修委員長として、地区研修セミナーに出席した時のことです。ロータリーの戦略計画や中核的価値観について基調講演を聞いた後でした。参加者が10人程度の小グループに分かれてコの字型のテーブルを囲み、「ロータリーの親睦と奉仕」がテーマのテーブルディスカッションに臨みました。ディスカッションリーダーは白鳥政孝パストガバナーでした。

白鳥さんの巧みなリードとファシリテーションで、自然体で対応することができました。質問は誰に投げられるかは分かりません。緊張と流れるような展開が続きました。不意に指名され、とっさの返答が本音とクラブの実情を明るみにします。頭の中は奉仕と親睦の理想と現実、自クラブの実情との比較が駆け巡ります。わがクラブの方が先を行っているとか、奉仕活動でそんな仕方や、

考え方があるのか！ と得心したり、頭がかあっと熱くなる感覚を覚えました。この瞬間が、私のRotary Momentだったのです。ロータリーにはこんな刺激的な研修プログラムがあったのか！ RLI（ロータリー・リーダーシップ研究会）。それは新鮮な驚きでした。

われわれの知識は受け身だけの講義や、読むだけの学習では完全に習得できません。すぐに忘れてしまいます。聴きながら読む、実演し、実習する、グループ討議する、実践する、教える、知識を実行する……そうした複数の方法で身体を動かし、実際にやってみることで。RLIには、ロータリアンとして人間力を向上させて、仲間を得る、素晴らしい力があるのです。（和菓子製造）



「とりこ」になった皆で交互に（右から2番目、2017年4月）

ネパールとの友好地区 締結に思う

第 2820 地区 茨城

中村 澄夫ガバナー (東海那珂 R C)

ロータリーの国際奉仕については、多くのクラブが懸命に取り組み、実に幅広い分野での活動が展開されている。わが地区においても数多く実施されているが、私のクラブによるネパールの学校支援は 1997 年からで、既に 23 年を重ねた奉仕活動である。



サンサリマイ小中学校に育つ記念樹 (2015 年 6 月)

当初、ネパールは王制の国であり、現在とは随分状況が違っていた。この頃、日本からの登山家らがエベレスト登頂に挑戦する中、交流を深くした人たちの住む地方の学校を支援しており、それに参与する形での活動のスタートであった。登山道沿いに建てた小さな学校だったが、通ってくる子どもが増え、今では小中一貫校となった。教育に熱心に取り組む村長、校長をはじめ、多くの住人らが深く関わり、優秀な学校として、国から表彰を受けるほどに発展している。

しかし王制の廃止、そして 2015 年に起きた大地震により国の状況は大きく変化し、世界との交流も多面的に発展しつつある現況下、ロータリーにおける活動もさらに深まっている。幅広い交際が展開されているネパールでは、日本の各地区で、長い交流を重ねるクラブも増えていると聞く。そのような中、今年度わが地区では、ネパールの病院での心臓病対策を眼目に据えた。このグローバル補助金活用事業は、ネパール、台湾、韓国、そして日本の連合奉仕として展開することとなった。

今年度、この奉仕を主なきっかけとして、ネパールと友好地区を締結。タイ、フィリピンに続く 3 地区目の対象国として実施できることに、仲間のロータリアンに深い感謝を申し上げたい。

(建設業 [造園])

国際協議会こそ最大の ロータリー・モメント

第 2840 地区 群馬

森田 高史ガバナー (伊勢崎 R C)

2017 年 5 月、ガバナーノミニー・デジグネートの指名をいただき、当時、入会 30 年となる私にとっては、大きな逡巡と決断が必要となりました。しかし、ガバナーノミニー就任の結果、国内の 33 地区のガバナーご夫妻を生涯の友として一気に得るとともに、ガバナー年度に向けた準備において、大きな発見と啓発を受けました。

昨年 1 月、アメリカのサンディエゴで、ガバナーエレクトとして臨んだ国際協議会でのインパクト (感動) は予想を超えるものでした。世界中の同期と 1 週間協議を重ねることで、自らの立ち位置が確認できたようにも思います。知らない世界に踏み込んだ感動と、120 万人の仲間とつながっていることが実感できました。各セッションもエキサイティングで、新しいステージに立ったという感覚でした。晩餐会や夕食会も国際色豊かで、一生の思い出となりました。

このような私の経験からも、クラブでの会長、地区でのガバナー、地域 (ゾーン) でのコーディネーター、求められた役職は躊躇なくぜひ、お引き受けいただきたいと思います。

「ロータリーにノーはない。ハイかイエスと喜んで!!」というフレーズを聞きます。クラブを知り、地区を知り、地域 (ゾーン) を知り、そして R I を知る。ロータリーは懐の深い、果てしなく素晴らしい団体です。

ロータリアンであれば、将来、ガバナーの指名を受けたら、ぜひ。「進む時は人に任せ 退く時は自らの決断」という、出処進退の原則に通じるものがあると思います。

(税理士)



国際協議会で。左が森田ガバナー夫妻 (2019 年 1 月)

今日は白バイが前を走ってくれた

第 2630 地区 岐阜・三重

辻 正敏ガバナー (津RC)

2000 年 2 月 20 日午前 9 時。みぞれ交じりの中、号砲と共に 14 中学校 27 チームが一斉にスタート。

私たちのクラブ創立 50 周年記念事業「中学校津市内駅伝競走大会」です。コース設定のため絶大な理解と協力をいただいた津警察署、支援してくださった津市教育委員会、より良い大会実施のために貴重なご意見を賜った先生方、大会の安全な運営になくてはならなかった交通機動隊。そして、そろいのジャンパーを準備して安全確保のため、コースの隅々に立って見守ってくださった企業サポーター、自治会、PTA、個人的にお手伝いくださった多くの皆さま、近隣ロータリークラブの会員。さらに、競技運営面の全てを担当された津陸上競技協会のおかげで、この大会は実現できました。

青少年を取り巻く環境には、時代ごとに多くの問題があります。この大会では、大人が青少年の問題を勝手に

考えるのではなく、彼らと一緒に考えるきっかけとしたいと願っていました。青少年が自分を、自分たちをアピールできる機会を作ろう、チームやグループの力を感ぜよう、そして周りにいる人たちも一緒になろう、が合言葉でした。無事競技が終わった時、当時最も暴力事件などで問題視されていた学校の生徒の一人が、「おじちゃん、今まで白バイに追いかけられたことはあったけど、今日は前を走ってくれた。来年もまたやろ！」と満面の笑みで語りかけてきました。とてもうれしい一場面でした。

近年まで、あのジャンパーを着ている人を見掛けました。ロータリー活動にスタートはあるけどゴールはない。この年度の会長を務められた私は幸せ者です。(建築工事)



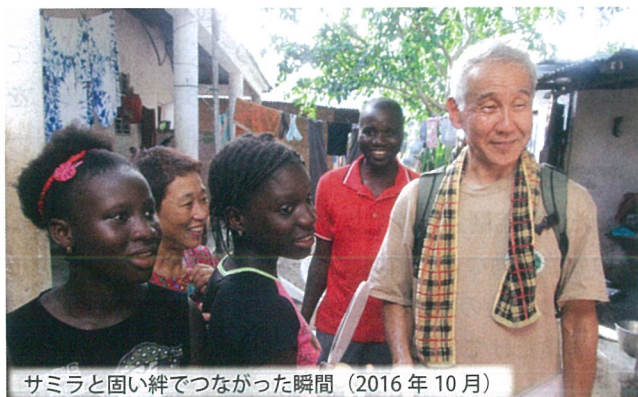
「おじちゃん」の会長から優勝杯が手渡された(2000 年 2 月)

遠く離れた里子に会いに

第 2640 地区 大阪南部・和歌山

中野 均ガバナー (堺東RC)

堺東RCが支援する、NPO法人エスペランサが行う里親支援で、私も西アフリカのギニアビサウ共和国のサミラという女の子をお世話しています。2016 年、法人代表と共に現地へ行く機会があり、サミラに出会うことができました。ちょうどサミラの通う中学校の卒業式で、



サミラと強い絆でつながった瞬間(2016 年 10 月)

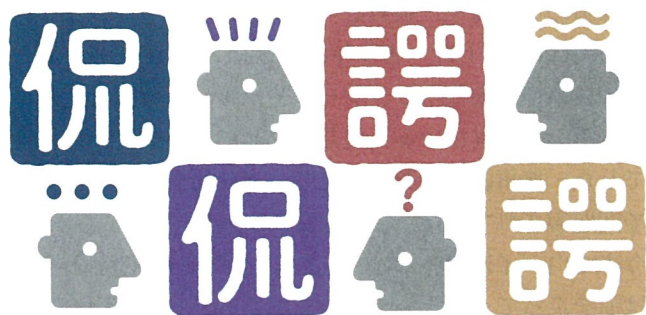
卒業証書を授与しました。この様子がテレビニュースとして現地に流れたことも、貴重な経験でした。

サミラの家に行くために郊外の村を訪れたのですが、途中、生活の違いを感じながらも、サミラと親族と会って感動したことを、今でも鮮明に覚えています。彼女は成績優秀で、現在中学生です。制度上、支援は中学卒業で終わってしまうのですが。

この時の訪問で、法人が運営する学校の教室の傷みが激しいことに気付きました。その補修や、水と衛生についても改善する必要性を感じました。政権争いの時も学校を守った現地スタッフの努力で、何とか存続しています。学校として管理もできており、里子支援をしてよかった、と感じた瞬間でした。

ギニアビサウは国としてGDP(国内総生産)が低く、インフラ整備まで期待できませんが、幸いにも、ビサウRCの会員と会い、つながる糸を手繰り寄せられたことに感謝しています。事業遂行のハードルは高いですが、ロータリアンとして何とかしたい気持ちになりました。私にとって、ロータリアンでなければできなかった経験の一つで、内容を精査し、ビサウRCとの協同事業も視野に入れています。この素晴らしい体験ができたロータリーに、感謝の気持ちを忘れません。

(不動産賃貸)



あるテーマを基にご意見を交換するコーナー。「他のクラブはどうしているんだろう」「これって、ロータリーの常識なの?」といった素朴な疑問を、いま一度「侃侃諤諤（遠慮することなく議論）」しませんか?



**妻の卓話は大盛況！
私は運転手とカバン持ちで**

深谷ノースRC 荻野 敏広



**積極的に参加する長男は
すでに津RCファミリー**

津RC 神田 浩伸

「パパはいいよね！ いつもロータリーの日は楽しそうで」。普段、例会などで私が出掛ける時は、必ず妻の口からこんなセリフが発射されます。

そんなある日、同じクラブの友人から「会長（私）の奥さんに卓話を頼みたい」と言われ、妻に伝えたところ、何と、二つ返事でOK!! 聞けば以前に妻同士が、とあるセミナーで一緒だったとのことでした。

妻は「幸せ実現カウンセラー」という肩書で、過去に多数のセミナーや勉強会などで個性心理学を学び、ライセンスまで取得しています。卓話の依頼を受けてから、当クラブ会員と配偶者の誕生日を基にした一人一人の診断を、夜な夜なプリントしていました。

例会当日は、まるでRLI（ロータリー・リーダーシップ研究会）方式でもあるかのような卓話で、会場全体が笑い声と笑顔でいっぱいになり、時間オーバーまでするありさまでした。やはり自分の好きなこと、興味あることならば家族も喜んでクラブに参加してくれ、会員たちともよいつながりができるんだ、と深く実感しました。

その1週間後には、別のクラブでも卓話をさせていただき、私も運転手とカバン持ちとしての参加となりました。それから妻は、「今度はどこのクラブさんに行けるか」と楽しみにしているようです。

一方、子どもも家族旅行とクリスマス会には毎年楽しく参加しています。ウチの家族は、ロータリー大好きファミリーです。これからも積極的に、ロータリークラブの活動に家族で参加していきます。

（第2570地区 埼玉県）

小6の長男は積極的に参加しています。私は賛成です。

ロータリークラブは、家族にも誇ることができる団体だと思っています。入会して10年、今年も彼と共に新年家族例会に参加しました。長男の参加も私と同様に10回目。妻と長女は習い事の関係で参加できず、ここ数年は二人で参加しています。

津ロータリークラブ（RC）では、会員の配偶者同伴の参加は多数見られますが、最近では子どもの参加が全くありません。しかし、私の長男は誘えば参加します。以前、先輩会員から「行きたいと言う間は、必ず連れて来てあげなさい」と言われ、そのまま続けています。

津RCは70年の歴史があるため、2代、3代と続けて入会している会員もいます。その会員の入会スピーチでは、自分が子どもの頃に参加したロータリーの新年例会や、奉仕活動の時の写真を見せて自己紹介することがよくあります。私の長男も何年か後、そのように「思い出の写真です」と言ってくれればと思います。

何回も参加しているので、会員の多くは、顔を覚えていてくれます。私の知らないところで「お年玉」を頂いたりもしているようです。すでに津RCファミリーなのでしょう。

また、新年例会だけでなく、津城跡の清掃、桜の植樹、魚の放流活動などの環境保全活動にも参加します。ロータリーの奉仕の精神を理解していないかもしれませんが、体験だけでも将来のためにはいいと思っています。ちなみに、今年の新年例会の抽選会では長男に図書カードが当たり、大喜びでした。

（第2630地区 三重県）



侃侃諤諤③

家族はロータリー活動に積極的に参加？ それとも……

マローニー R I 会長は、家族の参加を推奨していますが、皆さまの家族はどうですか？ ご意見を伺いました。

妻、子ども 3 人を連れ参加。
仕事と子育ての悩みを相談で
きる人間関係を築けました

古河東 R C 鶴岡 学



私にとってのロータリーは
仕事や家族と切り離された
リフレッシュタイム

広島北 R C 秋山 竜一



私は 30 代で、子どもが 3 人います。古河東 R C に入会して 2 年がたちました。子育て中の私にとって、今回のテーマには特に大きな関心があります。

私の家族は、ロータリー活動に積極的に参加しています。地域イベントなど、家族が気軽に参加できる機会には、積極的に子どもたちを連れていきます。妻と一緒に参加することもあります。多くは子どもたちだけを連れて参加します。そうすると、妻は一人の時間が持てるからです。子どもたちにとっても、多くのロータリアンと触れ合い、とても良い学びの時間となっています。妻にも、機会を見つけてはロータリアンを紹介しています。私たちを夫婦単位で認識している会員が多くいます。

家族でロータリー活動に参加することで、わが家全体のことを、地域で温かく見守ってもらっているような、不思議な感覚になります。つまり、地域に顔の見える、頼り合える人間関係をつくることができたのです。仕事と子育ての悩みを、気軽に相談できる人間関係が構築できました。

ロータリーでは、日常生活だけでは出会うこともなく、継続的に一緒に何かに取り組むことがなかなかできないような方々と、時間を過ごすことができます。これまでも地域の魅力を再発見する機会が多くありました。今後はロータリーを通じて学んだことを、積極的に発信していきたいと思います。

そして、世界中のロータリアンが集まる国際ロータリー年次大会に、いつか家族を連れて参加することがわが家の夢です。

(第 2820 地区 茨城県)

私は 6 年前、38 歳で広島北 R C に入会しました。当時は子どもが 5 歳、3 歳、1 歳で手のかかる時期でした。こうした背景もありましたので、ロータリー活動を積極的には行えない状況でしたが、家族同伴の例会では、先輩会員たちが子どもたちを大変かわいがってくださいました。

そんなこともあり、子どもたちはロータリーが大好きで、家族のロータリー活動への理解も進むようになりました。遠方でのロータリー活動で家を空けることがあっても、妻はよくサポートしてくれます。一昨年の広島平和記念公園の清掃活動には、一家で参加しました。

ただ、私の意見としては、家族はロータリー活動に積極的に参加をしなくてもよいと思っています。ロータリー活動に家族の理解は必須で、親睦や家族参加の行事も必要だとは思いますが、私にとってのロータリーとは仕事や家庭と切り離された、いわばリフレッシュと位置付けているためです。ロータリー活動に没頭して嫌なことを忘れ、行事の後はお酒も楽しみ、家に悩みを持ち込まないことが、自分の大事な習慣になっています。

また、当クラブ独自の事情なのかもしれませんが、体育会系・男社会の雰囲気の色濃く持つ組織なのです。前近代的な考えではありますが、女性や子どもが参加するにはそぐわないように感じます。時代の流れでもあり、家族が参加できる例会や奉仕活動があるのは大変良いことですが、同時に、各クラブが持つ風土を良い形で残すことにも留意すべきだと考えます。

(第 2710 地区 広島県)



「つなげよう、つながろう」
元ロータリアンの父の写真に
息子が

富良野 R C 段 禎文



妻の積極的支援なくして
青少年交換受け入れは成立
しなかった

東京保谷 R C 田中 界治

富良野 R C の今年度のスローガンは「つなげよう、つながろう、富良野ロータリアン！」です。

そのための活動方針の一つに、「会員相互（家族を含め）の親睦を図る」を掲げています。会員相互の親睦を図るためには、家族を含めた親睦が必要不可欠であり、家族の参加により、より深い親睦が図られ、このことにより、スローガンの達成が可能になると考えます。

さらに、『友』に毎月掲載される国際ロータリー会長のメッセージは、「ロータリアンとロータリー家族の皆さん」宛てになっており、家族でのロータリー活動への積極的な参加が望ましい、と R I 会長も後押しをしてくれています。

現在、富良野 R C では、日帰り研修旅行とクリスマスパーティーなどの懇親会において、家族の積極的な参加をお願いしています。家族には会員の妻、子どもに加えて、子どもの配偶者や孫なども参加して、大変にぎやかな会となっています。

先日、ロータリアンであった父の写真を整理する中で、ロータリークラブのクリスマスパーティーでの、孫との写真が出てきました。今は大きくなった子どもに見せると、大変懐かしそうに、笑顔で見ていたのが印象的でした。彼も、ゆくゆくは当家の3代目のロータリアンとして活動することになるのでしょうか？

そんなことを考えながら、多くの家族の皆さんがロータリー活動に参加することを望みます。

(第 2500 地区 北海道)

もし、ロータリー家族の積極的協力なくば、全てのロータリー活動が円滑に進まなくなるのは、火を見るよりも明らかである。例えば、青少年交換学生プログラムなどで、外国から留学生を受け入れた際は、家族の理解と支援なくしては成立しない。

私のささやかな経験から具体例を述べると、オーストラリア出身の女子高生を受け入れた際、来日してすぐに学校の制服や日頃の生活衣類の採寸、婦人服売り場での購入などをする必要があり、そこに全く私の出る幕はなかった。全て妻の出番であり、家族の積極的支援なくして、女子留学生の家庭での受け入れは成立しなかった。加えて子どもたちの種々なる支援活動もあって、わが家ではこうした交換学生受け入れが成立した覚えがある。全ての面で、妻はわが子同然の扱いをして、食事、洗濯などは言うに及ばず、学校生活まで面倒を見て、子どもが一人急に増えたようだった。従って、帰国の際は別れがたく、滂沱^{ぼうた}の涙を流していた。

このような家族の積極的な参加支援活動がなくば、青少年交換学生のホームステイなどは成立、成功しないことは当然である。家族も見返りを求めず、奉仕の精神に基づいて、支援活動を積極的に進めてくれたからである。家族の、打算抜きの親身な支援は、十分に意思疎通していたのである。

このような事項からも、家族がロータリー活動に積極的に参加したからこそ、ロータリーの奉仕活動が成就したのだと思う。

(第 2580 地区 東京都)

編集部より

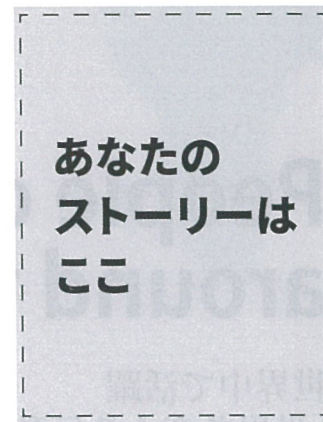
次回テーマは、**あなたのクラブの例会自慢は何ですか？**

600 字以内
4 月 10 日締切

食事がおいしい、伝統と格式あるホテルが会場、卓話者の人選が素晴らしい、アットホームな雰囲気が魅力で、そのために△×な工夫をしている、などなど、会員たちを出席したいと思わせる工夫（自慢）をお知らせください。また「(実際には行っていないけど) 例会のここが変われば (自慢できるようになれば) もっと良くなるのに……」といったご提案についても、お聞かせください。詳細は横組み P 47 をご参照ください。ご投稿をお待ちしています！

『友』ウェブサイトから記入用紙 (PDF) をダウンロードできます！





クラブのこと、ロータリーが世界で行っていることを、地域の人に知ってもらおう

ロータリーでは、私たちが「世界を変える行動人 (People of Action)」であることを世界に広めるキャンペーンを展開しています。多くのクラブがこのキャンペーンに参加することによって、私たちのメッセージはより一層広まります。

ロータリーブランドリソースセンター (rotary.org/brandcenter) には、あなたのクラブのストーリーを伝えるためのツールが満載(ポスターの作り方は『友』6月号横組み P14 に掲載)。

私たちのメッセージを世界に伝えていきましょう。

チェコ共和国

イタリア

インド

アメリカ

アルゼンチン

People of action around the globe

世界中で活躍
「世界を変える行動人」

アメリカ

生まれながらに脊椎の異常がある娘のために、どんなところへでも移動ができる車いすが欲しい、というある母親の願いから、ジョージア州の複数の高校が参加する取り組みが生まれました。

2019年2月に、ウッドストック市にある、ロボット工学で有名なエトワ高校のインターアクトクラブは、デラウェア大学のモビリティプロジェクト Go Baby Go の協力を得て、電動車椅子第1号を完成させました。すると、こういった車いすへの要望がどんどん舞い込んできました。

この反響に、同クラブはこの活動に賛同したカントン市、イーストコブ市、タッカー市、ウッドストック市内のインターアクトクラブを集めて、科学技術を生徒の間に広めるための共同事業体 Interact First Alliance を結成しました。

アルゼンチン

カンパーナ・ロータリークラブ(RC)が紹介したプロのダンスインストラクターに率いられて、ラテン系のダンスエクササイズであるズンバの愛好家約300人が、募金活動を行いました。2019年5月に行われたこのイベントで集まった募金は、地域ボランティアの消防士が使用する、熱探知カメラの購入費に必要な3,000ドル(約30万円)の一部に充てられた、とクラブ会長のウォルター・ウェイズマンさんは言います。学校の体育館で行われたズンバにより、同クラブの創立80周年記念は大いに盛り上がりました。同クラブは近年、高校生に奨学金、農業高校に農機具、眼鏡バンクには眼鏡を提供しています。

186カ国で1,500万人を超える人々が毎週ズンバのクラスに参加しています。

イタリア

2012年以降、フェルモRCは地域の刑務所の受刑者の声が世間に伝わるように手を差し伸べてきました。

同クラブは刑務所にコンピューターを設置し、専門的な助言を行って「L'Altra Chiave News (もう一方の重要なニュース)」というニュースレターの発行に協力。会員でジャーナリストのアンジェリカ・マルヴァターニさんは毎週、フェルモ刑務所を訪れ、受刑者と一緒にニュース記事や論説を執筆し、レイアウトを整えます。

「年に4回発行されるニュースレターを通じて、自分の選択に一層責任を感じると同時に、受刑者とはいえ一人の男性であり、父親であり、息子であり、兄弟であり、また、普通の人間であることを人に分かってもらおうとするのです」とマルヴァターニさんは言います。



チェコ共和国

2019年5月、ヴルタヴァ川の岸辺に集まった観衆が応援する中、第10回ドラゴンボートチャリティーチャレンジが行われ、27チームが競いました。チェコドラゴンボート協会の協力を得てプラハインターナショナルRCが主催したこのレースを通じ、Život 90（高齢者の支援団体）と Nadace Naše dítě（虐待を受けた子どもと障害のある子どもの支援団体）と Výbor dobré vůle（障害者の支援団体）の3団体に2万5,000ドル（約275万円）が寄付されました。

「こぎ手16人とリズムを取るための舵手^{だしり}の17人からなるチームは全力でボートをこぎながらも、楽しく競い合いました」と大会を企画した同クラブ会員のクリスチャン・ノールさんは言います。

チームは企業の同僚やロータリークラブ、各種団体の仲間同士で組まれました。「誰が勝ったか？ もちろん、何十万チェココルナもの寄付を受

け取った慈善団体ですよ。レースについて言えば、プラハスタレームニエストRCが優勝しました」とプラハインターナショナルRC会員のジョセフ・シンパートルさん。

2020年の大会は5月23日に開催予定です。

インド

インド南東部では、2018年8月に大雨による洪水や山崩れが起きました。第3181地区をはじめ、世界中のロータリアンが立ち上がり、被災者のために募金活動を実施。2019年6月までに、Rebuild Kodagu Trust Committeeは1軒あたり7,000ドル（約77万円）以上の費用がかかる被災者住宅を25軒完成させました。このプロジェクトを推進する中心人物の一人、2011－12年度国際ロータリー会長のカルヤン・バネルジーさんが住宅のオープニングを祝いました。入居者の選出と建設の手配にはインドのハビタット・フォー・ヒューマニティが協力。3月にはもう25軒が新たな入居者に引き渡される予定です。

-BRAD WEBBER

インドでは大雨などの異常気象により毎日5人が命を落としています。

**CLOSE
UP!**
学友会⑬



ネパール米山学友会

日本から託された善意をつないで

在日学友の連携で設立を実現

前号の「よねやまだより」で紹介したスリランカ米山学友会同様、ネパール米山学友会の設立のきっかけも、日本に住むネパール人の米山学友からの働き掛けでした。

関西米山学友会（第2660地区）メンバーのマノハル・ラル・シュレスタさん（2001 - 02 / 大阪大淀RC）は、在日学友と帰国した学友が連携して社会に貢献するため、同じ大阪在住のネパール人の米山学友、ディネス・シュレスタさん（1991 - 92 / 宝塚武庫川RC）と協力して、母国ネパールに米山学友会をつくるべく始動。東京でも、東京米山友愛RC（第2750地区）会員のギリ・ラムさん（1998 - 2000 / 室蘭RC）がネパール米山学友会の設立を目指していたことからタッグを組み、日本在住のネパール人の米山学友や母国の学友とコンタクトを取り、米山学友会の会則整備や創立会員の勧誘に力を尽くしました。

そして迎えた2013年10月19日、首都カトマンズ市内で開催されたネパール米山学友会の創立総会には、マノハルさんやギリさんを含むネパールの米山学友15



2013年の創立総会にて

人と、日本のロータリアンや関西米山学友会役員ら11人、在ネパール日本国大使館一等書記官ら来賓を合わせた約40人が出席。初代会長には、ネパールの国立トリブバン大学で水文地質学教授を務め、カトマンズRC会員でもあるスレス・ダス・シュレスタさん（1994 - 96 / 大阪阪南RC）、副会長には同じトリブバン大学植物学教授のビジャヤ・パントさん（1995 - 97 / 広島東南RC）、そのほか5人の役員が選任されました。

スレスさんは、当時の感動を次のように述懐します。「ロータリー米山記念奨学会とネパール米山学友会のメンバーから寄せられた信頼を誇りに思うとともに、学友会設立の目的が果たせるよう力を尽くしたいと、会長を

引き受けました。はるばる日本からたくさんのロータリアンが創立総会に来てくれたことが何よりうれしく、私の人生において忘れられない日になりました」

地震をきっかけに 芽生えた助け合いの心

その喜びの日から2年半後の2015年4月25日、ネパール西部を震源とする大地震が発生。カトマンズ盆地をはじめ各地で多くの家屋、建造物が倒壊し、多



私は応援します！



2019 - 20年度
第3292地区ガバナー

**キラン・ラル・
シュレスタ 氏**

日本のロータリアンによるロータリー米山記念奨学会が、外国人留学生に奨学金を支給してくれていること、さらにはネパール米山学友会が奨学金の支給や医療キャンプの実施といった活動を、ネパール各地、とりわけ地震で大きな被害を

受けた地域で行っていることを知り、とてもうれしく思います。米山記念奨学事業のコンセプトは、相互交流を助けることだと聞きました。より良い社会の形成に貢献する、この“米山”のようなプログラムを、世界のロータリーが始めるべきだと思います。また、世界各国に米山学友会が誕生すれば、この事業の素晴らしい使命を果たすことにつながっていくでしょう。ネパール米山学友会がこれからも活動が続けてくれることを願います。必要なサポートがあればネパールのロータリアンたちは喜んで提供します。

遠い異国で大地震が発生。その復興を応援したいと思ったとき、皆さんならどうしますか？
2015年4月のネパール大地震では、その被害の大きさに心を痛めた日本各地のロータリアン、米山学友や奨学生から支援の声が上がりました。その思いの受け皿となったのが、ネパール米山学友会（略称：RYSA^{ライサン}N = Rotary Yoneyama Scholars' Alumni Nepal）です。日本から送られた義援金をもとに、同学友会では現在に至るまで、地震で被災した若者たちへの奨学事業をはじめ、さまざまな支援活動を行っています。



数の死傷者が出ました。2011年に東日本大震災で甚大な被害を受けた日本の人々にとって、大地震で大切な家族や家を失い、途方に暮れるネパールの人たちの苦しみは他人事ではなく、「ネパールに義援金を送りたい」と希望するロータリアンや学友からの問い合わせが、米山記念奨学会に相次いで寄せられました。とはいえ、海外への送金には高い手数料や煩雑な手続きがあり、そもそもどこに送れば現地に確実に届き、適正に使われるのか、見極めなければなりません。そこで信頼できるパートナー役を担ったのが、ネパール米山学友会でした。

当時、学友会の副会長で、現在は第2代会長を務めるビジャヤさんは、「私たちネパール学友会メンバー全員の生まれ故郷と家族が被災しました。もちろん最初は、大きな精神的痛手を負いましたが、やがて何人かの学友が集まり、被災者のために何をすべきかを話し始めました。地震の発生によって、助け合いの精神が学友一人一人に芽生えたのです」

ネパール米山学友会では、米山記念奨学会を窓口として集まった日本からの義援金をもとに、仮設住宅などを建設する計画を進めました。

持続可能な奨学事業をスタート

同年8月の受付締め切りまでに、主に日本全国の地区、クラブ、個人、さらに米山奨学生と学友、学友会からの寄付も加わり、当初予想の2倍を超える1,400万円以上の義援金が寄せられました。金額が予想以上に多く、また、時間の経過とともに現地で求められるニーズも緊急支援から中長期的な支援へとシフトしていたこと



現在の奨学生と、新会員を含む学友会メンバーで記念撮影

から、ネパール米山学友会では当初の計画を練り直し、まずは被災学生への奨学金事業に着手することにしました。

4～12年生（8～16歳）の被災者を対象に新聞広告で奨学生を募集。学友会の役員が審査に当たり、150人以上の応募者から22人に奨学金の支給を開始しました。この奨学制度では支給開始学年から12年生（日本の高校卒業年に相当）の課程修了までの支援を約束。義援金からの350万ルピー（現在の日本円で約340万円）を基金に、その利子収入で継続的に支援しており、これまでに6人が無事卒業を果たしました。今年は継続も含め、30人の奨学生を支援していく予定です。



医療キャンプで歯科検診

この奨学事業以外にも、ネパール米山学友会ではメンバーそれぞれの専門分野を生かし、被災した村への医療キャンプや農業指導者訓練の実施、野菜の集荷センターや公衆トイレの建設など、日本から寄せられた善意の義援金をもとに、さまざまな支援活動を行っています。

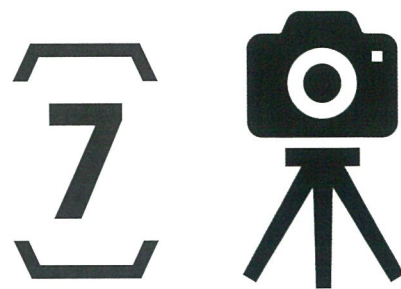
「日本からの支援に心から感謝しています。いただいた寄付は、適切に必要な人たちのために使わなくてはならないと考え、私たち学友会はそのために頑張っています」と語るビジャヤさん。会員が少なく、活動に割ける時間が限られていることから年次総会もなかなか開催できませんが、ネパールの学友たちは、学友会設立の目的を達成するため、これまでも、これからも社会貢献に努めていきます。

ロータリー米山記念奨学会事務局

米山記念奨学事業、“よねやまだより”についてのご意見・お問い合わせは、（公財）米山記念奨学会まで。
Tel. 03-3434-8681 Fax. 03-3578-8281
Eメール：mail@rotary-yoneyama.or.jp

写真でつづる 日本のロータリー

100年



★ 山形県あつみの温海RC（2007年5月脱会）は1971年、認証状伝達式の記念事業として、地元の小学校に音の出る黒板を寄贈。五線譜に音符を書き入れ、指やタクトで触ると音が流れ、音符と音を同時に学べる装置だそうです。さて、黒板に書かれた曲は何でしょう？ 答えは写真右下へ。（写真：『友』1971年5月号より）

- 1968 ● 東ヶ崎潔氏が日本初の国際ロータリー(RI)会長に就任
- 1969 ●
- 1970 ● 規定審議会をRIの立法機関に決定
- 1971 ● ロータリー青少年指導者養成プログラム—★(RYLA)を公式採用
- 1972 ● 両面とも表紙の『ロータリーの友』になる
- 1973 ●
- 1974 ● 青少年交換プログラムの開始
- 1975 ● 第366地区(大阪・和歌山)がRYLAを日本で初開催
- 1976 ●



答え＝春の小川

NEW GENERATION

—— ニュージェネレーション

縁あってロータリーに触れた若者たち。彼らはいま、何を思い、どんなことに挑戦しているのでしょうか。

グローバルに、ローカルに

インターアクター 古田 ^{かなめ} 要

私は昨年、福岡市で開催された「第7回全国インターアクト研究会」に参加し、全国のインターアクターとディスカッションする機会を得ました。そこで最も印象に残ったことは、他地区のインターアクターが子ども食堂を運営したり、小学生と一緒に農業体験をしたりしながら積極的に地域と緊密な連携を取っていることでした。私のクラブでは、年に一度12月に地元府中市にある大國魂神社の清掃ボランティアを行っています。他地区の取り組みを知ることで、私たちが行う地域連携はもっと活性化させることができるのではないか、と考えるようになりました。

私には知的障害のある姉がいます。姉を通じて多くの障害者と出会う機会を得ました。私がインターアクターになろうと思ったのも、こうした経験があったからで、

将来は地元で障害者のために活動しようと考えています。

グローバルに広がるインターアクトの輪の中で活動することで、自分にもできることはたくさんあると気付かされます。そこから、自分たちができるローカルでの活動や地域連携の可能性を知り、さらなる活動へつなげることは、自分自身と向き合う契機にもなると思いました。

東京都小平市在住。明星高校2年。明星学苑IAC所属。中学生の頃から同クラブで活躍。趣味はボランティア活動、寺社仏閣巡り。学内では地理歴史部員としても活躍している。



成長を感じた留学

ローテックス 玉川 音葉

私は自信を持って英語を話せるようになりたいと思い、1年間アメリカに留学しました。

高校で英語科に進学した私は、英語を学ぶ環境が整っているのに、自信がなく積極的にコミュニケーションを取ることを拒んでいました。そんな時に見つけた青少年交換学生募集の案内。迷わず応募しました。順調に留学への準備が進み、出国の日まで本当にあっという間でした。

しかし、アメリカでの生活では自分の言いたいことがうまく伝えられないことが多くありました。何げない普



段の会話の中でも、英語でどう言えばいいのか分からず、悔しい思いをしました。そこで、動画サイトでネイティブの発音や日常英会話をたくさん見て、次の日に勇気を出して覚えた言い方や発音を意識して、会話に少しずつ入っていききました。さらに友達やホストファミリーの話を注意深く聞き、言い方を学ぶなど、努力しました。他にも現地では文化の違いに戸惑ったり、日本語が恋しくなった時もありました。しかし帰国して思うことは、たくさんのことを乗り越えた分、成長したと感じられることです。そして、最後まで留学をやり遂げたことは、これからの私の強みになると思います。

今、自分の英語に少し自信を持つことができ、学校の授業がとても楽しく感じています。この貴重な留学経験をこれからの学校生活に生かし、もっとたくさんのことを学んでいきたいです。

青森県八戸市出身。八戸聖ウルスラ学院高校3年。2018-19年度、第2830地区青少年交換学生としてアメリカ・ニューハンプシャー州へ留学。趣味は愛犬と遊ぶこと、パン屋巡り。

●皆さんの周りの若い人をご紹介ください！ ロータリーのプログラムに参加したことのある10～30代までの若者（現役、学友どちらも可）を『友』編集部にご推薦ください。記入用紙は『友』ウェブサイト www.rotary-no-tomo.jp からダウンロードできます。

パズルを解いて、ロータリーを学ぼう！

パズル de ロータリー

今月はシークワーズ。パズルは一般的な問題で、ご家族の方も楽しめます。キーワードを埋めていき、最後に残る言葉はロータリーと少し関係があります。どんな関係かな。ロータリーのこと、ちょっとずつ学ぼう。

パズル制作／ニコリ

問題

リストにある、Rで始まる言葉を盤面から探しましょう。言葉を全て探すと、何文字かが使われずに残ります。その文字を上から下に順に読んでできる言葉は？

ルール

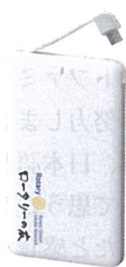
どの言葉もタテ・ヨコ・ナナメ8方向のいずれか一直線に読めます。途中で曲がったり、飛ばして読むではダメです。同じ文字を複数の言葉が使うこともあります。

Rで始まる英単語のシークワーズ

RADIO	RESTAURANT
RAIL	RIB
RAW	RICH
RAZOR	RING
READ	ROAD
RED	ROCKET
REFORM	ROOM
RELAX	ROOTS
RENTAL	RUGBY
REPLAY	RULE
REPLY	RUN
RESCUE	RUSH
RESPONSE	

Y A L P E R O Z A R
X D E R I N G R A E
A R R U G B Y D E S
L A T N E R I D S T
E I B I R O A Y N A
R L L S T O O R O U
R E F O R M C A P R
R I C H S U R K S A
D A E R E P L Y E N
W A R E S C U E R T

答



毎月10人に
『ロータリーの友』
名前入り
「モバイルバッテリー」
をプレゼント!!



◆パズル de ロータリー応募方法◆ 郵送での応募は郵便はがきに、①「4月号の答え」②名前 ③所属クラブ ④今月号で印象に残った記事をお書き添えの上、〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 4 階（一社）ロータリーの友事務所 P 係までお送りください。④に関する回答は、応募も大歓迎です。

WEB応募は下記のURL、または右の2次元コードから。
rotary-no-tomo.jp/puzzle.php



◆締め切り◆ 2020年5月11日（月）必着

●パズル de ロータリー（1月号）の答えと当選者は、横組み P45 に掲載しています。

詰め碁



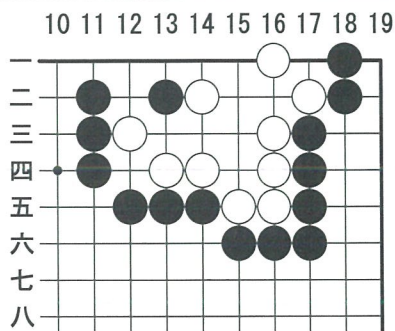
出題

日本棋院

問題

黒先・捨て石を活用した、うまい手があります。
（3分で二段）

●詰め碁の解答は、横組み P46 に掲載しています。
（※詰め碁にはプレゼントはありません）



FINISH

活動を強化するために

アメリカ・カンザス州リーウッドRC

THE ROTARIAN 4月号から

創立：1995年
創立会員：53人
現在会員：57人

クラブに活気をもたらす 新たな会員身分

ミズーリとカンザス両州にまたがるカンザスシティーの、南西に位置するリーウッドは、人口約3万5,000人。急成長を遂げる一方、近所の助け合い精神が生きている街だといわれています。この精神は、地元の公立の学校でメンターを15年にわたって務めてきたリーウッド・ロータリークラブ（RC）の会員にとっての原動力となってきました。3年前、同クラブは“小切手を切る”クラブからボランティア活動に重点を置くクラブへと方向転換。この戦略は会員たちに活気をもたらしました。

アマンダ・ヴィラリアルさんが金融サービス会社から解雇された時、彼女は落ち込むどころか、そこに機会を見いだしました。「地域社会に貢献したいと前から思っていたのに、これまでは時間がなかった」とヴィラリアルさんは言います。時間ができた今、あとはどこで活動するかを決めるだけ。「地元の団体をネット上で検索してみたら、最初にヒットしたのがロータリーでした」。リーウッドRCで当時会長を務めていたチャック・ウデルさんに連絡すると、例会に誘われました。

「皆さんとても親切でした」と当時を振り返ります。「私は会員層から外れていたのに。クラブの平均年齢は約60歳なのに対し、私はラテンアメリカ系の30代女性ですから」。バックグラウンドが異なるにもかかわらず、「心地よい雰囲気、一緒にいて楽しいんです」とヴィラリアルさん。奉仕会員は会費が割引かれているため、求職中であっても入会のハードルは高くありませんでした。

同クラブは奉仕会員の要件を詳細に定めています。通常の会員よりも義務を少なく設定。「例会でも、交流イベントや奉仕プロジェクトでもいいので少なくとも3カ月で2つのイベントに参加してもらいたいと考えています。また、少なくとも年20時間の奉仕活動をしてもらっています」と現会長、リック・ロビンソンさんは説明します。

代表的な取り組みはカンザスシティーにあるビショップワード高校の生徒を対象とした人材育成プログラムですが、これはヴィラリアルさんにとっても大事なプロジェクトです。「この学校の生徒の70%以上はラテンアメリカ系です。多くは移民1世や2世。うちのクラブは、こういった子どもたちが大学に進学できるように指導しています」

CLUB INNOVATION :

リーウッドRCは会費を抑えた奉仕会員とカップル会員を入会させる仕組みを導入しました。クラブでは年に1度、5キロマラソン大会を開催して地域に存在感をアピールするほか、植樹、公道の管理、商工会議所の会合への参加にも努めています。昨年は会員の85%が少なくとも1件の奉仕プロジェクトに参加しました。

「私もそういう子どもの一人だったので、心に訴えるものがありました」。彼女は5歳の時に家族でメキシコからアメリカに移住しました。「私にも子どもたちを導くことができるかもしれない。それに、私の視点でクラブも導くことができるんじゃないか、と思ったんです。どちらも経験していますから。そこに機会を見いだしました」

奉仕会員という新しい会員身分のおかげで入会を果たしたヴィラリアルさんは、その後、新会社を共同で立ち上げました。当初、クラブとしては、奉仕会員という制度を会員維持の策として捉えていた、とウデルさんは言います。「勧誘のためのツールというだけでなく、会員維持のためのツールでもあります」

奉仕会員の会費は四半期ごとに55ドル。カップル会員費という選択肢もあり、こちらは四半期ごとに30ドルです。現在、カップル会員となっているのは4人。彼らのパートナーである会員は、ロータリーにおける“メンター”の役を務め、四半期ごとに通常の会費である250ドルを納めます。

「会員たちはとても熱心です。彼らは社会に貢献したいと思えるほど、とても幸運で恵まれているのです。私も、やりたいことはできるんだ、と彼らからインスピレーションをもらっています。家族のように思っていますよ」とヴィラリアルさんは言います。

—BRAD WEBBER



上から：同クラブが主催する毎年恒例の5キロマラソン大会は街で大人気のイベント。アイアウンウッド公園で植樹を行う会員たち

クラブが新しく生まれ変わるためのアイデアを探している人は、my.rotary.org/ja/club-flexibility をご覧ください。また、あなたのクラブはどのような革新的な取り組みを図っていますか？
hensyu@rotary-no-tomo.jp までお知らせください。

『友』電子版

いつでもどこでも『ロータリーの友』

電子版 ロータリーの友

今お使いの
パソコン、スマホ、タブレットで
『ロータリーの友』がご覧いただけます。



POINT 1 いち早く『友』が読める

毎月1日午前0時に最新号が掲載されます。例会で配布される前に内容をいち早くチェックしよう！

POINT 2 雑誌がお手元になくても大丈夫

最新版だけでなくバックナンバー（2014年1月号～）も閲覧できます。過去の誌面を確認したい時にご活用ください。

POINT 3 外出先での空き時間を活用

スマートフォン（iPhone、Android）、タブレット（iPad、Android、Surfaceなど）で読めるので、雑誌を持ち歩かなくてもOK。

■ 電子版へのアクセス方法

①『友』のウェブサイトへアクセスします

<https://www.rotary-no-tomo.jp/digital/>
または、右の2次元コードを読み取ってアクセスします。

ロータリーの友



検索



②IDとパスワードを入力します

IDとパスワードはクラブ事務局にお知らせしています。



←スマホはこちらから

③電子版画面を開く

「閲覧する」のリンクをクリックすると別画面が開き、誌面を読むことができます。「発行年月」を選択するとバックナンバーがご覧いただけます。

国際ロータリー理事会の決定事項 2020年1月

2020年1月27～29日、アメリカ・イリノイ州エバンストンの国際ロータリー（R I）世界本部で、2019～20年度R I理事会の第3回会合が開かれました。この会合で理事会は9の委員会報告を確認し、39の決定を行いました。

プログラム、会合、表彰関連

理事会は、

- 2022年7月1日より開始されるローターアクトの年間人頭分担金（大学を基盤とするローターアクトは5ドル、地域社会を基盤とするローターアクトは8ドル）を設定しました。また、2022年7月1日より、新しいローターアクトクラブが支払う50ドルの認定料を廃止することに同意しました。
- 2019年10月のローターアクトの年齢制限に関する決定をさらに明確にし、ローターアクトからの意見とアンケート調査のデータに対応するため、クラブが会員とスポンサークラブ（該当する場合）から同意を得ていること（クラブ細則に伴い）を条件に、ローターアクトクラブは年齢の上限を定めることができる一方で、これを義務化しないことに同意しました。
- ロータリアン行動グループをロータリー行動グループに名称変更し、同グループのメンバーとしてノンロータリアンを認めることに同意しました。
- 地域社会とのロータリーのかかわりを深めるため、2023年メルボルン国際大会から、ノンロータリアン向けのイベントを実施するというコンセプトを承認しました。
- 2019～20年度ロータリー学友世

界奉仕賞ならびにロータリー最優秀学友会賞の受賞者を選出しました。受賞者は2020年ホノルル国際大会で表彰されます。

- 2019～20年度超私の奉仕賞の受賞者147人を承認しました。

運営・財務関連

理事会は、

- 公式名簿の発行を中止することに同意しました。
- クナーク会長エレクトによる2020～21年度ロータリー委員会への任命の提案を承認しました。これには、副会長としてアメリカのジョリータ・ソラリ氏、財務長としてインドのバラット・パンディア氏、執行委員会委員長としてアメリカのステファニー・アーチック氏が含まれます。
- 2020～21年度地区ガバナー配分予算930万ドルを承認しました。

クラブ・地区関連

理事会は、

- クラブを基盤としないグローバル会員の試験的プロジェクトの審査を継続して行いました。
- 2019年決議審議会によって採択された6つの決議案について審査しました。

-My Rotary より抜粋

ロータリーとゲイツ財団が ポリオ根絶資金の上乗せを延長

ロータリーとビル＆メリンダ・ゲイツ財団は、1月22日、ポリオ根絶に年間1億5,000万ドルを投入するための長期パートナーシップを継続すると発表しました。この提携の下、ロータリーは今後3年間、毎年5,000万ドルを拠出することを目標に掲げ、ゲイツ財団がロータリーの拠出金に対して2倍額を上乗せすることとなります。

アメリカ・カリフォルニア州サンディエゴで開催中の2020年ロータリー国際協議会で流されたビデオメッセー



© Rotary International

ジの中で、ビル・ゲイツ氏は、ロータリーとのパートナーシップを継続する必要があると述べました。

「ポリオ根絶活動において、ゲイツ財団とロータリーとの長年のパートナーシップは不可欠となってきました。このため、ロータリーの募金に対する2倍の上乗せを延長することとしました。共にポリオ根絶を実現できると信じています」

この資金は、疾病のサーベイランス（監視活動）、技術支援、予防接種活動の運営支援など、ポリオ根絶活動に充てられます。endpolio.org/ja からポリオ根絶の情報をご覧ください、ご支援をお寄せください。

今後のR I 国際大会

2020年6月6～10日
 アメリカ・ハワイ州ホノルル
 （以下予定）
 2021年6月12～16日
 台湾・台北

統計

全世界ロータリアン総数
 1,211,107人
 クラブ数 35,989 クラブ
 地区数 525 地区
 国と地域 200 以上
 ローターアクト会員数 170,905人
 クラブ数 10,305 クラブ
 国と地域 160 以上
 インターアクト会員数 329,245人
 クラブ数 14,315 クラブ
 国と地域 150 以上

2020年2月14日現在



国際大会へのカウントダウン 分科会

6月6～10日にホノルルで開催される国際大会では、結果を出すリーダーになる方法、会員増強や会員の参加促進の方法、クラブの活動をソーシャルメディアで宣伝する方法、補助金申請書を作成する方法など、さまざまなトピックについて分科会が行われます。

ロータリーにおける取り組みの全体図に関心がある人は、「未来のためのロータリー行動計画」や、「ロータリーの多様性、公平さ、開放性:その現状」がおすすめです。

クラブの活性化を考えているなら、「子ども連れで活動しよう:小さな子どものいる世代の勧誘と会員維持」や「アロハ精神はどのクラブにも、どの国にも」などはいかがでしょう。

クラブ推進の実践的なスキルを磨きたいなら、「照らそう、スマホ、アクション! : いつでもどこでもロータリーのストーリーを発信」や「ニュースで取り上げてもらおう」などがあります。

クラブプロジェクトのアイデアを探している方は、「河川共同管理行動計画:ロータリーと国連環境計画の提携モデル」や「アルツハイマーを治すためにロータリアンとしてできることは」などはいかがでしょうか。

一番大変なのは、参加したい分科会全部に出席するスケジュールを組むことかもしれません。 -HANK SARTIN



**HONOLULU
HAWAII 2020**

2020年ハワイ国際大会の
参加登録はこちら riconvention.org



ロータリー財団管理委員長からのメッセージ
2019-20年度ロータリー財団管理委員長

ゲイリー C.K. ホアン

ニーハオ、ロータリアンの皆さま。

人類にとっておそらく最も意義のある活動は、社会貢献でしょう。ロータリーにはロータリー財団への寄付など、社会貢献の機会が無数にあります。どのロータリアンもクラブも、それぞれに合ったレベルで財団に寄付することができます。

年100ドル以上を年次基金に寄付すると、「財団の友」会員の資格が得られます。その10倍の額の年に1,000ドル以上を年次基金、ポリオプラス基金、または承認されたグローバル補助金に寄付すると、ポール・ハリス・フェローとして認証されます。1957年以降、100万人を超える会員がポール・ハリス・フェローとなりました。また、毎年1,000ドル以上を寄付するロータリアンは、ポール・ハリス・ソサエティのメンバーとなります。アメリカ・バージニア州リッチモンドのジェームズズリバーRCは、会員全員がポール・ハリス・ソサエティのメンバーという「100% ポール・ハリス・ソサエティ・クラブ」を達成しました。皆さんのクラブも達成は可能です。

これをまた10倍した額の1万ドル以上を、財団に遺贈額として誓約すると遺贈友の会の会員になります。メジャードナーは財団への累積寄付の合計額が1万ドル以上の方です。ロータリー100周年記念の年度に、台湾で目標の100人を上回る106人がメジャードナーになったことを今でも誇りに思っています。翌年メジャードナーになった103人と合わせて200万ドルを超える寄付を年次基金に寄せてくれました。こういった寄付には、地域社会全体を変える力があります。

累積寄付額が25万ドル以上に達する、ロータリーで最高レベルの寄付者は、アーチ・クランフ・ソサエティのメンバーに認証されます。この先何千とまでいかになくても、何百世代の人生をより良くしていくのです。今月は、アーチ・クランフ・ソサエティ内でレベルアップしたことを今年度の国際協議会で表彰された11人の会員と夫妻をたたえたいと思います。日本、ナイジェリア、台湾、アメリカから集まった会員たちに栄誉と称賛が贈られました。

皆さんのクラブには何ができるか、皆さんはどんな貢献ができるか、どんなレガシーを残したいかを考えて、ご自分に合った寄付のレベルを見つけてみましょう。何を寄付するにしても、クラブがどんな目標を設定するにしても、今日私たちが行う寄付が、今年、来年、そしてその先も、私たちにはずかり知らない形でロータリーと地域社会を支え続けるのです。

*日本からは丸尾研一さん(第2680地区 神戸西神RC)が表彰されました。

Gary C.K. Huang
財団管理委員長

ROTARY お知らせ

新ローターアクトクラブ

秋田 (2540・秋田県)

提唱クラブ 秋田

結成：2019年7月16日

新大阪 (2660・大阪府)

提唱クラブ 新大阪

結成：2019年12月4日

尼崎西 (2680・兵庫県)

提唱クラブ 尼崎西

結成：2019年12月7日

八尾 (2660・大阪府)

提唱クラブ 八尾

結成：2020年2月5日

2020 - 21 年度版 ロータリー手帳 ご予約受付中!



月間、週間、年間の予定表を設け、各地区のガバナー名、ガバナー事務所の住所・電話・Fax 番号・E メールアドレス、地区大会予定や、ロータリー関連事項を掲載しています。付録の「ロータリー関連資料」には、ロータリーの基礎的な情報やロータリー用語など、ロータリー活動に役立つ情報をまとめました。手帳の色はロイヤルブルー、サイズは縦 17.4 cm、横 8.5 cm で、印刷用紙は F S C 森林認証紙、インクも植物油と、環境に配慮したものを使用。詳細は 2 月 1 日付でロータリークラブにお送りしたご案内状を、ご覧ください。

在庫ある限りとなります。友ウェブサイト、メール、FAX で承っております。定価 600 円 + 消費税 (送料別)

地区別クラブ数・会員数一覧表

(2020 年 1 月末現在)

地区	R C 数	会員数	19 年 1 月末 会員数
第 2500 地区	67	2,293	2,303
第 2510 地区	70	2,641	2,636
第 2520 地区	78	2,260	2,272
第 2530 地区	65	2,346	2,378
第 2540 地区	42	1,159	1,143
第 2550 地区	49	1,771	1,778
第 2560 地区	56	2,136	2,125
第 2800 地区	49	1,596	1,607
第 2830 地区	41	1,178	1,201
第 2570 地区	50	1,619	1,635
第 2580 地区	70	3,010	3,073
第 2590 地区	55	2,018	2,063
第 2600 地区	54	1,993	1,979
第 2610 地区	64	2,655	2,688
第 2620 地区	79	2,987	3,036
第 2750 地区	98	4,813	4,800
第 2760 地区	85	4,927	4,924
第 2770 地区	74	2,537	2,609
第 2780 地区	68	2,384	2,427
第 2790 地区	82	2,829	2,880
第 2820 地区	56	2,009	1,965
第 2840 地区	45	2,131	2,131
第 2630 地区	75	3,257	3,220
第 2640 地区	68	1,849	1,862
第 2650 地区	96	4,639	4,647
第 2660 地区	80	3,673	3,658
第 2670 地区	74	3,062	3,088
第 2680 地区	71	2,771	2,775
第 2690 地区	66	3,103	3,090
第 2700 地区	61	3,253	3,245
第 2710 地区	73	3,331	3,346
第 2720 地区	75	2,468	2,502
第 2730 地区	67	2,442	2,418
第 2740 地区	56	2,226	2,246
34 地区合計	2,259	89,366	89,750

日本のロータリー

会員概数 89,097 人

クラブ数 2,250

(左の表中 34 地区合計から、第 2750 地区の P B グループを引いた数です)

ガバナー月信より 2750 クラブ数・会員数は、P B グループ 9 R C 269 人 (北マリアナ諸島・グアム・ミクロネシア・パラオ) を含みます。P 6「日本のロータリー」数は 34 地区合計から P B グループを引いた数。19 年 1 月末 P B グループ 9 R C 会員数 264 人。

地区会員数修正 本誌 3 月号横組み P45 (12 月分月末) 表中、2800・1,592 人、2840・2,115 人、34 地区合計会員数：89,074 人、表外と P 6「日本のロータリー」最終行会員数 88,805 人。

ご案内 左記一覧表は、3 つのゾーン順で色分けしてあります。表中の左端の色と、横組み P 44 奥付の日本ロータリー分布図の色を対照し、ご覧ください。

*友ウェブサイトの「ロータリー資料館」にデータ修正後の表を掲載しています。

ロータリーの友
Home Page
www.rotary-no-tomo.jp

ロータリーの友

5 月号主要記事予定

横組み 青少年奉仕月間

特集 ローターアクトアに聞きました

縦組み 子どもの自立と地域課題を解決できる対話力

元北海道教育委員 鶴羽佳子

この人訪ねて 畑中教一さん (所沢中央 R C)

Rotary
INTERNATIONAL

ご投稿・お問い合わせは

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 4 階

一般社団法人ロータリーの友事務所 Tel. 03-3436-6651 Fax. 03-3436-5956

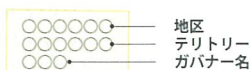
編集部メール hensyu@rotary-no-tomo.jp 管理部メール keiri@rotary-no-tomo.jp

ロータリーの友ウェブサイト www.rotary-no-tomo.jp

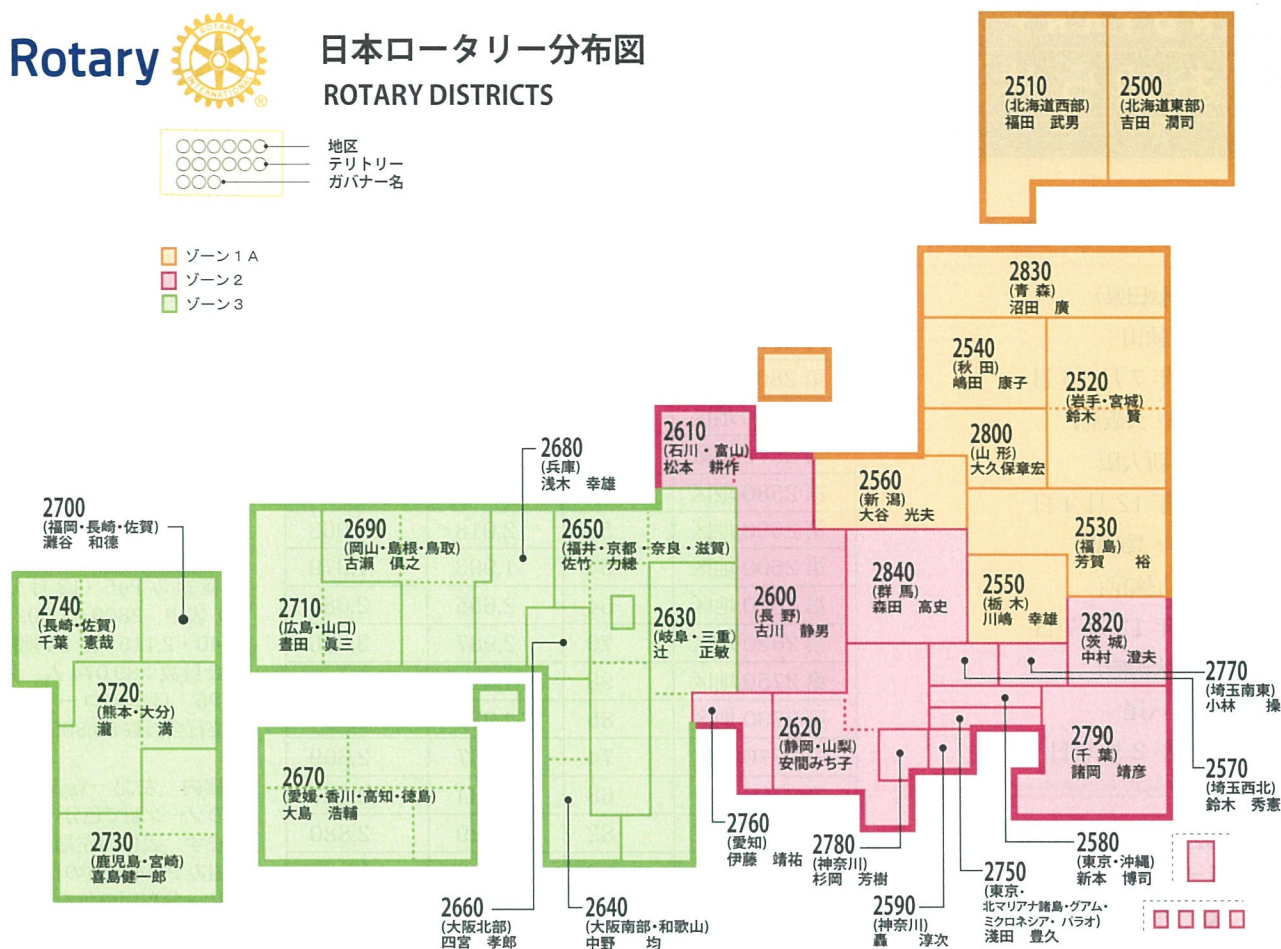
Rotary



日本ロータリー分布図 ROTARY DISTRICTS



■ ゾーン1 A
 ■ ゾーン2
 ■ ゾーン3



ロータリーの友ウェブサイト www.rotary-no-tomo.jp に各地区のホームページをリンクしています。

月刊 ロータリーの友

第68巻 4月号

2020年3月31日印刷 2020年4月1日発行

一般社団法人

ロータリーの友事務所

社員	三木 明	(姫路)
	辰野 克彦	(東京西)
	新本 博司	(那覇)
	浅田 豊久	(東京六本木)
	轟 淳次	(川崎マリン)
	四宮 孝郎	(大阪西南)

理事会

代表理事	片山 主水	(名古屋東南)
理事	鈴木 宏	(宇都宮北)
	上野 孝	(横浜)
	安平 和彦	(姫路)
	片岡 信彦	(土浦南)
	橋本 長平	(京都東)
	清水 良夫	(横浜)
	田中 堯史	(盛岡)
	村井總一郎	(豊橋)
	桎畑 直尚	(和歌山)
	野生司義光	(東京小石川)
	福原 有一	(東京銀座)
	横山 武志	(東京北)
	恵川 一成	(大宮シティ)
	羽田 伊助	(東京目黒)
	野中 茂	(川崎)
	津村 政男	(東京臨海東)
	渡辺 誠二	(東京みなと)
	野崎 恭子	
監事	宮嶋 康明	(新千葉)
	高野伊久男	(横浜西)

職員

所長	渡辺 誠二	(東京みなと)
編集長	野崎 恭子	
編集	稲川 やよい	
	黒野 積二	
	山名 愛	
	飯田亜由香	
	熊谷健太郎	
管理	富澤 美子	
	半田 弥生	
振込銀行	三井住友銀行浜松町支店	
	口座番号 (普通) 7450015	
郵便振替	口座番号 00180-8-694591	
印刷	大日本印刷 (株)	
表紙印刷	半七写真印刷工業 (株)	

一般社団法人ロータリーの友事務所

〒105-0011
 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 4 階
 電話 03-3436-6651
 FAX 03-3436-5956
 編集部メール hensyu@rotary-no-tomo.jp
 管理部メール keiri@rotary-no-tomo.jp
 ウェブサイト www.rotary-no-tomo.jp
 定価 200 円+消費税 (送料別)

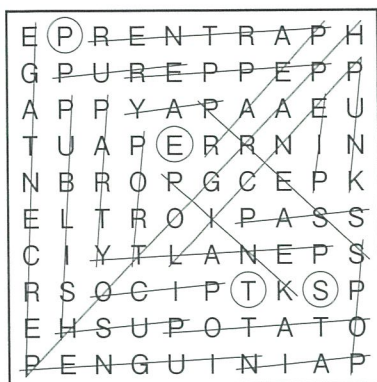
落丁本・乱丁本は一般社団法人ロータリーの友事務所までお知らせください。本文・写真などの無断転載・複製を禁じます。

「パズル de ロータリー」(1月号)の答え

1月号の答え「PETS」



答えは「PETS」です。会長エレクト研修セミナー(Presidents-Elect Training Seminar)の頭文字です。毎年国際協議会、地区チーム研修セミナーの後の2～3月頃に、地区内の次年度のクラブ会長全員が、次年度のガバナーやガバナー補佐と一緒にクラブ会長の役割と責務を学び、



会長テーマ、年次計画などについて研修を受けます。こうして役職への意欲を高め、次年度の準備を整えていきます。

また、PETSに先立って会長エレクトが受講する、My ROTARYのウェブサイト「ラーニングセンター」の研修コースでは、「クラブ会長の基本」コース以外にも各種教材をスライド形式で利用することができます。興味のある分野を受講してみるのもいいでしょう。

learn.rotary.org/members/learn/catalog

応募総数 246人 正解者 227人

当選者(敬称略・順不同)／花房薫(呉南RC)、間瀬清(三木みどりRC)、平川勝洋(広島東南RC)、田中裕司(大阪天王寺RC)、高橋功一(南陽臨雲RC)、柴田芳江(旭川空港RC)、松島知幸(半田南RC)、中山紳一(川崎RC)、平田憲(福岡中央RC)、北村公史郎(びわ湖八幡RC)

内外よろず案内

IYFR東京フリートが会員を募集

IYFR東京フリート設立準備委員会

イングランドで設立された、国際ロータリー公認のヨットの親睦活動グループ・IYFR(International Yachting Fellowship of Rotarians)。今回、この同好会に国内で7つ目となるフリート(船の集まり)が東京湾で新たに誕生します。

海・川・湖を愛するロータリアンの皆さま、セーリングやクルージングを楽しみながら、クラブを超えてたくさんの友人をつくりませんか？

5月に歓迎クルージングをお楽しみいただき、認証状伝達式ならびに祝賀会を開催します。奮ってのご参加をお待ちしています。

■会員募集要項

資格	船の所有にかかわらず海を愛する会員
会費	入会金：2万円(バッジ、船用バナー、レガリアなど含む) 年会費：1万円(国際登録費を含む)

■開催概要 認証状伝達式&祝賀会

日時	2020年5月24日(日)
会場	東京夢の島マリーナ
内容	10時～ 歓迎クルージング／ 16時～ 認証状伝達式／18時～ 祝賀会
参加費	1万5,000円

◇お問い合わせ先

IYFR東京フリート設立準備委員会事務局
梅澤 武男(東京サンライズ汐留RC)
E-mail: rotary@omezawa-sekkei.co.jp

編集部のあとがき

2月は有明海に面する佐賀市で開催された「全国RYLA研究会」にお邪魔しました。そこでハッとさせられることが二つありました。

一つ目は、『友』1月号「NEW GENERATION」コーナーで紹介した元インターアクター高垣愛里子さんに、現地で会えたこと。誌面を担当していたので、見覚えのある顔だと思い、すかさず声を掛けました。『友』のことを地方誌(佐賀版)だと思っていたらしく、全国に配本されて恥ずかしい、との感想。仲間と一緒に、各会場への案内を頑張っている姿を見ることができて、うれしい思いでした。

二つ目は2018年9月号の「青少年・学友交流フェスタ」の

記事を担当した時に連絡を取った岡田雅隆さん(第2760地区・犬山RC)と出会えたこと。実はお目にかかっていた間中気付かず、帰ってお礼メールを打つ際、以前やり取りしたことがあると判明(メールの多い編集部ではたまにあります)。最初は、当時地区青少年奉仕委員長だった岡田さんに原稿を書いていただいていたのですが、結局別の方の原稿を掲載しました。失礼なことをしたものです。そんなことも忘れて佐賀では岡田さんに夕食に誘っていただき、楽しいひとときを過ごしました。ちなみに一番おいしかったのは「カレーうどん」です。

(編集部 熊谷)

◆ P38 詰め碁の答え ◆

黒先白死（1 3 の三）

この問題に関するお問い合わせは、下記（公財）日本棋院認定係までお問い合わせください。

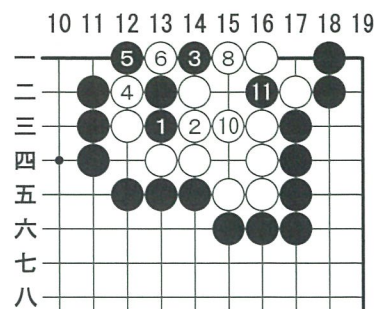
TEL：03-3288-8723

FAX：03-3261-5841

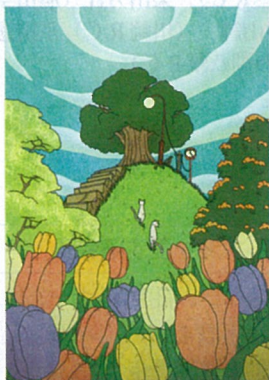
◆ 解説 ◆

黒1とノビて白2に黒3がうまい。白4に黒5は、白6で黒二子を抜かれますが、黒は7（4の右）に取り返し、白8に黒9（6）とツギ、以下黒11まで眼を奪えば白死です。黒3を4は白3で失敗。また、白2で4も黒5、白2、黒3の筋で白死です。

黒7取り返し 黒9ツギ



表紙について



■横組みの表紙

「足音」

イラストレーター 佐久間真人

作者コメント

ふと自分の足音に耳を澄まして立ち止まる。

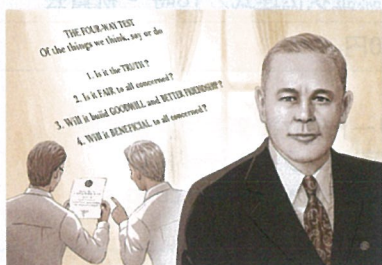
進む先も、歩んできた道も丘の上から見渡してみよう。

一休みして花の香りをかきながらミルクでも。

■縦組みの表紙

「ハーバート・テラー」

イラストレーター 後藤 文彦



1954 - 55 年度国際ロータリー（R I）会長、「四つのテスト（THE FOUR-WAY TEST）」の創案者。意志の強い、大変なビジネスエグゼクティブでした。

ミシガン州ピックフォードに生まれ、ノースウエスタン大学に進学しますが、学費を稼ぐため新聞社のスポーツ記者、電信技師として働きながらの学生生活を送ります。同時に、陸上部にも所属する

スポーツマンで、立派に選手も務めていました。

社会に出た彼は、幾つかの会社で成功を収めて、1927 年、シカゴ R C に入会。その 2 年後、29 年にあの世界恐慌が発生し、ロータリーも 27 クラブ、会員約 2,000 人を失っています。

そんな中、その敏腕を見込まれ 32 年、倒産寸前の会社再建を任された時、社のモラル向上の方法として倫理訓を練り上げ「言行はこれに照らしてから」の「四つのテスト」を創案しました。自問形式でした。

以来、創案は改変され、現在の「四つのテスト」すなわち「真実か どうか／みんなに公平か／好

意と友情を深めるか／みんなのためになるか どうか」となります。そして 42 年、彼は「四つのテスト」を使用する権利を R I に付与。43 年、R I 理事会は職業奉仕にふさわしい職業倫理訓として、正式にこれを採択しました。

ロータリー創立 50 周年に当たる 1954 年、R I 会長に就任した時には、「四つのテスト」の著作権も R I に譲渡しています。



Herbert Taylor (1893 - 1978)



ご投稿をお待ちしています！『ロータリーの友』投稿規定

私の一冊 ★

会員おすすめの本(入手可能な市販書籍)を紹介。書籍名、作者名、出版社、発行年と推薦文(320字以内)。

声 ★★

『友』誌についての感想・意見を200字以内で紹介。対象記事名を明記。発行月翌月の10日締め切り。

友愛の広場 ★★

エッセーや、海外ロータリークラブ訪問記、時局雑感など。1,000字以内。関連写真があれば添付。

私の宝物 ★★

ペット、思い出の品、コレクション、家族などの宝物を紹介。50～100字以内の説明文と、宝物の写真。

ロータリー俳壇・歌壇・柳壇

1カ月に1人はがき1枚に3句(首)まで。作品の横にクラブ名・お名前・電話番号を記入。選者の方のご都合もあり、メール投稿はお受けできません。

ロータリー・アット・ワーク写真編 ★★

ロータリークラブ、地区、インターアクト・ロータリーアクトクラブなどの奉仕活動を写真で紹介。写真(集合・記念写真不可)と150字程度の説明文。必ず活動日を入れ、活動後1カ月以内にご投稿ください。

ロータリー・アット・ワーク文章編 ★★

内容は写真編と同じ。600字以内の原稿と関連写真を。

内外よろず案内

会員間の趣味の交換、催し物の案内など。200字以内。

パズル de ロータリー ★★

3種類のパズル(クロスワード、数独、シークワーズ)を毎月順番に掲載。プレゼント応募の締め切りは発行月翌月の10日。

★★友ウェブサイトから記入用紙をダウンロード可

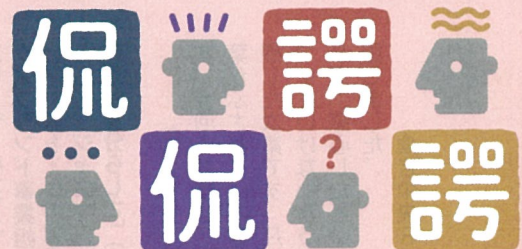
★★友ウェブサイトの投稿フォームから投稿可

侃侃諤諤しませんか！原稿募集

あなたのクラブの
例会自慢は何ですか？

締切：4月10日

かん かん がく がく • kan kan gaku gaku



あるテーマを基にご意見を交換するコーナーです(掲載は不定期)。「他クラブはどうしているんだろう」「これって、ロータリーの常識なの？」といった素朴な疑問を、いま一度「侃侃諤諤(遠慮することなく議論)」しませんか？

テーマ	「あなたのクラブの例会自慢は何ですか？」。食事がおいしい、伝統と格式あるホテルが会場、卓話者の人選が素晴らしい、アットホームな雰囲気が魅力で、そのために△×な工夫をしている、などなど。皆さんのクラブの例会には、会員たちを出席したいと思わせる、どのような自慢(工夫)がありますか？また、「(実際には行っていないけど)例会のここが変われば(自慢できるようになれば)もっと良くなるのに……」といったご提案についても、お聞かせください。ご投稿をお待ちしています。
原稿	600字以内
投稿者情報	クラブ名、お名前、日中連絡可能なご連絡先(メール、電話番号)をお書き添えください。
締切	4月10日(締め切り迫る！／6月号以降掲載予定)

送り先

一般社団法人ロータリーの友事務所

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 4 階

Tel. 03-3436-6651 Fax. 03-3436-5956

Eメール hensyu@rotary-no-tomo.jp

投稿方法、その他規定は友ウェブサイトで！

ロータリーの友
Home Page
www.rotary-no-tomo.jp



声

1月号の感想

『友』を読んで、「この原稿を書いた人にエールを送りたい！」
「感動した」「知らなかった」などの感想、『友』そのものに関
するご意見などを紹介します。

【対象記事】

特集・温故知新 私の職業奉仕考。
甲府北RC・小林聰二郎氏の「100
年をかけて育んできた『日本の職業
奉仕』」(横P 11~16)

【感想】12ページの『This Rotarian Age』
の写真を見て、原文と米山梅吉訳の
『ロータリーの理想と友愛』の両方
を読みました。日本にロータリーが
できて今年で100周年を迎えます
が、まさに印象に残る記事でした。

花巻RC 谷村 繁

【対象記事】

特集・温故知新 私の職業奉仕考。
甲府北RC・小林聰二郎氏の「100
年をかけて育んできた『日本の職業
奉仕』」(横P 11~16)

【感想】職業奉仕については、最近
の国際ロータリーの考えとの乖離が
気になるころでしたが、この文章
で意を強くしました。しかし、まだ
これでも足りない。日本の職業奉仕
をガラパゴス化した職業奉仕にしな
いために、みんなで考えていかな
くはない。

水戸RC 石井 隆志

【対象記事】

追悼 緒方貞子さんとの思い出。前
橋RC・吉永國光氏の「現場主義を
貫き 世界で救いを待つ人のために
生きた人」(横P 22~23)

【感想】「命さえあれば、生きてさ
えいれば、今どんなに苦しんでいる人
でもチャンスが与えられる。大事な
ものは命」という、厳しい現場を見
続けた結論として語られた言葉が胸
に残りました。

石岡RC 櫻井 茂

【対象記事】

追悼 緒方貞子さんとの思い出。前
橋RC・吉永國光氏の「現場主義を
貫き 世界で救いを待つ人のために
生きた人」(横P 22~23)

【感想】今年度、クラブ会長を務め
ており、昨年は例会の会長あいさつ
で緒方氏の訃報に触れました。今回
の寄稿で、改めて緒方氏の生き方に
感銘を受けました。緒方氏や執筆者
の吉永氏など多くの方が国際貢献に
汗を流していることを忘れてはいけ
ません。

伊東西RC 石井 幸弘

【対象記事】

侃侃諤諤② 例会の席は固定派？そ
れともシャッフル派？(横P 24~27)

【感想】例会はロータリーの基本中
の基本。例会をいかに楽しくするか、
参考になりました。

旭RC 大門忠兵衛

【対象記事】

侃侃諤諤② 例会の席は固定派？そ
れともシャッフル派？(横P 24~27)

【感想】例会だけでなく、さまざま
な場面で参考になる意見でした。

中頓別RC 池田 幸則

【対象記事】

スピーチ◇バナソニック(株)テクニ
クスブランド事業担当参与・ジャズ
ピアニスト・小川理子氏の「会社員
として、ジャズプレイヤーとして、
両立が自分らしさ」(縦P 4~8)

【感想】毎月楽しみにしている欄で
す。今回のお話は、究めるという言
葉がふさわしい内容で、すぐみすら
感じた次第です。凡人の私には到底
ついていけないような活動、活躍ぶ
りで、感心したというより大いに感
服しました。

倉吉中央RC 佐々木敬宗

【対象記事】

この人訪ねて。東京山王RC・与儀
みどりさん(縦P 9~12)

【感想】努力とさまざまな感動秘話、
そして創立会員に……。今後もち
うした女性の紹介をお願いします。

柴田RC 加茂 勝一

【対象記事】

卓話の泉◇正木一博氏の「キャッ
シュレス化」(縦P 19)

【感想】通貨は別の何かに換えられ
るものです。それが「キャッシュ
レス」の状態は、摩訶不思議な感じ
がします。松本東RC 小林 正樹

【対象記事】

ロータリーアットワーク(写真編)◇
中条胎内RCの「地元45の『仕事』
が集合！ 中学生が職業に触れる」
(縦P 22)

【感想】大変素晴らしい活動だと思
います。「一つでも多くの『ありが
とうの交換』をつくり出す」という
目標もまた素晴らしい。

板柳RC 太田 昇

●本文200字以内。本文とは別に、対象記事名(例：1月号「友愛の広場」○○さんの記事)と
お名前、クラブ名、連絡先を付記しお送りください。詳細は投稿規定または『友』ウェブサイトで！

寄付金を届けました。当日は清田浩義会長と千葉市バスケットボール協会ミニバスケットボール専門部の羽生康治部長から鈴木達也副市長に寄付を手渡し、副市長からは「皆さんの気持ちがかもった募金を有効に活用したい」との声をいただきました。この様子は地元紙でも紹介され、ロータリーの広報にもつながりました。

人のために何か良いことをしようというロータリーの奉仕の精神が子どもたちに伝わり、今回の寄付に結び付いたのではないのでしょうか。ロータリアンとして喜ばしい限りです。

ロータリーデー YAO2019

八尾ロータリークラブ
第2660地区・大阪府

12月7日、八尾市の本町二丁目公園において、クラブ単独では初となるロータリーデーを開催。趣旨は、年末年始の公園を明るくイルミネーションで照らすことで地域の防犯に寄与するとともに、街のビューイングスポットとして地域住民がふと足を止めて和める環境を提供することです。

点灯式には大松桂右市長を招き、「八尾市の新しい名所」との言葉をいただ



イルミネーションの輝く公園で

きました。また、東大阪ロータリーアクトクラブ(RAC)の若者たちとの協同事業とすることで、点灯式も若々しく彩りあるものとなりました。多くの通行人が足を止め、信号待ちの車から見る人もいました。

笠井実会長は「ロータリーの活動、とりわけポリオ根絶まであと少しであることを、多くの方の理解と協力をいただきたい」と訴え、ポリオ根絶のポスターを掲げました。東大阪RACの松本梨沙会長は、ロータリーアクトクラブの魅力、活動をアピールし、当クラブが提唱し、新たに設立する八尾RACについても紹介しました。

今年度の国際ロータリーのテーマ「ロータリーは世界をつなぐ」に沿って、地域とロータリークラブ、ローター

アクトクラブをつなぐ事業になったのではないかと自負しています。

(川田隆・記)

ショッピングモールで ポリオ根絶募金活動

2730ジャパンカレントロータリーEクラブ
第2730地区

私たちのクラブには鹿児島県と宮崎県在住の会員が在籍していることから、鹿児島市と宮崎市の各商業施設、山形屋(鹿児島)とイオンモール宮崎で、毎年、ポリオ根絶のための街頭募金活動を行っています。1月26日にはイオンモール宮崎の周辺でポリオ根絶のための募金活動を行いました。

募金の際、子どもたちには風船をプレゼントしていますが、今回は風船に「END POLIO NOW」のロゴとクラブ名を入れ、ポリオ根絶に向けたクラブ独自の取り組みをチラシにして配布。大きな商業施設ということもあって多くの人の協力があり、約4時間の活動で計1万9260円の募金が集まりました。活動中と終了後も、子どもたちが「END POLIO NOW」の風船を持って歩く姿がとても印象に残りました。

当クラブは創立6年の新しいクラブ



風船を配りつつ、募金活動

Annotation

地区補助金 (District Grants)

ロータリー財団の使命に一致し、地元や海外の地域社会のニーズに取り組むために、地区に一括で支払われる補助金です。比較的短期で小規模なプロジェクトに使用され、その全額は地区財団活動資金(DDF)の配分によって賄われます。

です。通常、インターネットで例会を行っており、居住地域も広範囲にわたるため、一つの事業を行うにしても多くの支障が伴いますが、この取り組みは奉仕プロジェクト委員会と公共イメージ委員会を中心に他の委員会も協力しており、クラブの核となるプロジェクトに成長してきていると実感しました。

動を展開。会長が講師となって環境に関する出張授業を行い、ボランティアで参加した大工の棟梁が道具の使い方や板の張り方などを児童たちに教えました。その後、6年生と教師、会員が協同で各教室や保健室、理科室など22の部屋にスギの板を張り付けました。

スギやヒノキなどの香りには人のイライラを抑え、血圧低下や殺菌といった効果があるとされています。地元の間伐材を利用することにより森が元気になる、ひいては海が元気になるという良い循環が生まれます。この事業は教室で森を育てているのと同じことです。この日は地区内5クラブと市職員も視察に訪れました。これをきっかけに「教室で森を育てよう」が地域の公共事業になっていくことを期待しています。



スギの板を子どもと一緒に張り付け

伊那西一ACと 信州大学留学生との交流会

伊那中央ロータリークラブ

第2600地区・長野県

11月23日に伊那西高校において、同校のインターアクターと信州大学の留学生との交流会を開きました。今回で17回目になる恒例行事です。

信州大学から参加してくれたのは、ベトナム、スリランカ、中国からの留学生。テーブルごとに彼らをインターアクターが囲み、自己紹介からスタートしました。

最初の取り組みは有名なキャラクターを皆で描いていくというもので、初めから歓声が上がリ、各テーブルから笑い声も起こり、打ち解けた雰囲気



テーブルごとに絵を描き上げて披露

になりました。その後は、インターアクターが伊那西高校の紹介、手話の披露、アニメのヒーローの紹介、かつての長野オリンピックの紹介などを全て英語で行いました。

この後、インターアクターの案内で学校内の施設を案内してもらい、留学生から授業方法などの質問も多数出て、国ごとの教育の違いに議論が及びました。さらに留学生からは出身国の紹介。内容は伝統文化、政治・経済、自然環境など多岐にわたり、質問も数多く出ました。

午後は言語学習。留学生の母国語での簡単なあいさつから始まり、お互いに相手の国の言葉を使いながら対話を試み、理解を深めました。

朝9時半から午後4時までの長丁場でしたが、大変有意義な交流会となりました。

(井上修・記)

奉仕の絆で広がる善意

千葉ロータリークラブ

第2790地区・千葉県

当クラブは2015―16年度から、青少年の健全育成を目的に、市内小学生を対象にミニバスケットボール教室を開催しています。千葉市バスケットボール協会の協力を得て、プロ

バスケットボールチーム・千葉ジェッツふなばしの選手をコーチに招いた教室は、参加する小学生が憧れる選手の指導を受けられる良い機会となり、毎年好評です。

昨年9月の台風15号では千葉市内でも多くの被害が出ました。小学校の体育館でも屋根が飛ばされるといった被害があり、この教室に参加する児童らが自発的に募金活動をしました。自分たちの少ない小遣いからも寄付をし、22万円を集めました。どこに寄付をしたらいいいのか分からず、教室参加を通じて交流のあった当クラブに相談が来しました。

子どもたちの善意に感激した私たちは、彼らが集めた寄付と同額を寄付することにしました。そして、クラブが橋渡し役となり、12月11日、千葉市に



善意へとつながったミニバスケットボール教室

ROTARY AT WORK

KODOMOふおーらむで
地域の子どもたちと交流

松江しんじ湖ロータリークラブ

第2690地区・島根県

1月13日の成人の日、松江市内の親子連れ約110人を招待し、宍道湖を足下に一望できる結婚式場を使って「KODOMOふおーらむ」を開いた。当クラブの「未来を担う地域の子どもたちの育成事業」の一環として企画。費用は昨年の地域の夏祭りで行った焼きそばの屋台（『友』2019年11月号本欄参照）とチャリティーバザーの収益を充てた。

午前の部はポリオの学習。1960年頃の映像を映し、当時、小児まひに苦しんだ子どもたち、必死の形相でワクチンを求める母親の姿を、参加者たちは食い入るように見つめていた。その後、その根絶に向けロータリーが活動していることを紹介した。

昼食会の後、地球環境を考えるプログラムへ。15歳の時に気候変動問題についての訴えを始めたグレタ・トゥーンベリさんと、18歳でNPO法人を立ち上げ、海洋プラスチックごみの回収に挑み始めたポイヤン・スラットさんを取り上げ、今、若者の声が世界を変える可能性を秘めていると紹介しまし



子どもたちの成長を願ってフォーラム開催

た。続いて、2021年に没後30年を迎える島根県簸川郡斐川町（現・出雲市）の少女、坪田愛華さんが描いた漫画『地球の秘密』を紹介。地球環境の保護を訴えるこの作品を描いた直後、わずかに12歳でこの世を去った少女の思いを伝えた。

最後に子どもたちはそれぞれの夢と希望を乗せた風船を大空へ放ち、フォーラムは散会となった。

(和田史朗・記)

ベトナム山岳部で
小学校改築プロジェクト

会津若松ロータリークラブ

第2530地区・福島県

当クラブが今年度お世話しているベトナム出身の米山奨学生、グエン・ヴァ

ン・タンさんとマイ・ホアン・ドウックさんの話をきっかけに、国際奉仕委員会を中心にしてベトナム北部の山岳地帯にある小学校の校舎改築プロジェクトに着手。水浄化装置付きの新校舎を建設し、12月9日、会長、幹事、国際奉仕委員長、会員の新聞社支社長、とタンさんの5人で完成式に出席してきました。

ベトナムでは、改築工事は乾期にしかできませんが、幸い晴天が続ぎ、予定より早く完成。車で4時間の山道を走り、小学校に向かうと、子どもたちは笑顔で待っていてくれました。日本から文具や絵本をたくさん持っていました。行政の首長や学校関係者、協力してくれた地元ボランティアの若者たちでテーブルカットをして完成式が始まりました。

式典後は保護者や子どもたちとミニパーティーを開きました。地元住民や先生たちからも大変感謝され、私たちは「あー、やってよかった」としみじみと感じました。

今回の事業でつながることができたベトナムのボランティアの若者たちは、困っている人を助けること、お互いを思いやることを自然と行動に移し、それを楽しんでいました。この事業でたくさんの「つながり」を持つことができ、私たちロータリアンの宝となりました。



現地の関係者たちと新校舎完成のテーブルカット

ました。また、「奉仕すること」を、実践を通して学ぶ良い機会になりました。

教室で森を育てよう
環境保全出張授業

豊川宝飯ロータリークラブ

第2760地区・愛知県

2024年4月に施行される森林環境税を原資に、令和元年度から全国各市町村に森林環境譲与税が交付されることを受け、その活用方法として、当クラブでは昨年4月8日、地元の間伐材を利用して市内小中学校の教室の掲示板にスギの板を張ることを豊川市に提言しました。

クラブでは11月26日、その提言のパイロット事業として「教室で森を育てよう」と銘打ち、市立金屋小学校で活

ROTARY AT WORK

文章編

ロータリークラブと地区の活動を紹介、600字以内、字数を超える場合など、編集させていただきます。関連写真があれば添付してください。

シングルマザー、そしてその子どもたちへ

東京紀尾井町ロータリークラブ
第2580地区・東京都

シングルマザーの家庭の半数以上は経済的に生活が苦しく、預貯金額が50万円未満である母子世帯も多いと聞きました。子どもの小学校入学時に必要となる新品の鉛筆や色鉛筆などがそろえられない家庭や、遠足の際に使用するリュックサックや防災グッズが買えないといった現状もあるそうです。そこで、当クラブでは地区補助金を活用し、リュックサックと文房具、防災グッズを80セット購入、千代田区内のシングルマザーの家庭に配布しました。リュックサックは内部にロータリーのロゴを印刷したものを提供しました。



防災グッズなどを詰めたリュックサックを手渡し

12月22日には、一人親家庭の支援などを行うNPO法人・リトルワンスが開催するクリスマス会に参加し、同様に文房具や防災グッズを配布。子どもたちにリュックサックを手渡すと本当に喜んでくれて、こちらもうれしくなりました。保護者からは次のような声が寄せられました。

「避難所に行こうとしても、いざという時には準備が整いません。ですので、防災用品セットを譲っていただき、感謝の気持ちでいっぱいです」「お金がなくて、ずっと買えずにいました。立派な防災グッズを本当にありがとうございました。これで、私たち親子の命が助かります」「本当にありがとうございました。セットの中にお薬手帳の終わったものを入れました。持病が

あるため、いざという時に困らないように、わが家の防災セットを作りました。玄関横に置きました。少し安心して暮らせます」

(奥寺邦俊・記)

子どもの笑顔と共に 絵本プロジェクトの成果

豊田中ロータリークラブ
第2760地区・愛知県

当クラブは2015年2月に創立15周年記念事業として「絵本プロジェクト」を開始し、継続してきましたが、今年度の創立20周年をもって完了することになりました。

絵本プロジェクトとは、豊田市内の全ての子ども園に絵本を届ける事業です。主に青少年奉仕委員会が担当し、大学生中心のボランティア組織「とよた学生プロジェクト(学プロ)」と共同で実施してきました。学プロを中心に運営することで、新たな交流や感動を共有する輪を広げ、広く青少年の成長を支援しようと考えたからです。

計画段階では絵本に対するニーズがどの程度あるのか、聞き取り調査から始めました。子ども園の運営費は、その児童数などから予算が算出されます。運営費には全ての費用が含まれ、

絵本購入費が個別に確保されておらず、どの園も支出を切り詰め、可能な範囲で絵本を補充していました。

また、保護者会からの寄付金で絵本が購入されているケースもありました。こうして市役所や子ども園の関係者から話を聞いた結果、当クラブが絵本購入の役割を担う価値があったとの結論に至りました。

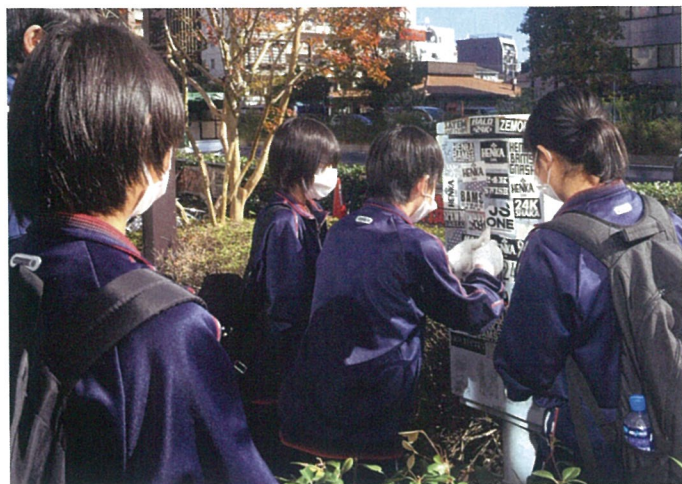
毎年届ける絵本は、各子ども園の希望に沿って用意し、配布日には学プロのメンバーたちに園児への読み聞かせをしてもらうなどしました。この5年間、読み聞かせの際の子どもたちのキラキラしたまなざし、プレゼントした時のすてきな笑顔から、何とも言えない幸福感をもらいました。

(猿渡亮二・記)



子どもたちの笑顔に触れた5年間

ROTARY AT WORK



中高生と一緒に落書き消し

〈川崎RC〉

秋の恒例行事「川崎駅周辺落書き消し活動」を実施した。地域の人々と毎年行っており、8回目となる。今回は115人の中高生を含む総勢230人が参加して、川崎駅東口の落書き消しとシール剥がしに汗を流した。中高生からは「これからも続けたい」「落書きをしないよう学校で呼び掛けたい」などの感想があり、環境美化につながる活動となった。

(11月16日 第2590地区 神奈川県)



中学生に「私の生業」を紹介

〈伊勢原RC〉

地元・伊勢原中学校の1年生全員を対象に、「私の生業(なりわい)」と称して職業を紹介した。講師はロータリーアン10人、外部講師3人の計13人。医師や弁護士をはじめ、警察官や介護士などさまざまな職業の人が、成功・失敗体験など、時にはジョークを交えて分かりやすく説明した。将来の職業選択の糧になることを期待している。

(11月15日 第2780地区 神奈川県)



一人親家庭を対象に 親子ボウリング大会を開催

〈名古屋南RC〉

一人親家庭の親子を招待し、親子ボウリング大会を開催。親子70人、ロータリー家族15人の総勢85人が参加し、初めてボウリングをする子どももいて、あちこちから笑い声が聞こえた。とても楽しい雰囲気の中、親子のコミュニケーションが深まる良い一日となった。賞品や参加賞は、会員企業から提供してもらい、それらを受け取った子どもたちは、とても喜んでいった。

(11月16日 第2760地区 愛知県)



小学生バレーボール大会へ トロフィー贈呈

〈いわき平東RC〉

いわき市内18チームの小学生バレーボールチームが集まり、第41回いわき市小学生バレーボール大会が開催された。クラブ青少年奉仕委員会の支援事業として毎年トロフィーを大会に協賛・提供していたが、10年目の今回、当クラブ杯として冠がつくこととなった。早朝から選手が集結、熱戦が繰り広げられ、優勝・準優勝・3位の各チームに、当クラブの名が刻印されたトロフィーを贈った。

(12月1日 第2530地区 福島県)

ロータリークラブ奉仕活動をカラー写真で紹介。写真と150字程度の説明文。字数を超える場合は編集させていただきます。必ず活動日を入れてください。記念写真(集合写真)は掲載できません。

ROTARY AT WORK



**未来ある子どもたちへ
児童自立支援プロジェクト**
〈上尾RC〉

児童自立支援施設・埼玉学園には、家庭環境の事情から家族と離れて暮らす子どもが生活している。「応援している大人がいる」という気持ちを伝えようと、野球用具を寄贈した。新しい用具に子どもたちは大喜び。会長幹事とキャッチボールをして楽しんだ。寄り添う大人は必ずいると伝わり、学園の野球部が一層活躍することを願う。

(11月20日 第2770地区 埼玉県)



柔道選手権大会を後援
〈厚木県央RC〉

クラブの名前を冠し、厚木市柔道選手権大会を後援した。3〜6歳までの約840人も選手がそろったと圧巻。選手たちは真剣な表情で戦い、中には負けたのが悔しくて泣きだす子も。この後援を通して、柔道の普及と礼節を重んじる青少年の育成に少しでも寄与できることを願っている。

(11月24日 第2780地区 神奈川県)

**磁気ループで
聴覚障害者を支援**
〈東京ワセタRC〉

聴覚障害者支援に長年取り組んでいる東京藝術大学の研究グループに、磁気ループを寄贈した。磁気ループは、補聴器に直接音を送り込むことで聴覚障害者の人々が声や音をよりよく聞き取ることができるようで、大学内で開催された舞台「七感で楽しむシアター」で使用され、より良い視聴覚環境を提供できた。

(12月1日 第2580地区 東京都)



**オリンピック会場
少年野球大会開催**
〈福島西RC〉

今年度で23回目となる福島西RC杯少年野球大会は、市内中学校8校109人を招いて開催。東京2020オリンピックの野球・ソフトボール会場となる、あづま球場を舞台とし、大会までの機運醸成も図った。会員と保護者のボランティアが生徒たちと一体となってグラウンド整備やボールボーイ、スコアボードの記録などを担い、充実感にあふれる2日間となった。今後子どもたちの健全育成に努め、ロータリーの存在をアピールしたいと考えている。

(11月23〜24日 第2530地区 福島県)

ROTARY AT WORK



**音楽隊を招いて若者の指導
やコンサート** 〈伊勢南RC〉

海上自衛隊舞鶴音楽隊を招いて2日間の青少年育成事業を行った。1日目は、会員経営の学校を会場に、地元中学校の吹奏楽部員ら約100人が、楽器ごとに演奏指導を受けた。翌日は、同校の体育館で、音楽隊による「ふれあいコンサート2019」を開催。市民ら約1000人が来場した。たくさんのお祝いや反響をもらい、無事事業を終えた。

(12月7・8日 第2630地区 三重県)



**老人福祉センターに
座椅子を寄贈** 〈三郷RC〉

三郷市内の老人福祉センターには、高齢者が食事やカラオケを楽しめる施設がある。ところが、足腰が弱くなり、立ったり歩いたりできない人、迷惑を掛けたくないとなくなる人もいると聞き、社会奉仕事業として市内の同様の施設3カ所に座椅子を寄贈した。その後、施設を訪問すると、座椅子は利用者に喜んで利用されていた。

(12月10日 第2770地区 埼玉県)



**8歳から84歳まで
ダブルス卓球大会** 〈横浜中RC〉

第7回ロータリー杯ダブルス卓球大会を地元で開催した。原則、年齢差20歳以上ある選手でペアを組むルールの大会で、245人が参加。最年少は8歳から最高齢は84歳。卓球人口の層の広さを示す大会となった。試合中、父子が声を掛け合う姿なども見られた。救護班の2人を含め25人の会員が開始1時間前から準備を始め、それぞれの持場で役割を果たした。

(11月3日 第2590地区 神奈川県)



**サンクスギビングデー
ディナーパーティー** 〈伊丹RC〉

クラブ創立時から行っている毎年恒例のサンクスギビングデー(感謝祭)ディナーパーティー。創立会員の古市勉氏がニューヨークに勤務していた頃、現地で催されたパーティーに感銘を受け、同クラブでの開催を思い立った。当日は、ロータリー学友を招待し、国際奉仕と若者の国際親善交流を目指している。第61回を迎えた今回は、総勢1600人が参加し、楽しいひとときを過ごした。

(11月23日 第2680地区 兵庫県)

ROTARY AT WORK



**創立2周年記念に
子どもたちへの奉仕**
〈東京臨海西RC〉
クラブ創立2周年を記念して、地域で子ども食堂や学習支援活動を行っているNPO法人「らいおんはーと」へ、栄養素を壊さないスロージュースを寄贈。ジュースのおかげで野菜嫌いの子も食べられるようになったと、うれしい声が届いている。今後も、未来を担う子どもたちへの支援を中心に活動を継続する。
(11月29日 第2580地区 東京都)



**しごと塾でパラ選手が
子どもたちにエール**
〈多治見RC〉
子どもたちがふるさとへの愛着を深め、将来の夢を育めるようにとスタートした「多治見ふるさとしごと塾」。5年目の今回は地区補助金を活用し、ロータリアンによる16講座に加え、パラアスリートの谷真海さん、山本篤さんによる記念講演を行った。参加した163人の子どもたちは、二人から「あきらめないこと」の大切さを学んだ後、さまざまな仕事を体験し、働くことの素晴らしさや楽しさに目を輝かせていた。
(11月30日 第2630地区 岐阜県)



**11回目の英語スピーチ
コンテスト** 〈井原RC〉
クラブ主催の英語スピーチコンテスト「英語でつかもう！ 未来の手」は11回目。中学生を対象に開始し、第8回からは小学生を対象にしている。今年度は小学生57人の参加を得て実施。開催の10日前から児童一人一人に約10分間ずつ、延べ141回のネイティブスピーカーによる発音レッスンを実施。当日も多くの人々に協力してもらった。今後も地域を巻き込んだ活動を展開していきたいと考えている。
(11月17日 第2690地区 岡山県)



**特別支援学校に通う生徒の
学習を支援** 〈広島中央RC〉
地区補助金を使い、視覚障害のある生徒が通う広島中央特別支援学校の高等部に、簡単な操作で点字を印刷できる点字立体プリンターなどの学習支援機器を寄贈した。会員36人が贈呈式に出席し、生徒による劇「銀河鉄道の夜」を鑑賞して視覚障害者への理解を深めた。
(12月2日 第2710地区 広島県)



ロータリー アットワーク

ROTARY AT WORK

写真編

台風の甚大な被害 地域協力の大切さを知る

東松山むさしロータリークラブ
第2570地区 埼玉県

2019年10月12日に東日本を襲った台風19号は、記録的な大雨で、各地に大きな被害をもたらしました。東松山市でも一級河川の都幾川・越辺川・新江川が氾濫して、7カ所で堤防が決壊・欠損、死傷者4人、床上床下浸水684戸、避難者総数3329人（同市発表）と、甚大な被害が発生しました。

クラブでは15年前から「桜の公園づくり」活動として、市内の駒形公園内のさくら広場に桜120本を植樹してきましたが、今回の洪水により、最大3メートルを超す高さまで濁流が押し寄せ、さくら広場は大量の流木やタイヤなどのごみに埋まってしまう、桜の木は見るも無残な姿になっていました。

クラブが桜を植樹してから、毎年、地域ネットワークと共に、年2回の除草作業、桜の木の枝おろし、ベンチの設置作業などを継続しながら、桜の公園づくりを推進してきました。台風直前の7月と8月にも、公園の除草とベンチの手入れ作業を行ったばかりでした。

この被害状況を受けて、再度地域ネットワークに呼び掛け、12月8日、広場のごみ撤去作業を実施しました。ごみを運び出すための軽トラック、堆積した流木を切るチェーンソー、木に登るための脚立やロープなどの機材は、参加者自らが準備。60人による早朝から約3時間の作業で、軽トラック100台分のごみを撤去することができました。

参加した皆さんは今後も桜の公園づくりを継続すると誓い、この春には満開の桜の下でお花見ができることを楽しみにしています。暖冬なので今年の桜は早いようです。

（内山明夫・記）

憂い多きこの世に生きて焚く落葉

山梨・甲府西 太田 道夫

喪の庭に花柊のかすかな香

愛知・瀬戸 玉井美智子

去年逝きし兄の形見の冬帽子

岐阜西 眞鍋優文子

打ち勝つは年か病ひか去年今年

奈良 寺田 康宏

日々の散歩の犬の息白し

大阪アーバン 溝畑 正信

六甲山遠鷺に模糊と明け

大阪心斎橋 西村 拓夫

杖を曳き霜柱ふみしめ歩く

兵庫・神戸西 山地 宣子

冬の草少し残して庭手入

兵庫・神戸西 植田 晃行

ゆつくりと化粧落して山眠る

兵庫・神戸西 小松原景久

五年ぶり家族そろって餚雑煮

香川・高松 大平 昇

一村を湖底に抱き山眠る

高知中芸 安光セツ子

青空や鳥取らぬ柿鈴なりに

徳島眉山 檜原 道治

喪の家も年新たな庭を掃く

鹿児島西 長柄 英男

水仙の束を抱へて美女ふたり

長崎出島 伊東 浩子

北風に己励まし出てゆけり

埼玉・日高 野口 明良

投稿規定 ◆雑詠 ◆クラブ会員、家族 ◆一か月に葉書一人一枚に三句まで ◆締切日二〇日必着 ◆葉書ウラにもクラブ名・氏名、電話明記 ◆楷書で明確に ◆『友』俳壇係宛

玻璃越しの月影うけて相向う
夫とわたしと秋刀魚とすだち

茨城・古河東 小山 幸子

吾と共に過ぎし来し鉄鍋半世紀
黒豆ほっこりふくら煮へて

奈良 寺田眞佐子

杣深く立てつつ歩く歌会の
言葉かみしめ帰る道には

熊本水前寺公園 北里美知子

うどん県の高松駅の二階にて
昼は時々信州そばを

香川・高松 平峯 千春

暮れなずむ弥山の山肌おぼろおぼろ
やがて静かに闇に溶けゆく

島根・出雲南 小村 尚子

朝市の一語一語の息白く
冷かし客も手に息掛ける

群馬・館林 新井 進

白秋の碑遺る見桃寺
人來ぬ庭の午後の寂しさ

東京ワセタ 福地桂之助

そば食える大つごもりのありがたく
細く長くと孫の顔見る

大阪天王寺 高見篤志郎

天台宗養福寺より届きたる
令和二年の新暦かな

茨城・友部 矢吹 和夫

看板のみ残る店の前通るたび
かの遠き日の君の声する

岡山・倉敷東 吉岡 洋子

巷では人生百年とかるく言えど
九十八歳のわれに高きハードル

神奈川・相模原 佐藤 清一

投稿規定 ◆雑詠 ◆クラブ会員、家族 ◆一か月に葉書一人一枚に三句まで ◆締切日二〇日必着 ◆葉書ウラにもクラブ名・氏名、電話明記 ◆楷書で明確に ◆『友』歌壇係宛

冬眠に思慮ある熊は診療所

神奈川・横浜旭 吉原 則光

学会会お宮貫一昭和の日

富山・射水 江守 正

年賀状皆に恥じないように生き

日本ロータリーEクラブ2650 西川 政美

黒タイを仕舞う間もなく大晦日

大阪大淀 長谷川眞哲

神さまの足跡どおりついてゆく

大阪西 鴨谷瑠美子

箱根路にピンクの靴が飛び跳ねる

兵庫・神戸中 吉井 邦弘

青信号カラス降り立つ歩道内

徳島眉山 檜原 道治

宛名ラベルやめて何度も辞書を引く

香川・高松 大平 昇

窓開けて駅弁買った昭和旅

福岡イブニング 力徳 正明

柳壇に人世の縮図垣間見る

福岡イブニング 甲斐総治郎

生きがいはず定ぎつしりカレンダー

福岡イブニング 田中 孝二

大吉に何かええ事期待する

大阪・堺清陵 物種 唯修

絵に描いたボタ餅の味試したい

埼玉・入間南 大野 快三

酒あれば尚よしと身体言う

埼玉・入間南 荻野 静次

縁起ものの金なる木に花咲いた

福岡イブニング 菊池 文彬

遺影撮り遺書も書いたがまあだだよ

高知西 山岡 陸宏

投稿規定 ◆雑詠 ◆クラブ会員、家族 ◆一か月に葉書一人一枚に三句まで ◆締切日二〇日必着 ◆葉書ウラにもクラブ名・氏名、電話明記 ◆楷書で明確に ◆『友』柳壇係宛



稲畑 汀子 選

老たれど氣力とは別年明くる

京都・福知山 松山ひとし

新年になるたびに年を取った思いが深い。今は誕生日が来るたびに年を取るが、昔は新年になると年を重ねた。作者も高齢になったと思うが、氣力は充実していて、老いたという思いはないと自負している。今は高齢者も元氣であり、年齢と氣力は別だと自負する心が若々しい。

晩学の蔵書三千文化の日

東京荒川 井上 久子

年を取ってから興味を持って勉強を始めた。読んで学んで親しんだ蔵書が三千に及ぶ。そのどれもが自分の晩学を支えてくれたと思うと、愛着を覚える蔵書である。時に読み返してみる本もあるであろう。十一月三日の文化の日が来て、蔵書三千を繙（ひもと）いて、これまで勉強してきた日々を懐かしく思い返しているのであろう。

朝空の富岳近しや十二月

東京蒲田 阪田 昭

何無くも親子四人の雑煮かな

千葉・野田 高梨昇一郎

松過ぎのやり残したる手入れかな

神奈川・横浜戸塚 中村 裕一



佐佐木幸綱 選

柿の実をさいころに切り味噌汁に入れて男の一人の昼餼

千葉・富里 寒郡 政雄

味噌汁に柿の実を入れるアイデア、魅力的ですね。私もそうですが、柿好きの人はきつと真似（まね）してみたくなるでしょう。

表現が具体的であることは、現代短歌の大切なポイントです。この一首で言えば、どんな料理か、何の実を入れるか。どのような形に切るか。この作はとても具体的ですね。形容詞を一つも使わず、名詞と動詞だけで、具体的表現を実現しています。

旧き友とひさびさの奈良の合宿をわれも楽しむ旅人として

奈良 松森 重博

昔からの長いつき合いの仲間と、年に一度ぐらい。日本の各地で、何泊かの合宿をつづけておられるのだらうと思います。地元・奈良での合宿だけれど、皆に合わせて、旅人気分を味わっている、というのです。

日本文学史では、「旅人」は独特のイメージとニュアンスを持ってきました。西行、芭蕉、若山牧水、種田山頭火……。この作者も、そんな文学史の一端に連なる思いなのでしょう。

やわらかに聞く耳もちて語りおる
調停委員ながくなせる人

京都東山 池田 敏子



てじま晩秋 選

天 お年玉孫より親がものほしげ

北海道・函館 柴田 繁男

あくまでジョークでしょうが、お子さんのとほけた所作が目につかび、ほほ笑ましい作品です。僕を含めて、今の年寄りはお小銭を所持しておりますからねえ（笑）。寒い北海道の、お正月の温かな家庭の一シーンに出合った、という感に浸りました。

地 窓際の机が眠る花見時

青森北東 遠間 善弘

七種類の雪が降り続く津軽の冬景色。現職の頃の出張の際、随分とじつくり堪能した覚えがあります。その厳しく長い季節の後に咲く桜花、当然目の保養とばかり観賞しているお姿が浮かびます。青森の桜つて落ち着きますからねえ。遠間さん、読書はしばらくお休みですね。

人 二回目の五輪の聖火孫走る

埼玉・熊谷籠原 森田 光彰

二度目の開催となる東京五輪……。一月に始まった新型コロナウイルスの対応策で、国中が頭を抱えております。そして、下手をしたら五輪の開催ができなくなるのでは、という噂まで。そんなことは、笑い話の過去になるであろう、と信じております。僕はある競技の券一枚、持っています。

都心でも心の中は一軒家

東京池袋 小泉 博明

タバコの害から健康を守る

(医法)イノウエ矯正歯科
理事長

井上 裕子

2020年4月から全面的にスタートする改正健康増進法により、飲食店を含むほとんどの施設が原則屋内禁煙となり、望まない受動喫煙はマナーからルールへと変わります。

喫煙者が、健康に悪いと分かっているにもかかわらず吸ってしまう原因は、タバコに含まれるニコチンの依存作用にあります。このため、「喫煙」は大麻などと同じ「薬物依存症」と国際的に定義づけられ、日本でも保険で禁煙治療が受けられます。①ただちに禁煙しようと考えている人、②禁煙指数（一日の喫煙本数×喫煙年数）が200以上の人、③スクリーニングテストでニコチン依存症と診断された人、④禁煙治療を受けることを文書にて同意した人、これらの条件全てに該当した場合に保険適用となります。

禁煙治療の薬はバレニクリンといい、神経細胞に作用してニコチンの欠乏感をなくすものです。禁煙外来へ行くと簡単な問診の後、処方されます。1週目はタバコを吸いながら薬を飲み、徐々にタバコを減らし、

2週目から薬の量を増やして喫煙をやめていくという治療法です。

海外では、タバコによる病気の写真を使ったパッケージも目にしますし、最近人気の加熱式タバコや電子タバコにも有害物質は含まれます。タバコの健康被害に早く自分たちで気付いて、早く行動することが肝心です。大切な人がタバコを吸っていたら、禁煙外来へ行つて相談するよう、優しくアドバイスしてください。

「喫煙者がかわいそう」という声も出そうですが、喫煙者の半数がタバコ関連疾患で死亡しているというデータがあります。喫煙者の平均寿命は、非喫煙者よりも約7年短く、寝たきり期間は5年長いという報告書もあります。吸わせてあげることが本当の優しさでしょうか。さらに、周囲に漂う副流煙は、喫煙者がフィルターを通して吸う主流煙より有害とされ、そのリスクはアスベストの180〜380倍ともいわれています。

禁煙対策が進むとどうしても喫煙者と非喫煙者の対立が生まれがちです。しかし、対立するのではなく、「悪いのはタバコ」という認識を持ち、力を合わせてタバコの手から健康を守りましょう。

(第2660地区・大阪府・池田RCにて・同RC会員)

オリジナル版 星の王子さま

熊谷RC 原田 勲

時間とは不思議なものです。時間は常に流れているが、自分は日々変わっていることに気が付かない。子どもと接していると、大人になると見えなくなるものの存在を感じることもある。目に見えるものことばかりに気を取られ、大切なことをたくさん見落としているのではないかと思う。

『星の王子さま』で印象に残っているのが、王子さまがキツネと別れるシーン。キツネから「心で見なくちゃ、ものごとはよく見えない。肝心なことは目には見えない」というメッセージが送られています。「目に見えないこと」とは、別れは悲しいが思い出は美しいということ。相手を思うことの大切さを気付かせてくれました。人生は有限だからこそ美しい。人生を謳歌する「秘密」を優しく教えてくれた一冊です。

(第2570地区 埼玉県)



サン＝テグジュペリ 作
内藤濯 訳
岩波書店 2000年3月刊

●人生を変えた本、思い入れのある本、最近感動した本を紹介。320字以内。対象は入手可能な市販書籍（絶版・自費出版、応募者と直接関係する書籍は除く）。表紙は編集部で用意します。

卓

話



■「卓話の泉」は、クラブの会報、週報に掲載の卓話の中から、客観的内容の話題、ミニ知識となるものを主に選んで要約、掲載しています。

コーヒーの入れ方

UCC上島珈琲(株)
中日本支社 近畿第三支店 久保奈津子

コーヒーをおいしく入れる重要なポイントは、注ぎ方と蒸らしです。まず、コーヒーの温度が下がらないように器具を温めておきます。ペーパーフィルターの底と横のつぎ目は互い違いになるよう折っておくと、ドリッパーによく密着します。コーヒーの粉を入れたらドリッパーを軽く振り、粉を水平にし、むらが出ないようにします。

カップ1杯分に使う粉は、中細びきか中びきのもので12g、湯量は160cc。抽出するときの湯の温度は92～96度が目安。温度計がなければ、一度湯を沸騰させた後に粉を量るとちょうどいい温度になっています。

湯を注ぐ時は、やかんより細い口のポットを使う方が注ぎやすいです。人さし指を軸にして力を入れずに軽く、傾きを調整しやすいように持ちます。

そして、抽出時におきたいのが蒸らし。粉全体に行き渡る程度の湯を注ぎ、粉が膨らむようにします。湯が多過ぎると、粉全体に行き渡る前に落ちてしまい、少な過ぎると全体に行き渡らずにおいしい成分が十分に出ないので、注意が必要です。

蒸らしは湯を20ccほど注ぎ、約20秒待ちます。湯は細くのせるように注ぎ、数滴落ちるぐらいが目安。蒸らしがうまくいけば、コーヒーと湯はなじみやすくなります。その後は80cc、40cc、20ccの順番で3回に分けて注ぎます。粉の面に対し垂直に細く真ん中から外に向けて「の」の字を書くように。ペーパーフィルターに湯を当てないよう1円玉ぐらいの湯の大ききで注ぐことが大切です。渋みが出るため注ぐ速度はあまり遅くならないようにします。入れ終わった後に粉が厚い層になって残っているのが理想的。この層は、雑味を抑えるフィルター役目をするため崩さないようにしましょう。抽出後に粉の表面に泡が出ていたらおいしい成分が出ている証拠です。

(第2680地区・兵庫県・姫路RCにて)

私の一冊

明治維新の理念をカタチにした
前島密の構想力

高田RC 堀井 靖功

幕臣・前島密(1835～1919)は大久保利通に「江戸遷都」を建言。明治政府に出仕するや、大隈重信の指示で「鉄道建設の企画書(鉄道憶測)」を起案。そして郵便制度を創設・育成し、その円滑化の手段として陸運・海運事業に多大な功績を残した。明治維新という変革の中で、まさに「日本のインフラの父」と言つてよい活動を展開した人物である。昨年は没後100年を迎えた。

こうした彼の構想力に着目した一冊。今こそ、前島密を学ぶ時と感じた。13歳の前島(幼名・上野房五郎)が越後高田から独り江戸へ出て、どのようにして大きな構想力を持つに至ったのか、私は「若き日の前島密」に大きな「不思議」を感じ、足跡をたどってみたが、この書は、この「不思議」をも説明してくれることがうれしい。(第2560地区 新潟県)



加来耕三 著
つちや書店
2019年5月刊

円規模のグローバル補助金事業について披露されました。

タイの山中での子どもたちの教育支援の事例でした。スライドに映し出される山中の大悪路。そこを、スコップで泥をかきながら車を走らせていく。また、川には橋が架かっていないので、荷物を担いで渡っていく。現地では、子どもたちが地べたに毛布1枚を敷いて寝ている。

しかし、事業完遂後の写真を見ると、現地の施設はとてもきれいになっており、太陽光発電の設備も設置されていました（もちろん、現地に電気・ガス・水道は来ていませんでした）。

刀根さんはまたおっしゃいました。「もう二度とあんな山奥には行かないだろう。けれども、ロータリーのつながりがこういう経験をもたらす。（中略）奉仕を受ける側ではなく、奉仕をさせてもらうこちら側が、感動や充実感を得る」と。（第2840地区 群馬県 不動産賃貸管理）

ロータリー「つながり」の縁

佐渡 加藤 勝巳

昨年10月26〜27日、第2560地区地区大会が高田市で開催されました。渡辺好政RI会長代理は、行動するロータリアンを志向し、活動（ACT）しよう、と会員を鼓舞。そしてパワーポイントを使って「HOPE」の4文字の意味を説明されました。

H II Honor (信頼ある品格)

O II Organize (組織、みんなのつながり)

P II Participate (参加)

E II Enjoy (楽しむ)

すなわち、ロータリーは「みんな」が「参加し」「楽しく」学び、「品位ある」システム（組織）である、と。分かりやすい解説でした。

その言葉通り、地区大会は会員同士の会話あり、卓話や講演からの学びあり、地元の銘酒も加わって、楽しい時が流れました。そして25年前に、同じ高田で行われた地区大会のRI会長代理も渡辺好政さんであったことを思い出し、当時に思いをはせました。

1994年、地区大会参加のため高田市を訪れた時の出来事です。当時の大島精次ガバナー（新潟県と群馬県が同じ地区でした）から、ご自身のノートに記された、ある文章のコピーを手渡されました。そこには大島さんの級友・小



25年前にいただいた大切な言葉。「HOPE」がつなぎます

和田恆氏（現皇后陛下の父）がしたためられた文言があり、その文章は私を驚かせ、心に深く染み込みました。「梅檀は双葉より芳し」といいますが、代々つながれた教育の深さに、静かに頭が下がりました。

その文言をここに紹介します。

「There must be only Practice! (実践あるのみ)」

過去の思ひ出に酔ひ、安易なセンチメンタリズムにいつまでも浸ってゐることは許されない。

現実を直視して、盲目的に突進せよ。君の眞の幸福は努力からのみ得られるであらう。

H. OWADA

P.S. 無礼な文字を並べたことをお許しあれ。

相見て恥かしくないお互ひになつてゐられるやうに。

君の奮闘を祈る。」

そのコピーと大島さんの写真を額に入れて眺めながら、ロータリーがつかないだ縁を感じています。（第2560地区 新潟県 塗装業）

Annotation

ニコニコボックス

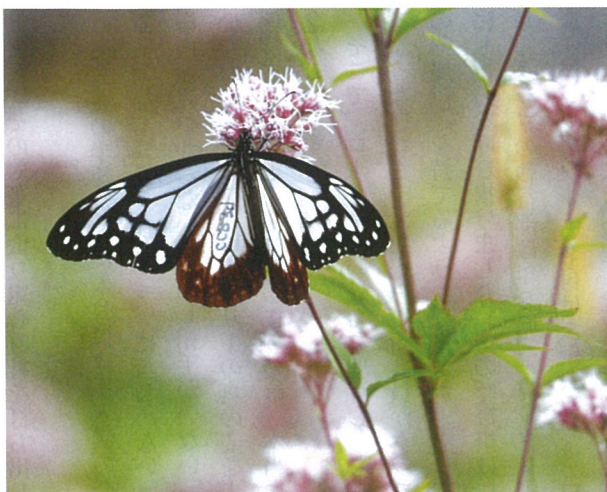
一九三六年、大阪で「ニコニコ箱」として始まったとされ、ニコニコ募金、スマイルボックスとも言われます。喜怒哀楽の出来事、早退・遅刻などに対し、善意のお金を箱に納めます。集まったお金は社会奉仕活動などに活用されます。

秋風景の撮影に行きました。神社の駐車場に車を止めると、前方には奥多摩の山々が広がっていましたが、天候不順の影響で、紅葉は遅れていました。

すぐに車に戻り、帰りの途中にある秩父の「道の駅」に寄ることにしました。そのレストラの店長さんから、「今年、ハスを植えた後にヒヨドリバナを植え換えたところ、アサギマダラが来ている」との話を聞きました。再度車に乗ってその場所に向かい、写真を撮っている人の仲間に入ることにしました。

アサギマダラは前羽が4〜6センチほどの大きさのチョウで、羽を広げると10センチ前後。黒と褐色の模様と、透けるような羽が美しさを増します。実際に見て感動しました。

このチョウは一日260キロメートルを飛べる能力を持つているそうで、遠く台湾、香港、九州から飛



どこから遠く旅してきたのでしょうか。思いは広がります

んでくることもあるとのこと。山地に生えるヒヨドリバナに多く集まると聞きました。チョウ愛好家の間では王様クラスの人気だそうです。

撮った写真を見ると、羽に英語で書かれたサインがあり、遠く台湾などで刻まれたサインかもしれないと思い、再び感動しました。学術的にも貴重なチョウを撮れた喜びと、海外との絆ができ、友情の輪が広がったようで、本当にうれしきでいっぱいでした。

(第2570地区 埼玉県 電気工事)

たったバッジ1個のつながり

前橋東 馬場 誠

昨年10月26〜27日、太田市内で第2840地区地区大会が開催されました。刀根荘兵衛RI会長代理がいさつの中で、次のような趣旨のことを述べられました。

「ロータリーでの経験の中核にあるものが『つながり』であり、『つながり』があるからロータリーに入会し、またロータリーにとどまる。ロータリーを発展させるのも『つながり』にあるのです」

さらに続けて

「たったバッジ1個のつながりですけど、そのつながりが……。続く言葉を失念してしまつたのですが、人間の幸福、心の充実というものにつながっているという趣旨のことをおっしゃられたと思います。私は、『たったバッジ1個のつながり』という言葉に感銘を受けました。

世界各国で交換したバナー。ロータリーの国際大会には何度か参加し、「友愛の家」で知り合った外国の会員と歓談しつつ、バナーを交換しています。自宅の書斎に飾り、楽しんでいます。

豊泉 君代 (群馬県・高崎シンフォニーRC)

私の宝物



その通りだと思いました。

実は最近、私の妻の両親が高齢になり、身体がおぼつかなくなっていました。妻は長女です。で大変心配し、あちこち相談した結果、これはたまたまなのですが、当クラブのパスト会長が理事長をされている社会福祉法人の施設にお世話になることが決まりました。

妻の両親は「本当に良かった。夢を見ているみたいで、施設の方々にはとても感謝している」と言っていました。私は身をもって、つながりというもの不思議さでありがたさを実感しました。人知では推し量れないことが起こるので

す。刀根さんは「ご自身のつたない経験」と断られながらも、タイで行った、総額約2000万

と考え、その対策に取り組む方針を打ち出しました。

退会者の半数近くが入会後3年未満の会員で、退会理由としては「クラブになじめない」「居場所が見つからない」「話し相手がいない」といったものでした。ロータリーの真の姿を十分理解する前に退会されてしまうのは、本当に残念なことです。

そこで、ロータリーの魅力を理解してもらえようなプログラムを組み、新会員がクラブへの帰属意識を持てるように、先輩ロータリアンにも協力を呼び掛けました。その呼び掛けに応じ、クラブの執行部は年5回、「ロータリー・トレーニングアワー」と名付けた例会を設け、ロータリーの勉強会を開催することにしました。

第1回は、同じような悩みを持つ私どもの子クラブ・横浜山手RC、横浜本牧RCにも呼び掛け、3クラブ合同例会を2019年9月20日に行いました。テーマは「ロータリークラブが行う寄付行為について」とし、ニコニコボックス、ロータリー財団、米山記念奨学会への3種類の寄付について、各委員会の委員長が解説し、理解を深めてもらいました。特に一番身近なニコニコボックスへの寄付について、横浜中RCでは会員の善意によりボックスに入れた寄付金の総額を、クラブの奉仕活動の活動資金として活用していることを理解してもらいました。

例会後に第2部として、同じ会場で「会員増強について」のテーマで、3クラブ合同のフォーラムを開催。最初に当クラブの会員増強委員長・杉島和三郎氏に、昨年度10人増強という実績を

体験談として語ってもらい、その後6グループに分かれ、忌憚なく意見を述べ合いました。

年齢、性別、ロータリー歴の長短など、さまざまな背景を持つロータリアンが同じテーブルを開き、知恵を出し合っている姿は充実感にあふれており、大変有意義な場となりました。普段、発言の機会があまりない新会員からの意見も、大変貴重でした。

ちなみに、11月22日に行われた第2回のトレーニングアワー例会は、当地区の高良明バストガバナーによる卓話「ロータリーの原点とこれからのロータリー」を頂き、ロータリーについてより理解を深められたと思います。2020年は1月24日に第3回を開催。あと2回、この勉強会を開催する予定です。

(第2590地区 神奈川県 歯科医師)

ヘアドネーションを ご存じですか

塩釜東(会員家族) 佐藤千恵子

「ヘアドネーション」とは、がんや白血病、不慮の事故などにより、髪の毛を失った子どもたちに、完全オーダーメイドのウィッグ(かつら)を無償提供する活動です。31歳以上の長さに伸ばした髪の毛が必要という、なかなか難易度の高いボランティアです。

2019年11月16日、仙台医療センター内の美容院に、私はヘアドネーションに協力する娘の見届け人として同行しました。娘は以前、交通事故により足の手術を受け、術後に体調を崩

し、嘔吐や髪が抜けるなどの薬の副作用に苦しんでいました。だからこそその協力なのだと思います。彼女はヘアドネーションのために、この4年ほど髪を大切に伸ばしてきました。見えない誰かの役に立ちたいという優しさ、笑顔の輪を広げたいという祈りの気持ちからの、髪の提供、だったかと思います。

規定の長さまで髪を伸ばすと決めた娘の姿を見てきて、本気でなければできないボランティアだと思いました。「ヘアドネーション」の活動をもっともっと知っていただきたいと思い、筆を執りました。

(第2520地区 宮城県)



ヘアドネーションを扱う美容院で、髪を寄付しました

アサギマダラに 遭遇して

鶴ヶ島 渡辺 道雄

昨年10月下旬、友人に誘われて国道140号線を走り、三峯神社(埼玉県秩父市)付近の晩

ゲストでタレントの原田伸郎氏の軽妙なトークや歌を楽しみました。

華やかで厳かな会でしたが、いつもの京都モータリングRCらしく和気あいあいと、温かい楽しい雰囲気の中で、1000回例会を終えることができたのではないかと思います。これからもますます京都モータリングRCが発展していきますように心から願っております。

(第2650地区 京都府 弁理士)

地区大会会場に台湾の地区のブースを設置

堺東 藤田 隆生

人生には思いもかけぬ出会いがあり、新しい展開が生まれることがあるようです。2019年10月、第2640地区の地区大会が開催されました。その際、ホストクラブを務めた当クラブの中村清嗣地区大会実行委員長が、国際ロータリー(RI)会長テーマ「ロータリーは世界をつなぐ」にふさわしい企画をこの大会に取り入れたということで、台湾・台北幸福RCの謝冠園会員と共にRIから表彰されました。これなども、その一例かもしれません。

話の始まりは、大会前に謝会員の訪問を受けたことでした。かつて東京大学大学院博士課程在学中に米山奨学生だった謝会員から、「台湾の地区が後援を続けている、中国の伝統的な舞踊を披露する神韻(Shen Yun)芸術団が堺市で初公演を行うので、協力をお願いしたい」という申し入れがあったのです。

それを受けた話し合いの中で、地区大会会場に第3481地区(台湾)のブースを設け、ビデオ動画などを利用して「神韻公演とはどのようなもので、なぜ台湾のロータリーがそれを後援しているのかを知ってもらいたい」という提案がなされました。

前例のないことを理由に実施を危ぶむ声もある中、実行委員長は中野均ガバナーと相談の上、台湾の地区紹介などと併せて実施を許可したのです。すると、大会参加者には意外に好評で、1月に予定されていた神韻の堺公演は年末を待たずにほぼ完売の状態。この報告に気を良くした会員から「この次は、うちの地区が台湾の地区大会で、堺刃物や熊野古道のPRでもするかな……」といった声も上がるほどでした。

この話がRIに伝わり、このほど、RI本部から感謝状が届いたことで会員の士気が一層盛り上がり、



国を超えた連携。地区大会で台湾の地区のブースを出展

2021年の台北での国際大会にはぜひ参加しよう、という機運も高まっています。

考えてみれば、ポール・ハリスが信頼の置ける職業人の集団をつくり、その理念を広めようとシカゴでロータリークラブ

を創立してから1世紀以上が経過した今日、私たちのビジネス環境はグローバル化し、人々の往来も大きく変化しています。

ロータリーでも国境や地域を超えた姉妹クラブが増えてはいますが、地区同士という話はまだまだ少ないようです。謝会員は、今回のような活動でつくり上げた人脈を活用し、日本と台湾との連携を図っているようですが、これもロータリーという大きな組織の裏付けがあつてこそ活動です。新しい時代に対応できるロータリー活動の一つとして、人材や企業の幅が広がるよう、地区同士の連携という発想があつてもいいのではなからうかと、ふと考えました。

(第2640地区 大阪府 建設業)

新会員の早期退会 防止策に挑戦

横浜中 松井 隆史

全国のロータリークラブで、会員減少の流れが止まらず、深刻な問題となっているようです。横浜中RCもご多分に漏れず、1998年の85人をピークに会員数は減少の一途をたどり、一時は50人を切る寸前まで落ち込みました。幸い、ここ数年で最悪の事態からは抜け出ることができましたが、60人台の前半から後半の間を上下しております。

この状態から一歩でも踏み出し、緩やかでも着実に会員増強を図りたいと、今年度の吉田裕一郎会長は、その一番の手段は退会者数が入会者数を上回る現状を何としても打破することだ



サイパンのビーチで、海外から漂着したごみを拾いました

げなく捨てられたごみもさることながら、太平洋の海を渡って流れ着いた、さまざまな国の言葉が書かれたごみの多さに驚かされました。美しい自然を守るために、行政だけでなく、日頃から多くのボランティアが清掃活動をしているそうです。日本からのごみが流れ着くこともあるそうで、環境を守るためには、世界は心をつにして取り組まなければならないと痛感しました。

午後の活動報告会では、地区内の全16クラブの年間活動について、英語でプレゼンテーションが行われました。多くの質問や意見が飛び交い、徐々にアクト活動全体への熱いディスカッションとなりました。自分の意見を持ち、さらにそれを発言・発信する力を持つロータリーアクターの仲間に大変刺激を受けました。サイパンRAC、マリアナRAC共にロータリアンやイ

ンターアクトとのつながりが強く、さまざまな奉仕活動を協同で企画・実施しており、島ならではのファミリー感も伝わってきました。

続いて文化交流。サイパン島に生える美しい草花を用いた、腕や頭などに着ける伝統装飾品の制作を学びました。私たちはお土産に持参した風呂敷で、伝統的な日本のラッピング方法を紹介。より互いを理解し、深く友情を結べたような気がしました。

夕方、サイパン島北端部の観光に連れていかれてもらいました。太平洋戦争時の遺構が数多くあり、戦時中、島の人々が日本人にどのような感情を抱いていたか、いかに激しく悲しい戦争だったかを伺いました。今こうして再び友情を育めることのありがたさ、そして平和がいかに得難く、大切なものなのか考えさせられました。

2日目はグアム島に移動し、マリアナRACを訪問。日中は島内各所を回り、夜はパワーディナーともいえるべき、活気あるディナーミーティングでした。2日間で2島訪問というハードな日程でしたが、サイパン、マリアナの仲間の強い熱量を感じた訪問でした。

(第2750地区 東京都)

厳かに、和やかに祝う 1000回例会

京都モーニング 三宅 紘子

京都モーニングRCは、当地区において唯一の朝例会クラブとして1998年に創立、初の女性会長である坂根良枝会長年度の、2019

年11月21日に記念すべき1000回例会を迎えました。

これまでに、京都府内の女子サッカーチームへの支援やカンボジアへの食育支援事業、児童養護施設・和敬学園、就労支援事業所・たんぽぽハウスなどへの支援活動を行ってきましたが、新事業として、和敬学園において、子どもたちの成長を記録するとともにこれからの幸せを願い、晴れ着での写真撮影会を行いました。最初は戸惑っていた子どもたちも、撮影が始まると次第に笑顔に変わり、思い出に残る撮影会となりました。

1000回例会においては、坂根会長によって打ち鳴らされた高らかな鐘の音が、これまで開催された例会のたびに鳴ってきたかと思うと非常に厳かな

気持ちとなり、1000回例会に立ち会えたご縁に感謝しました。



祝宴では、京都らしく芸妓さん、舞妓さんの艶やかな舞を堪能し、これまでのクラブの歴史を懐かしい写真と共に振り返りながら、思い出話に酔いしれました。さらに、

念奨学生の陳新さんから、1月末、「クラブの皆さまにお伝えください」としてメールが届きました。日本のロータリーが長年にわたり取り組んできたことが実を結んできていることがうかがえる、うれしい内容です。

われわれロータリーが目指しているのは「世界の平和」と、誰もが住みやすい世界の構築」ではないでしょうか。今、中国をはじめ世界は大変な問題に直面していますが、悪いことだけが起きているのではなく、良いこともたくさんあります！ 以下にメールを抜粋・要約して紹介します。

「近況報告および感謝の気持ち」

陳新

越谷東RCの皆さま、お元気ですか。ご無沙汰しまして申し訳ございません。時間のたつのは早いですね。19年10月に博士号を取



2019年3月、地区の米山記念奨学生修了式であいさつする陳さん

得し、帰国してから5カ月がたちました。仕事と育児などで忙しい毎日を過ごしていました。

まず、就職先のことをご報告させていただきます。いろいろ考えた末に、元の就職先に戻らず、11月ぐらいに就職先を中原工学院に決めました。中原工学

院は、河南省の鄭州にある公立大学です。鄭州国際空港からバスで40分ぐらいの距離です。日本語学部があり、日本語教員は私を入れて11人です。同僚たちはみんな優しいです。また、おかげさまで娘が元気に育っております。1歳になりました。仕事と育児を両立させるのは大変ですが、頑張ります。皆さまのおかげで博士号を取得し、素晴らしい留学生生活を過ごしました。その感謝の気持ちは、どのような言葉を使っても言い表せるものではありません。

話はちよつと変わりますが、皆さまご存じと思いますが、現在中国、特に武漢は新型コロナウイルスに襲われています。河南省（中国の省は日本の県に相当する）は武漢の湖北省に近く、かかっている患者さんは100人以上だそうですが、住んでいる鄭州の新鄭市にはまだ患者さんはいないようです。

そして、政府の呼び掛けに従い、お正月休みはできるだけ出掛けないように、親戚を訪ねないようになっています。心配しないでください。

中国のマスコミなどで、今回の新型コロナウイルスに対して、日本からマスクなどのご援助があったとのニュースを聞きました。特に、民間からもマスクの寄付があるそうです。とても感動しました。日本政府および日本人の友好と優しさに感謝いたします。

そして、私のような日本語が分かる人だけではなく、多くの中国人が日本政府および日本人に感謝の気持ちを持っています。ネットはいい評判でいっぱいです。この場を借りて

「日本、ありがとう」「日本人、ありがとう」と言いたいです。

皆さまの友好と恩恵を忘れません。将来、日本語教師という職業を通して、日中友好のために力を尽くします。またよろしく願います。

（第2770地区 埼玉県 建材販売）

南の島のローター アクターと地区内交流

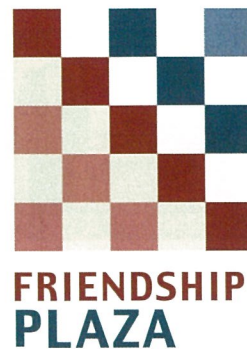
東京恵比寿RAC 細倉 結衣

第2750地区は東京南部とパシフィック・ペイスングループ（北マリアナ諸島・グアム・ミクロネシア・パラオ）から成る、国内で唯一、他国が同じ地区に含まれる地区です。ローターアクトも海外に2クラブあるため、地区ローターアクト代表公式訪問の際は海を渡り、英語での交流を行っております。

今年度の公式訪問は2019年11月3～4日、地区ローターアクト委員長（ロータリアン）、地区ローターアクト代表と役員5人で、サイパン島のサイパン・ローターアクトクラブ（RAC）、グアム島のマリアナRACを訪問し、地区年度ターゲットの「熱量と熱狂」を共有してきました。今回は奉仕活動、活動報告会、文化交流、親睦の4構成で行いました。

初日に訪問したサイパンRACでは、午前中に奉仕活動を実施。素晴らしい晴天の下、美しいビーチにて清掃活動を行い、大きなごみ袋約五つ分のごみを拾い集めました。たばこなど何

友愛の広場



エッセー、海外のロータリークラブ訪問記、時局雑感など。1,000字以内。関連写真があれば添付してください。

100回記念を迎えた トレッキング同好会

東京日本橋 大橋 雅英

2019年3月10日、東京日本橋ロータリークラブ(RC)トレッキング同好会は、房総半島の富山にて100回目の山行を達成。これを記念して7月28日、乗鞍岳(104回目)で盛大にお祝いしました。

わがクラブは同好会活動が盛んで、公認の17の同好会はもちろん、さまざまな活動を通じてメンバーが親睦を深めています。中でもトレッキング同好会は、参加者数、活動状況共に大変アクティブな会の一つです。

当同好会の発足は2009年にさかのぼります。発起人であり、同好会会長の古沢熙一郎さんが、会社の仲間と山に出掛ける機会が減り、思うように山に行けない状況となったある日、

当クラブの会員に「山に行きませんか」と声を掛けたのが始まりでした。

第1回は09年5月17日の大菩薩峠(山梨県)。あいにくの天気で小雨そぼ降る中、何とか完登し、温泉と宴会で盛り上がりました。その後、徐々にメンバーも増え、10年を越えて今日まで続く会となりました。その間、関東近隣の山はもちろん、日本アルプスの名峰、さらにはイギリス、カナダ、台湾の山にも登っています。学生時代に山岳部やワンダーフォーゲル部で経験を積んだ人から、この同好会を通じて初めてトレッキングに触れた人まで、メンバーのチームワークで安全かつ楽しい山行を重ねてきました。毎回恒例の、山行後の温泉と反省会(宴会)でも大いに親睦を深めています。

またこの100回達成を祝し、記念誌をつくらうとの声が上ががり、会歴の長いメンバーを中心に、半年がかりで編集に当たりました。100回全てにつき、山の概要、参加メンバー、行程表、写真、そしてエピソードを記載するため、過去の記録・記憶をひもとく大変な作業となりましたが、その努力が実り、素晴らしい記念誌ができました。

この記念誌を通じて、発足当時からメンバーは10年の間に登った山一つ一つを懐かしく思い返し、会歴の浅いメンバーは各地の山々に挑んだ先輩たちの若々しい姿に触れ、メンバー間の絆をさらに深めています。

山行の良さは、自然の美しさと厳しさを共に味わい、仲間と交流し、良質な温泉につかり、そして何といても楽しい酒盛りを満喫できることです。『論語』に「知者は水を樂しみ、仁

者は山を樂しむ。知者は動き、仁者は静かなり。知者は樂しみ、仁者は寿し」という名言もあります。健康で末永く山行を樂しみ、次は200回記念を盛大に実施しようと、皆で夢を膨らませています。

他クラブでトレッキングの同好会がありましたら、ぜひお声掛けください。情報を交換し、交流していきましょう。

(第2750地区 東京都 経営コンサルタント)



【問い合わせ】トレッキング同好会事務局 大橋雅英
メール: masahide.ohashi@gbassociates.co.jp

「感謝の気持ち」 中国の米山学友の便り

越谷東 青木 伸翁

2017年4月から19年3月までの2年間、越谷東RCが世話クラブを務めた元米山記



ペンギンミュージアムは、坂本さんが収集したペンギングッズであふれる

るなど卓越した地域貢献が評価され、精志さんは雲南市の名誉市民第1号になった。

小学4年生で島根から名古屋に戻るが、妻の春代さんも別の疎開先から同じ名古屋の小学校に転校してきた同級生。「春代さん」「坂本くん」と呼び合う仲だとか。で、大学進学で早稲田か慶應か迷った時に春代さんが、「私は慶應が好き」と一言。坂本さんは慶應義塾大学工学部に進んだという。

坂本さん夫妻は、社のマークにしたペンギンのふるさと南極旅行も果たした。精志さんが理事長を務める環境保護団体ホシザキグリーン財団が出雲市で運営する宍道湖グリーンパークでペンギンミュージアムを見学した。精志さんが50年近くかけて世界中で集めた二千数百点のペンギングッズが楽しい。ネクタイだけで九十余本。この日も黄色地に小さなペンギンたちがあしらわれたネクタイを締めておられた（扉の写真）。

「同じところで手に入れるのは3品以内と決めて集めました」。ごっそり買いあさるというようなコレクションではないのだ。年季が入っている。「執念を持ってやれば、これだけのことができる、というところも見てほしいです」と言う。

夢は必ずかなうもの

5年前、坂本さんはトライクで名古屋から島根の工場に乗りつけた。「ハーレーに乗った、いまだかつて見たことのない坂本さんの姿に『わー』という悲鳴にも近い歓声が起きました」と、薫俊社長時代から秘書を務める松島栄子さんは振り返る。父の薫俊氏は経済的な理由から、旧制中学を

卒業し小学校の代用教員になるが、郷土の篤志家の支援で神戸工業高校（現・神戸大学）を卒業する。故郷への恩返し気持から奨学会を設立し、百数十人に奨学金を支給した。若い人を育てる「志」は精志さんに継がれた。自著『ナンバーワンへの挑戦』に「四十代から遺言書を書くようになった。財産は子どもたちには相続させず、すべてを社会に還元するという内容である」と記す。1男2女のお子さんたちはみな独立している。

坂本さんは1978年設立の名古屋名東ロータリークラブの創立会員で、2009年にはロータリー米山記念奨学会へ自社の東証1部上場を機に1億円を寄付し話題に。ポール・ハリス・フェローと米山功労者に連続各30回を達成した。「少子高齢化が著しく、財政状況が最悪の日本。その行く末が心配。世界各国に親人家が増えれば、応援団になってくれる」、「日本にはまだ寄付をする文化がない。それを根付かせたい」と熱い。

その後、坂本さんは保有するホシザキ電機（当時）の株を米山奨学会に寄付しようとしたが、奨学会には会社経営に関わる株式では寄付を受け取れない決まりがあった。そこで、坂本さんは、株の配当を活用して公益に資するための会社「坂本ドネイション・ファンデーション」を設立し、ご夫妻で所有するホシザキ株全株（時価約600億円）を寄贈した。株の議決権を持ったまま、配当で得られる利益のほとんどを米山記念奨学金など公益団体に寄付できる。これは坂本さんが野村證券に諮って編み出した「日本初の株を使った寄付の仕組み」という。1部上場企業であることなど、ハードルは高いようだが、この方式がもっと広がり、寄付の文化が根付いてほしいものだ。



おかげで、他の坂本ファミリーの持ち株の寄贈を元に設立されたホシザキ新星財団との2団体の奨学生は年間200人にも上る。米山記念奨学会のほか、名古屋大学、名古屋工業大学、京都大学、慶應大学の若い人たちが恩恵を受けている。

豊明市の本社で、坂本さんが各地から研修に集まった若手リーダーたちを前に講話するのを聴いた。「夢を持とう。夢は必ずかなうもの」と説き、「例えばゴルフで100を切れない私が、昨年90を切ると宣言しました。どうすればかなうか段取りを考えました。スコアをまとめやすいコースを選び、教え方のうまいプロを選び、つきつきりで教わった。そして11月22日、ついに88で回れた！」。こう言って破顔した坂本さんの瞳の若々しいこと。

◇坂本精志（名古屋名東RC会員）ホシザキ（株）会長。1937年愛知県生まれ。慶應義塾大学工学部機械科卒業後、星崎電機（株）（現・ホシザキ（株））入社、日本で初めて製氷機を開発。坂本夫妻の個人資産を提供し、寄付を目的とする団体を二つ作り、奨学金制度等の社会貢献活動に取り組む。



そんな水ができないか。マイナス25度に冷やした製氷室の底から水を噴出させ徐々に凍らせることで、純粋な水のみを凍らせ、不純物は取り除けた。地道なマーケティングがイノベーションを生む。

「ゴールドン商品なくして企業に飛躍なし」が持論の薫俊氏は製氷機に社運を懸け、ホシザキ隆盛の礎を築く。

だが一時、精志さんは思うところがあり、ホシザキを離れ別のメーカーを立ち上げる。現在はホシザキのグループの有力会社になっている「ネスター」だ。ネスターは焼き肉店で網にこびり付いた焼け焦げを洗う洗浄機や、和食店で鮮魚を調理する時に使うシンクと冷蔵庫を組み合わせた「舟形シンク付きコールドテーブル」と、次々ヒット商品を生んだ。

アイデアマンなのだ。「私は何かピンときたら必ずメモを取ります。そのために家でも会社でもどこにも必ず紙を用意しています。メモは1週間ごとに別の紙に清書する。用が済んだものから消していく」。坂本さんの課題解決法である。

本社取材の翌早朝、われわれは名古屋の小牧空港にいた。出雲行きのフライトに乗り、島根県雲南市にある島根本社工場に向かうためだ。薫俊氏は、現在雲南市となった旧大原郡日登村の生まれ。過疎地の故郷に要請され、1970（昭和45）年に工場を進出した。精志さんは小学1年から3年まで、日登村の父の生家に疎開した。取材の道すがら、山々を見ながら「今年は雪がないけど、ここでスキーもしたな。戦中戦後に恵まれ過ぎた島根での3年間は忘れられません。私のふるさとです」と言う。

障害者就労支援や地元の中学校で毎年講演す



むこと9回。ペンギン・マークのホシザキといえ
ば、世界シェア1位の製氷機と冷蔵庫はじめ食器
洗浄機、ビールサーバーなどプロ用厨房機器の
トップブランドだ。直販を旨とし、全国に販売会
社15と約440カ所の営業所を持ち、サービスと
メンテナンスの良さが強みといわれる。バイク行
脚にも意味がある。

「昨年10月にはバイク24台と車数台で湘南から
箱根、山中湖、本栖湖を巡り、富士山五合目まで
登りましたが、雨の中、霧で何も見えずさんざ
ん」。60歳でパラグライダーを始め、70歳前から

クルーザー「ペンギン丸」で日本一周、台湾や韓
国、小笠原諸島などを周遊した。85歳になったら
スキューバダイビングを始める予定だとか。「人
は体力の限界でダメになるのでなく、氣力の衰え
でダメになります」

製氷機に社運を懸ける

ホシザキ電機（現・ホシザキ）は1947（昭
和22）年、三菱電機の技術者だった父、坂本薫俊
氏が創業した。ミシンの部品作りからのスタート
だった。「ホシザキ城」も元はミシンの部品を作
る巨大プレス機を入れる建屋だった（今の城は2
代目で機械は入っていない）。

ある時、ロータリアンだった薫俊氏（名古屋
東南RC）が例会でウォータークーラーの水を
ジュースに替えて披露し、好評を博す。それをき
かけに初のヒット商品であるジュースの自動販売
機が生まれた。1957（昭和32）年のこと。2
年後に慶應義塾大学工学部を出た精志さんが入社
するが、10年もたたずにジュース自販機のブーム
が去り、経営危機に。それを救ったのは、長男の
精志さんがアメリカ視察で目を付け、独自開発中
だった製氷機だ。

「アメリカで『これから日本もぜいたくになり、
水と氷と紙の時代が来る』と聞かされ、ピンとき
ました」



ホシザキ電機初のヒット商品、
ジュースの自動販売機



帰国し、独自開発に着手したが「最初は社内
でも見向きもされませんでしたねえ」。飲食店では
「氷は氷屋から買うもの」が常識の時代。「誰
が買うのか」と。実際全然売れない。それでも店
の訪問を続け、レストラン、ホテルなどで求めら
れているのは、大きくて溶けにくい氷であるこ
とを知る。「氷は不純物が少ないほど溶けにくい」

この人訪ねて

SAKAMOTO SEISHI

坂本精志さん

●名古屋名東ロータリークラブ

konohito・tazunete



深紅のハーレーで全国行脚

なんと、金のシャチホコを戴く三層白亜の天守閣が工場の敷地に建っている。ここは愛知県豊明市の丘の上、ホシザキ（株）の本社だ。眼下に織田信長が今川義元を討った桶狭間の古戦場が広がる。取締役会長の坂本精志さんは1937（昭和12）年生まれ。「ホシザキ城」の前でワンショット撮り終えたと、「次ですね」。そう言っていきなり構内を駆けだした。

カメラの前で張り切られた？ 「いえ、坂本さんはいつもこの調子です」と、秘書の本間理恵さん。あれ、「会長」ではなく「さん」付けた。坂本さんに聞くと「上下や部門間の壁を取っ払うよう、肩書で呼び合わないようにしています」。社長室、会長室もなくした。構内ですれ違う社員に「よつ」と呼び掛け、手を挙げる。会議室で背広を脱ぎ革ジャン、ジープン姿に早変わり。ヘルメットを小脇に抱え、78歳から乗り始めた愛車、深紅のハーレーダビッドソン・トライク（三輪、1700cc）にまたがった。

この愛車で週末を利用し、グループの販売会社を次々訪ね、社員と景勝地のツーリングを楽し

学院大学の夜間です。そこで、小学校と幼稚園の先生の免許を取って、最終的には青山の幼稚園の先生になりました。

何が、こんな私の人生を支えてくれたのか。振り返ってみると、一つは小さい頃、自分がしたいと思う遊びをあんなに夢中でできたこと。もう一つは母親。常に、あなたはあなただけらしくていい、と私を認め続けてくれた人がいたことによって、僕は僕でいい、と思えるようになりました。

幼い時に何に出会い、どういう人に出会ったのかが後々まで、自分の人生にこれほど影響を与えているのか、ということに気がきます。もし、今日の私の話を聞いて、自分の子どもには小さい頃、そのように対応してこなかったな、と思われるましたら、今からでも遅くありません。人は幼児期教育だけでは決まりません、人は生涯かけて育つということが、最近の発達心理学の研究により、分かっています。今からでもできることはいっぱいあります。

こんなことを、ある作家さんにお話ししたところ「僕、それ分かります」と言われました。「保育園の頃から学生時代、今もずっと一緒なんです。もの感じ方が。保育園時代の延長のままなんです。小説書いている時も面白がって書いていました。それが芥川賞につながったんですよ」

大人になっても大事なことの一つは、子どもらしさを失わないことです。これは幼稚、という意味ではありません。子どもらしさとは何か。それは、大人になってもいろいろなことに夢中になったり、興味・関心を持ったり、わくわくしたりできることです。ポジティブな大人って、魅力的ですよ？

幸せな子どもを育てる 四つの因子

幸せな子どもを育てる四つの因子というのが、慶應義塾大学の前野隆司先生の2016年の論文で紹介されています。

一つ目は「やってみよう」因子。自己実現、自分が社会に役立っている感じがあるかどうか。「やってみよう」という主体性が、小さい頃から大事にされている子どもは、その後、幸せになる可能性が高い。

二つ目は「ありがとう」因子。愛されている実感、人に感謝し親切にしたいという思い、「ありがとう」という気持ちが高まっているかどうか。

「ありがとう」という気持ちはどうしたら育つかというと、人から愛された子に備わります。人から「あら、すてきね」と言われて育った子どもは、自分がされたように、人にもそのまま接します。このことは、幼児の心理発達研究からみても明らかになっています。

三つ目は「何とかなる」因子。楽観的で気持ちの切り替えができる。大人になっても、何とかなる、と思える人は、何とかなってしまうものです。

四つ目は「あなたらしく」因子。「あなたは、あなたらしさがすてきなのよ」と言われて育った人は、自己肯定感が育ちます。今、日本の子どもたちの最大の問題は自己肯定感が極めて低いことです。自分でダメな人間だと思う、と答えている中高生は7割います。

自己肯定感がある子どもはどうしたら育つでしょうか。その子らしさが大事にされる、自分が

やりたいことを夢中でできること、うまくいかないうことも、遊びの中で乗り越えられること、こういうことが大事にされてきた子は、幸せに育つのではないかと、今回の研究で言われています。

そして、もう一つ、他に大事なことがあります。

機嫌の良い母親の方が、子どもに良い成長を促す、というフィンランドでの研究があります。親の機嫌が良いと、自然と子どもの気持ちを受け入れるようになるので、子どもの情緒的な成長に良い効果を発揮することが明らかになりました。この研究成果を生かしたこともあるのかもしれないが、フィンランドの産前産後の子育て支援政策は、とても手厚いことでも知られています。

現代日本社会の中で生きているお母さんたちはまず自分を責めてしまい、頑張りすぎです。自分をほめ、自分らしく、子育てをする方が良いでしょう。心理学では Good Enough Mother というのですが、「ほどほどの母親」が良いのです。

ママも、自分の時間が大切。つまり、父親が子育てや家事にもっと積極的に関わらないと。そうすれば妻は精神的に落ち着くし、明らかに子どもも社会性が育ち、コミュニケーション力が高くなるといわれています。自身と家族を大事にする姿勢は、自分の人生を豊かにすることが分かっています。21世紀後半の社会では、子どもたちの笑顔が大事になります。大人が「子どもっていいよね」と楽しく語れる国であるならば、この国は、もっと発展するだろうと思っています。

子育てに多くの人の力を集めることが大切。この国の親も楽しんで、保育園の先生も楽しんで、皆で子育てしましょう。子どもはその子らしく、私は私らしく。

(ホスト 諏訪大社RC)

は？」という声が上がります。これに対し私は、マンガ『サザエさん』の時代と今の子育ては違いますよ、という説明を行っています。

サザエさんは昭和初期のお母さんです。彼女は本当に、一人っ子タラちゃんに一人ですと向き合っているでしょうか？ いいえ、タラちゃんには、おじいさんとおばあさんが付いています。この二人が大きな戦力です。

昔から、お母さん一人で子育てをしていた時代など一度もありません。人類学の研究者たちがずっと言い続けていることです。「人間、ホモ・サピエンスの特徴は、群れで飼育をすることである」と。しかし戦後、現代社会では母親一人が子育てすることになってしまいました。誰が子育てしても、一人では困難に決まっています。

そして、サザエさんの夫・マスオさんも子育てに参加しています。江戸時代にさかのぼって文献を調べてみても、夫は子育てに参加しているのです。幼い時から父親が子どもと遊ぶことは、子どもにも、妻（母親）にも、父親本人にとっても重要だということも分かっています。

さらにタラちゃんの時代は、外で一日中、遊んでいました。ですからいっぱい自然に関わり、異なった年齢の子、家庭外の人と触れ合って育っていったのです。

また、タラちゃんは隣の伊佐坂先生の家へ勝手に上がり込みます。今、皆さんの身の回りで、子どもが勝手に邪魔できる環境がありますか？ これはおそらく、日本中からなくなっています。

つまり、子育てはかつて大家族と大自然と、そして近所と共に行われていたということです。今のママたちが子育てを大変と感じているとすれ

ば、いろいろな支えが得られないことに一因があるのではないのでしょうか。

昔々、ホモ・サピエンスだけが、見知らぬ他者に食べ物分け与えました。だからこそ、ホモ・サピエンスだけが生き残ってきた、というのが今の学説です。そう考えると、子育てを今後も存続していくためには、皆が、小さな子を育てている人たちに声を掛けていくことが大切になります。

私が今関わっている横浜の子育て支援団体には、多くの高齢者の方がボランティアで参加してくださっています。お礼を申し上げると、たいいていの方が「いえいえ、赤ちゃんを抱っこさせてもらって、ありがたいのはこっちですよ」とにこにこしておっしゃってくださいます。

ロータリアンの皆さまや、私の世代もまだそうだったのですが、男性は外で働くだけ、という人生を過ごしてきました。社会構造がそのスタイルを求めた世代です。そこに、今の社会が求めているのが、高齢者の方たちによる子育て支援、それと男性の力を借りたいということです。国を挙げて動きだしてもいます。

その子のその子らしさが肥やしになってくる

さて、この私、幼稚園の時に不登園になり、小学校も不登校で休みがちで過ごしました。けれども、意外と自己肯定感は低くありません。それは幼い頃に楽しかった、幸せだったな、という思い出を持っているからだと思います。

私が中学生の時、両親は離婚して私は母子家庭で育ちました。しかも、生活保護を受けていました。当時は父を恨みましたし、たまに行く学校ですから成績も悪かったのですが、テレビ番組「三年B組金八先生」に救われていました。そして「こんな先生に出会っていたら、僕違ったかも。学校の先生になりたい」と思ったのです。

これを母に話すと「いいんじゃない、向いているわよ」。母の言葉にも、救われました。後に私は、国立大学の教育学部を受験するのですが、2回、失敗しました。諦めて就職したのですが、やはり諦め切れなくて夜の大学へ行きました。青山



■ 玉川大学教育学部教授

大豆生田啓友

1965年 栃木生まれ。89年 青山学院大学文学部教育学部卒業。91年 同大学大学院教育学専攻修了。青山学院幼稚園、関東学院大学などを経て現在、玉川大学教育学部教授。専門は乳幼児教育学、保育学、子育て支援。著書に『ママ先生が伝える幸せ子育てのコツ』赤ちゃんとママ社、2014年、『子育てを元気にすることは——ママ・パパ・保育者へ』エイデル研究所、17年、など著書・論文多数。
NHK Eテレ番組「すくすく子育て」に専門家として出演し、温かくも親にとって気付きのあるコメントが人気。
2男1女の父。

これからの世界はB問題型の学力が重視されます。B問題型の学力とは「問題解決力」です。自分で考え、暗記では出せない答えを導き出す学力、探究する力です。「これってどうなっているんだろう?」というとき、その問題を解決していく学力、調べる力があることが大切になっています。

それは、「これどうする?」「こうしたらいいんじゃないかな」というように、人と会話して物事を解決する力のことでもあります。考えたことを人に正しく伝える、プレゼンテーション能力も必要です。確かに、全て現場で使える学力ですよね。

これから、日本の学校教育は子どもの主体性を重視する、B問題型の学力重視に変わります。授業の形も変わります。いわゆる「アクティブ・ラーニング (Active Learning)」, 子どもが能動的に学べるような授業を行う学習方法が、既に始まっている学校もあります。具体的にはディベート、グループディスカッションなどですが、考えて問題解決できる、高い会話力を身に付けることが求められています。

そのスタートが幼児教育です。幼児期のアクティブ・ラーニングは遊びです。幼児教育は遊んでいるだけ、と見られがちですが、遊びの中で自我を育てているのです。

テレビ番組で、タレントのくわばたりえさんと一緒にした時、忘れられないことがありました。その時のテーマは「イヤイヤ期」。番組では、子どもが家で駄々をこねているとき、放っておいていいかどうか、マルかバツかで答えよ、という議論になりました。私は内心、マルかバツかで答えられるんじゃないよ、と思うつつも、放っておいていい、マル、と回答しました。

すると、くわばたさんの顔が変わり、怖い顔でかみつくように言いました。「先生、今、マルって出しましたよね。じゃあ、こんなのですか? 本当に仕事が忙しかった時、子どもが何に対してもイヤイヤ、と言うので、『うるさい! 勝手にして!』と、怒鳴ってしまいました」

幼児教育専門家としては「怒鳴る」というのはどうか、となります。けれども、この場合は普通の親子の、日々の中での会話です。僕は「全然、問題ではないですよ。子育てしていて、いつも笑顔で『いいよ、いいよ』と言ってられるわけないでしょう。親だって人間です。昔から、そんなことも含めて、人は育ってきているのですから」と、つい本音を言ってしまうました。

そうしたらくわばたさん、10分くらい泣き続けてしまったのです。びっくりしました。番組を中断するのか? いや、そのまま放送。この後、番組にも、彼女のブログにも、あふれるほどの視聴者の声が寄せられました。今、子育てしているママたちから、かつて子育てしていたママたちから。

そのほとんどが「くわばたさん、ありがとう。救われました。私も子どもが大好きで、いつも笑顔で接していたのに、つい大声で怒鳴ったり、かっとなって言わなくていいことまで言ってしまった。その後、なんてダメな母親なんだ、と落ち込む。他の人はできていたのに、自分だけがダメなんじゃないかと思っていました」

いやいや、皆さん、頑張っておられます。それなのに、まず自分を責める。私は、このくわばたさんとの番組から改めて、大事なことを教わりました。子育て番組で僕らがするべき本当のことは、親がもっと元気になるような働き掛けをしていく

ことなんだ、と。

誤解のないように補足しますが、自然な感情のままに子どもに対応することがいい、というわけではありません。その後が大切です。感情的になつて子どもを怒鳴っても、その後「本当はあなたが大好き」と伝えるのです。そうすれば子どもにちゃんと気持ちは伝わります。このことも研究で分かっています。

子育て中のお母さんたちからは、こんな話も聞きます。「うちの子、保育園ではいい子なのに、家に帰ってくると……私の育て方が悪いからでしょうか?」

いえ、むしろその子は、社会と家庭の区別ができています。子どもも保育園や学校で頑張っています。当然、くたびれて家に帰ってくるに決まっています。そのとき、お母さんが甘えられる場所だったら、八つ当たりして発散できるのです。つまり、その子はお母さんを信頼しているということです。子育てできていないどころか、むしろその逆ですよ、ということ。

さらに、この2歳前後のイヤイヤ期、反抗期とも言いますが、これは反抗しているのではないのです。この時期は、「一人でできるもん」と自分で思い始める時なのですが、実際はまだ一人ではできません。だからイライラしてなんでもイヤ、と言いだすのです。脳科学の専門家によると、この時期は人としてまだ前頭前野が育っていないから、感情のコントロールができない状態なのだという説明が行われています。

それでも、お母さんたちからは「私たちのように、働किながら子どもを育てる時代ではなかった昔の親は、もっと子どもに向き合っていたので



早期学習は人を幸せにする？

私はNHKのEテレ「すくすく子育て」に出演しています。この番組でも話していますが、日本の幼児教育が変わってきています。

今までの考え方は、乳幼児期に、早くに多方面に勉強させていけば、その子の将来により役に立つというものでした。3歳までに施したことが人生の根幹になると。

大きなウソです。研究者として、分かってきた最新の情報をお伝えします。実は、乳幼児期に文字遊びをさせたり、数を覚えさせたりして、早くからいろいろ学習してきた子どもと、特に何もしなかった子どもとを、小学校に入ってから調べたら、両者は同じだったのです。世界中でそうした事例が報告されています。

そして学界で今、話題になっているのは、小さい頃に目に見えない心や社会性を育てた子の方が、その後、大人になってからの幸福度、社会的経済力が、全て高かったということです。ですから、文部科学省も厚生労働省も、早くから勉強させる幼児教育ではなく、体を育て、遊ぶ教育を大事にしましょう、という指針を改めて出しました。

日本は今、まずいことが起こっています。学力問題です。学力には、A問題型の学力とB問題型の学力があります。A問題型学力は主に暗記力、ペーパーテストで測れる学力、これまで進めてきたテスト方式の学力ですね。世界的視野では今、この型の学力は注視されません。役に立たないからです。

© iStock.com / recep-bg

21世紀の子育て

職業柄、たくさん子どもに接してきましたが、人を育てるということは、その子にないものを引き出すというよりは、その子らしさというものを大事にする、ということではないかと私は思っています。その子らしさが肥やしになっていく、ということ、大人になった多くの教え子たちから私は学びました。

玉川大学教育学部教授

大豆生田啓友

Hiroto Onameuda

日々の家事と子育てに 携わって分かったこと

私は大学院で幼児教育を専攻し、幼稚園でも働いてきました。そして、結婚して親になり、自分の子どもを育てる立場になった時、どんなに良いお父さんになるだろう、と自分では思っていました。しかし現実是一言、「こんなはずじゃなかった」。30代前半、その頃の私は、子育て相談会と題する講演会へ全国、あちこち回っていました。働き盛りで、帰宅は遅くて不規則。全てを妻に任せきっていました。学者として、講演者として、皆さまにお話ししていることと日々の自分の行動とは、全く異なっていたのです。

それに気付いた私は、生活を改めることにしました。実際に日々の家事と子育てに携わってみて分かったのは、子育てしながら家事をこなす女性の大変さを、男性側は意外と知らないということでした。

今の私には、その大変さが分かります。幼児教育の専門家としての私、子ども好きの私でさえ、しかもかわいいわが子に、そのわが子の態度にイラッとするものがあつたのですから。私は、自分の教育論について専門的に深めてきた理論と、現実の日々はあまりに異なっているのではないかと

と考えさせられました。

子どもを育てることについて、このような話をすると、涙を流されるお母さんがたくさんおられます。「子育ては大変ですか?」と聞くと、「大変です!」「それならどうして誰かを頼らないのですか?」と聞くと「子育ては母親の責任ですから」えっ、お母さん一人でそんなに抱えてるなんて。「いやいや! 子育てはあなた一人の責任じゃないから!」「いいえ、子育てがうまくいかないのは、母である私のせいですから」「いや、違います。お母さんだけの責任じゃありません。お父さんにも責任がありますから。助けて、と言いましようよ」

しかし、振り返れば17、18年前、幼稚園の教員をしていた時代、私は実にひどいことを言っていたものです。「お母さん頑張ってください。子育てはお母さん次第です。お母さんがどう育てるか、この子の良さが決まりますから」

幼児教育には母親が大事、という面があることは否定できません。でも今の時代の子育ては、お母さん一人だけでは無理。自分でわが子の子育てをしてみて、本当によく分かりました。

それから10年間、私は専門家として幼児教育を教えることを休みました。その間、私の妻と仲間たちが地域で、ささやかな子育て広場をつくりました。まだ、行政による子育て支援センターなどがなかった時代のことです。

スタートして2年後、厚生労働省の役人がたくさん来訪し、「このような施設を日本中に1万カ所つくりまします」と言われました。一人で困っていないで、同じ悩みを抱えた者同士で集まり、地域でその悩みを解決していこう、という試みです。

4 月は母子の健康月間です

Rotary Global Media Network

21世紀の子育て

◆ 玉川大学教育学部教授 大豆生田啓友

 4
77

シリーズ この人訪ねて

坂本精志さん 名古屋名東RC (第2760地区)

記事・岩田一平 撮影・熊谷武二

 24
57

友愛の広場

 13
68

100回記念を迎えたトレッキング同好会 東京日本橋 大橋雅英
「感謝の気持ち」 中国の米山学友の便り 越谷東 青木伸翁
南の島のローターアクトと地区内交流

東京恵比寿RAC 細倉結衣

厳かに、和やかに祝う1000回例会 京都モニング 三宅紘子

地区大会会場に台湾の地区のブースを設置 堺東 藤田隆生

新会員の早期退会防止策に挑戦 横浜中 松井隆史

ヘアドネーションをご存じですか 塩釜東 (会員家族) 佐藤千恵子

アサギマダラに遭遇して 鶴ヶ島 渡辺道雄

たったバッジ1個のつながり 前橋東 馬場 誠

ロータリー「つながり」の縁 佐渡 加藤勝巳

◆ 私の宝物

卓話の泉

 20
61

コーヒーの入れ方 久保奈津子
タバコの害から健康を守る 池田 井上裕子

私の一冊

高田 堀井靖功／熊谷 原田 勲

 20
61

ロータリー 俳壇

◆ 稲畑 汀子 選

 22
59

ロータリー 歌壇

◆ 佐佐木幸綱 選

 22
59

ロータリー 柳壇

◆ てじま晩秋 選

 22
59

ロータリー・アット・ワーク

台風の甚大な被害

地域協力の大切さを知る

東松山むさしRC

〈写真〉多治見／東京臨海西／井原／広島中央／

三郷／伊勢南／横浜中／伊丹／厚木県央／

上尾／東京ワセダ／福島西／伊勢原／川崎／

名古屋南／いわき平東



シングルマザー、そしてその子どもたちへ 東京紀尾井町

子ども笑顔と共に絵本プロジェクトの成果 豊田中

KODOMOふおらむで地域の子どもたちと交流

松江しんじ湖

ベトナム山岳部で小学校改築プロジェクト 会津若松

教室で森を育てよう 環境保全出張授業 豊川宝飯

伊那西AACと信州大学留学生との交流会 伊那中央

奉仕の絆で広がる善意 千葉

ロータリーデーYAO2019 八尾

ショッピングモールでポリオ根絶募金活動

2730ジャパンカレントロータリーEクラブ

声

1月号の感想

 33
48

表紙 横組み 「足音」

縦組み 「ハーバート・テラー」

表紙題字 加藤光峰

表紙レイアウト 箕牧 彰

◆ 本誌中のRCはロータリークラブ、RIは国際ロータリーの略です。

◆ 横組みの目次は、反対側の表紙を開いた4〜5ページにあります。

◆ 本文・写真などの無断転載・複製を禁じます。

◆ 表紙については横組み46ページを参照。

一般社団法人 ロータリーの友事務所

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 4 階

Tel. 03-3436-6651 Fax. 03-3436-5956

編集部メール hensyu@rotary-no-tomo.jp (本誌の内容・投稿)

管理部メール keiri@rotary-no-tomo.jp (購読・注文)

 ロータリーの友
Home Page
www.rotary-no-tomo.jp


青い海で
アロハ
を見つけよう

米国ハワイ州ホノルル | 2020年6月6～10日開催
今すぐRICONVENTION.ORG/JAでご登録を



HONOLULU
HAWAII 2020

ロータリーの友

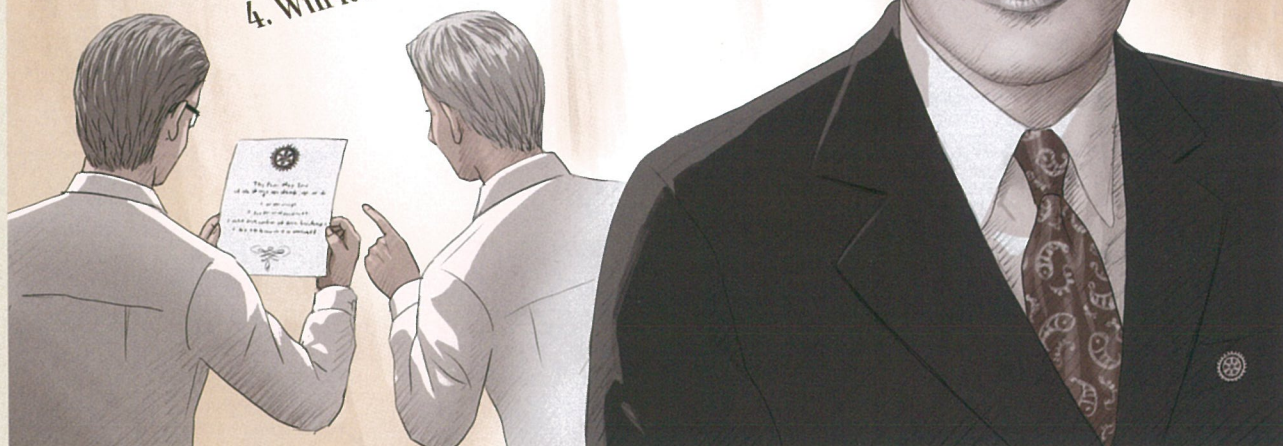
4

2020
APRIL

VOL.68 NO.4

THE FOUR-WAY TEST
Of the things we think, say or do

1. Is it the TRUTH?
2. Is it FAIR to all concerned?
3. Will it build GOODWILL and BETTER FRIENDSHIP?
4. Will it BENEFICIAL to all concerned?



Herbert Taylor (1893~1978)

SPEECH

21世紀の子育て

大豆生田 啓友

この人 訪ねて
坂本 精志さん

Rotary



Rotary Global
Media Network